

第 19 回「県民健康調査」検討委員会

日 時 平成 27 年 5 月 18 日(月) 13 : 30

場 所 杉妻会館 4 階 「牡丹」

配付資料一覧

次 第

第 19 回「県民健康調査」検討委員会 出席者名簿

第 19 回「県民健康調査」検討委員会 座席表

資 料 1 県民健康調査「基本調査」の実施状況について

資 料 2 第 6 回「甲状腺検査評価部会」開催報告

資 料 3-1 県民健康調査「甲状腺検査（先行検査）」結果概要【暫定版】

資 料 3-2 県民健康調査「甲状腺検査（本格検査）」実施状況

資 料 4-1 県民健康調査「健康診査」の実施状況について

資 料 4-2 県民健康調査「健康診査」
「既存健診対象外の県民に対する健康診査」の実施状況について

資 料 5-1 県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」実施状況

資 料 5-2 平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」結果概要

資 料 5-3 平成 25 年度 県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」結果報告書

資 料 6 県民健康調査「妊産婦に関する調査」実施状況について

県民健康調査における論点整理（座長取りまとめ）

甲状腺検査に関する中間取りまとめ

第19回「県民健康調査」検討委員会次第

日 時 平成27年5月18日(月)13:30

場 所 杉妻会館4階「牡丹」

1 開 会

2 議 事

(1) 基本調査について

(2) 詳細調査について

① 甲状腺検査

② 健康診査

③ こころの健康度・生活習慣に関する調査

④ 妊産婦に関する調査

(3) 論点整理について

(4) その他

3 閉 会

第19回「県民健康調査」検討委員会 出席者名簿

平成27年5月18日

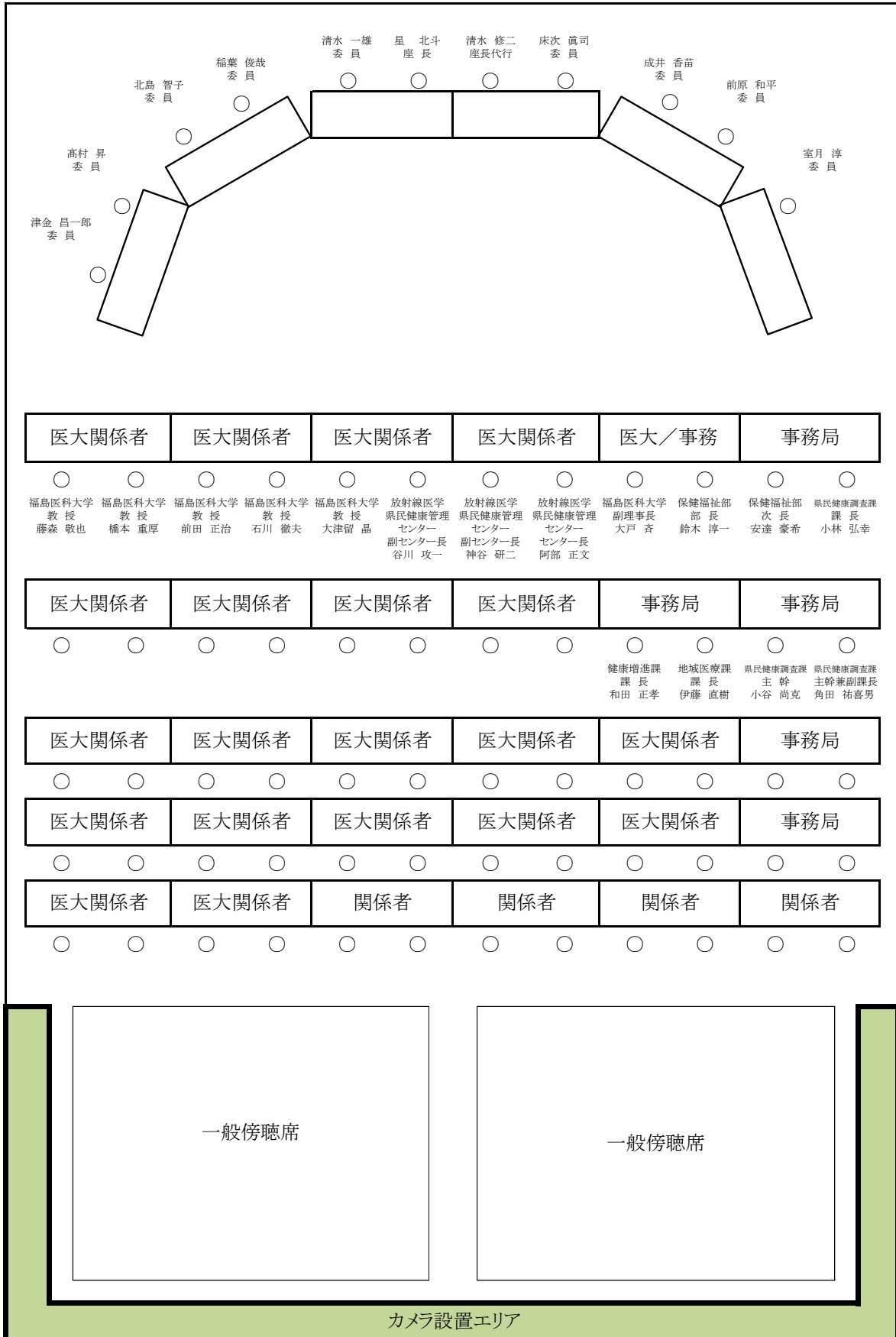
○委員

50音順、敬称略

氏名	所属及び職名	出欠
明石 真言	国立研究開発法人 放射線医学総合研究所 理事	欠席
井坂 晶	双葉郡医師会 顧問（前会長）	欠席
稲葉 俊哉	国立大学法人広島大学 原爆放射線医科学研究所長・教授	出席
春日 文子	国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部長 （前日本学術会議副会長）	欠席
北島 智子	環境省 環境保健部長	出席
児玉 和紀	公益財団法人放射線影響研究所 主席研究員	欠席
清水 一雄	学校法人日本医科大学 名誉教授 医療法人社団金地病院 名誉院長 （日本甲状腺外科学会前理事長）	出席
清水 修二	国立大学法人福島大学 人文社会学群経済経営学類 特任教授	出席
高村 昇	国立大学法人長崎大学 原爆後障害医療研究所 国際保健医療福祉学研究分野 教授	出席
津金 昌一郎	国立研究開発法人国立がん研究センター がん予防・検診研究センター長	出席
床次 眞司	国立大学法人弘前大学 被ばく医療総合研究所 放射線物理学部門 教授	出席
成井 香苗	福島県臨床心理士会 東日本大震災対策プロジェクト代表	出席
星 北斗	一般社団法人福島県医師会 副会長	出席
前原 和平	一般社団法人福島県病院協会 副会長（前会長）	出席
室月 淳	地方独立行政法人宮城県立こども病院産科 部長 （国立大学法人東北大学大学院医学系研究科先進発達医学講座胎児医学分野教授）	出席

第19回「県民健康調査」検討委員会 座席表

開催日時 平成27年 5月 18日(月) 13:30
 会場 杉妻会館4階 洋大会議室「牡丹」



県民健康調査「基本調査」の実施状況について

1 問診票の回答状況及び線量推計作業状況

(1) 問診票の回答状況

平成27年3月31日現在、全県ベースでは対象者2,055,339人のうち、556,917人から回答が寄せられ、回答率は27.1%となっている。甲状腺検査会場における「書き方相談コーナー」での回答呼びかけなどにより、引き続き回答が寄せられている。このうち簡易版により65,452人^(注1)から回答が寄せられており、全体の回答率のうち、簡易版による回答が3.2%を占めている(表1)。

(注1) 簡易版の回答数は速報値である。随時、回答内容を精査した結果、詳細版で回答いただく必要のある方が含まれている可能性があるため、確定数値ではない。なお、以下に示す問診票の回答、線量推計、結果通知の状況に関しては、簡易版、詳細版を合算した数値である。

対象者数		2,055,339	
回 答 数	詳細版	491,465	23.9%
	簡易版	65,452	3.2%
	計	556,917	27.1%

※回答率は、回答数の区分ごとに端数処理

(2) 線量推計作業・結果通知

震災後4年以上が経過した現在も、対象の方々から引き続き回答を頂いている。回答数556,917件のうち97.1%にあたる540,638件の推計作業が完了しており、うち536,186件が結果通知済となっている(表2)^(注2)。

地域区分 (先行+全県民)	調査 対象者数 a	回 答 数 b	回 答 率 c=b/a	線 量 推 計 済 数 d	推 計 率 e=d/b	結 果 通 知 済 数 f	通 知 率 g=f/b
県 北	504,045	150,628	29.9%	147,598	98.0%	146,014	96.9%
県 中	557,259	134,016	24.0%	129,364	96.5%	128,616	96.0%
県 南	152,229	33,863	22.2%	32,695	96.6%	32,350	95.5%
会 津	267,205	55,953	20.9%	53,684	95.9%	53,247	95.2%
南 会 津	30,788	6,180	20.1%	5,861	94.8%	5,785	93.6%
相 双	195,590	89,063	45.5%	86,382	97.0%	86,211	96.8%
い わ き	348,223	87,214	25.0%	85,054	97.5%	83,963	96.3%
計	2,055,339	556,917	27.1%	540,638	97.1%	536,186	96.3%

※先行地区(川俣町山木屋地区、浪江町及び飯館村)を含む全県ベース
※市町村別の状況は、別添資料1のとおり^(注2)

なお、震災当時県内に滞在されていた方や住民票を置かずに居住されていた方(一時滞在者等)に対する推計作業等も継続して行っている(表3)^(注2)。

発送数 a	回 答 数 b	回 答 率 c=b/a	線 量 推 計 済 数 d	推 計 率 e=d/b	結 果 通 知 済 数 f	通 知 率 g=f/b
3,891	2,149	55.2%	1,915	89.1%	1,869	87.0%

(注2) 表2、3および別添資料1に示した回答数、線量推計済数、結果通知済数には、3月11日以降の行動記録が4ヶ月未満の回答に関する数も含まれている。なお、個々人に対する結果通知においては、推計の対象となった期間(行動記録が得られた期間)を明示している。

2 実効線量推計結果の状況

表2に示した線量推計済の対象者から、推計期間が4ヶ月未満の方を除いて線量別の人数分布を集計した結果を表4に示す。累計462,061人の推計のうち放射線業務従事経験者を除く453,065人の推計結果は、県北地区では約87%の方が、県中地区では約92%の方が2 mSv未満となっている。また、県南地区では約88%の方が、会津・南会津地区では99%以上の方が1 mSv未満となり、さらに、相双地区は約78%の方が、いわき地区でも99%以上の方が1 mSv未満となっている。

表4

実効線量 (mSv)	全データ	放射線業務従事経験者を除く										「放射線業務従事経験者を除く」の地域別内訳(%は地域ごとの線量割合)				相双 (注4)	いわき	
		県北 (注3)		県中		県南		会津		南会津		相双 (注4)						
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合					
～1未満	287,058	281,446	62.1%	93.8%	24,772	20.1%	56,272	51.6%	24,625	88.3%	43,872	99.3%	4,738	99.3%	55,233	77.6%	71,934	99.1%
～2未満	146,008	143,718	31.7%	99.8%	82,632	67.0%	44,516	40.8%	3,239	11.6%	282	0.6%	34	0.7%	12,391	17.4%	624	0.9%
～3未満	25,364	25,003	5.5%	99.8%	15,382	12.5%	7,904	7.2%	17	0.1%	21	0.0%	0	—	1,649	2.3%	30	0.0%
～4未満	1,542	1,465	0.3%	99.8%	463	0.4%	414	0.4%	0	—	1	0.0%	0	—	583	0.8%	4	0.0%
～5未満	537	495	0.1%	99.8%	39	0.0%	5	0.0%	0	—	0	—	0	—	450	0.6%	1	0.0%
～6未満	429	376	0.1%	99.8%	18	0.0%	3	0.0%	0	—	0	—	0	—	354	0.5%	1	0.0%
～7未満	266	228	0.1%	99.8%	10	0.0%	1	0.0%	0	—	1	0.0%	0	—	216	0.3%	0	—
～8未満	151	114	0.0%	99.8%	1	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	113	0.2%	0	—
～9未満	113	73	0.0%	99.8%	1	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	72	0.1%	0	—
～10未満	69	39	0.0%	99.8%	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	39	0.1%	0	—
～11未満	67	34	0.0%	99.8%	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	34	0.0%	0	—
～12未満	52	31	0.0%	99.8%	1	0.0%	0	—	0	—	0	—	0	—	30	0.0%	0	—
～13未満	36	13	0.0%	99.8%	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	13	0.0%	0	—
～14未満	34	12	0.0%	99.8%	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	12	0.0%	0	—
～15未満	27	6	0.0%	99.8%	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	6	0.0%	0	—
15以上～	308	12	0.0%	99.8%	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	12	0.0%	0	—
計	462,061	453,065	100.0%	100.0%	123,319	100%	109,115	100%	27,881	100%	44,177	100%	4,772	100%	71,207	100%	72,594	100%
最高値	66mSv	25mSv			11mSv		6.3mSv		2.6mSv		6.0mSv		1.9mSv		25mSv		5.9mSv	
平均値	0.9mSv	0.8mSv			1.4mSv		1.0mSv		0.6mSv		0.2mSv		0.1mSv		0.8mSv		0.3mSv	

(注3) 先行地区(川俣町山木屋地区)を含む。

(注4) 先行地区(浪江町、飯館村)を含む。

※割合(%)は線量別に端数処理を行っているため、合計が100%にならない場合がある。

※推計期間が4ヶ月未満の方を除いて集計している。

※線量別分布状況、年齢別・男女別内訳は、別添資料2、3のとおり。市町村別内訳は、別添資料4のとおり。

3 実効線量推計結果の評価

実効線量の推計結果に関しては、これまでと同様の傾向にあると言える。

これまでの疫学調査により100mSv以下での明らかな健康への影響は確認されていない¹⁾ことから、4ヶ月間の外部被ばく線量推計値ではあるが、「放射線による健康影響があるとは考えにくい」と評価される。

参考文献

- 1) 放射線の線源と影響 原子放射線の影響に関する国連科学委員会 UNSCEAR2008年報告書〔日本語版〕第2巻 独立行政法人放射線医学総合研究所

4 回答率の向上活動

基本調査は、事故後4ヶ月間の外部被ばく線量を推計する唯一の方法であり、今後の長期にわたる健康管理において重要な基礎資料になることから、市町村等と連携しながら県民への周知を図り、回答率向上に向けた各種取り組みを展開している。

平成26年度は、一般公共施設での甲状腺検査会場における書き方支援事業を継続して実施するとともに、幅広い年齢層に問診票記入を呼びかけるため、県内各地方部で市役所等庁舎内における書き方支援事業も実施した。

引き続き、対面式での記入支援要望に合わせた事業展開を中心に、回答率向上に努めていくこととしている。

平成27年度は、新規事業として市町村健診・検診会場における書き方支援事業も実施する予定である。

※回答率向上に向けた活動内容（平成26年度）は、次頁一覧のとおり。

活動区分	活動内容	場所及び期間	回数等	備考			
県民への直接アプローチ	「甲状腺検査」出張説明会での基本調査啓発	県内一円 平成26年5月16日～平成26年11月9日	17回	対象者 (幼稚園、小中高校等の保護者) 約 660人			
	甲状腺検査会場での「書き方相談」(業務委託等)	福島市、二本松市、郡山市、相馬市、いわき市、会津若松市、伊達市、田村市、本宮市、大玉村、川俣町、国見町、桑折町、白河市、天栄村、泉崎村、西郷村、三春町 平成26年4月2日～平成27年3月30日	101回	対象者 約 30,000人			
		神奈川県横浜市 平成26年5月10日～5月11日					
		新潟県柏崎市、新潟市 平成26年6月28日～6月29日					
		国立大学法人福島大学 平成26年10月1日～10月3日					
		山形県米沢市、山形市 平成26年10月11日～10月12日					
		公立大学法人福島県立医科大学 平成26年12月15日、12月22日					
		県民健康調査の詳細調査調査票等への「基本調査問診票」提出確認及び提出促進依頼を表記して案内			田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村及び伊達市の特定避難勧奨地点の属する区域の住民及び、平成24年8月1日から平成26年7月31日に、県内各市町村において母子健康手帳を交付された方、上記期間内に県外市区町村から母子健康手帳を交付された方のうち、県内で妊婦健診を受診し分娩された方。 (平成26年4月～平成27年3月健康診査などの調査票等に基本調査問診票提出の確認・提出促進の依頼事項を表記・案内)	—	対象者 約 184,000人
					新潟県 平成26年5月29日 福島市 平成26年6月20・21・23、30日、7月18、25日、9月3日 二本松市、本宮市、大玉村 平成26年9月2日 山形県 平成26年9月10日 国見町、桑折町 平成26年10月1日 郡山市、白河市、三春町、天栄村、泉崎村、西郷村 平成26年11月28日、12月5日、18日、平成27年1月9日、13日 相馬市、新地町、南相馬市、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村 平成27年1月31日 会津若松市、喜多方市、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、会津美里町、下郷町、只見町、南会津町、三島町、金山町、柳津町、湯川村、北塩原村、昭和村、檜枝岐村 平成27年3月13日	—	対象者 約 102,000人
	基本調査・県民健康管理ファイル説明会	会津若松市(大熊町民対象) 平成26年5月26日、9月9日、11日、12日、平成27年1月23日、29日	8回	対象者 約 70人			
甲状腺検査対象者で、簡易版の回答がない方への提出確認の文書送付	県内一円 平成26年5月30日～6月16日	1回	対象者 (簡易版問診票を郵送したが、未提出の方) 約200,000人				
市町村を通じたアプローチ	天栄村主催「総合検診」会場に書き方相談コーナー設置	天栄村 平成26年5月22日～24日	3回	対象者 約 300人			
	市役所等庁舎に書き方相談コーナー設置	福島市、郡山市、会津若松市、いわき市、白河市、南会津町、喜多方市 平成26年6月2日～7月31日	267回	対象者 約 20,000人			
	いわき市役所職員への問診票提出促進活動	いわき市 平成26年8月11日～29日	—	対象者 約 3,000人			
	一般病院に書き方相談コーナーを設置(試行的に実施)	福島市 平成26年9月29日～10月10日	10回	対象者 約 400人			
一般広報活動	新聞・テレビ・ラジオ等による報道	—	テレビ26回 ラジオ24回 新聞9回 地方広報誌2回	取材、県政放送など			

5 基本調査で得られている線量分布の「代表性」に関する調査について

今までに集計、公表している線量の分布が県民全体の状況を正しく反映し、偏りのない縮図となっているかどうか(線量分布の代表性)の検討を行うための調査の準備を行っている。

(1) 対象者の抽出方法

全国、あるいは都道府県規模で行われている世論調査等の手法を参考に、基本調査対象者から二段抽出法を用いて本調査の対象者を抽出することを計画している。郵便番号の区分けをもとにして、各市町村を「調査単位」に分割する。

このとき、震災時住所を基準として考えて、1つの調査単位に平均500人程度の基本調査対象者が含まれるように区分けを行う。第一段目の抽出として、各方部から調査単位を無作為に選び出す。

さらに、二段目の抽出として、各調査単位から無作為に50人を選び出して、調査対象者とすることを計画している。

(2) 戸別訪問の方法

(1)の方法により、全県から約5,000人の方々を対象者として抽出する。この方々の回答状況や現住所を確認し、回答済や死亡、県外転居の方を除いて戸別訪問の対象者とする。

戸別訪問の対象者は全県で約3,000人規模となる予定である。業務委託により多くの調査員を確保し、これらの対象者宅を書き方支援が可能な調査員が訪問する。

また、未回答者宅へ訪問するという機会を利用して、今まで未回答だった理由を調査するとともに、回答頂ける場合には問診票への記入をお願いする。

(3) 結果の取りまとめ

回答が得られた方には線量推計作業を実施する。(1)の方法で抽出した調査対象者の中で、今回の戸別訪問調査によって回答が得られた方の線量分布と、本調査以前に回答をいただいた方の線量分布とを比較検討する。

さらに、聴取した未回答理由を類型化し、今後の問診票の書き方支援および基本調査の進め方を検討する上での資料とする。

基本調査 問診票 市町村別 回答・線量推計・結果通知 状況
(先行十全県民)

平成27年3月31日 現在

地域区分	調査対象者数 a	回答数 b	回答率 c=b/a	線量推計済数 d	推計率 e=d/b	結果通知済数 f	通知率 g=f/b	備考
北 県	福島市	295,648	93,297	31.6%	91,715	98.3%	91,068	97.6%
	二本松市	60,856	16,500	27.1%	16,112	97.6%	15,746	95.4%
	伊達市	67,577	18,178	26.9%	17,706	97.4%	17,583	96.7%
	本宮市	31,763	8,737	27.5%	8,571	98.1%	8,259	94.5%
	桑折町	13,207	3,879	29.4%	3,770	97.2%	3,743	96.5%
	国見町	10,316	3,022	29.3%	2,930	97.0%	2,876	95.2%
	川俣町	15,885	5,104	32.1%	4,928	96.6%	4,915	96.3%
	大玉村	8,793	1,911	21.7%	1,866	97.6%	1,824	95.4%
計	504,045	150,628	29.9%	147,598	98.0%	146,014	96.9%	
中 県	郡山市	339,735	85,822	25.3%	82,549	96.2%	82,032	95.6%
	須賀川市	80,161	16,687	20.8%	16,237	97.3%	16,155	96.8%
	田村市	41,724	10,033	24.0%	9,706	96.7%	9,676	96.4%
	鏡石町	13,109	2,854	21.8%	2,789	97.7%	2,778	97.3%
	天栄村	6,470	1,206	18.6%	1,164	96.5%	1,137	94.3%
	石川町	17,488	4,167	23.8%	4,059	97.4%	4,040	97.0%
	玉川村	7,337	1,473	20.1%	1,420	96.4%	1,418	96.3%
	平田村	7,056	1,631	23.1%	1,576	96.6%	1,569	96.2%
	浅川町	7,163	1,478	20.6%	1,441	97.5%	1,437	97.2%
	古殿町	6,319	1,296	20.5%	1,261	97.3%	1,255	97.8%
三春町	18,994	4,825	25.4%	4,683	97.1%	4,656	96.5%	
小野町	11,703	2,544	21.7%	2,479	97.4%	2,463	96.8%	
計	557,259	134,016	24.1%	129,364	96.5%	128,616	96.0%	
南 県	白河市	65,428	15,147	23.2%	14,603	96.4%	14,388	95.0%
	西郷村	20,090	4,939	24.6%	4,708	95.3%	4,667	94.5%
	泉崎村	6,931	1,356	19.6%	1,299	95.8%	1,272	93.8%
	中島村	5,306	964	18.2%	939	97.4%	939	97.4%
	矢吹町	18,343	4,021	21.9%	3,913	97.3%	3,901	97.0%
	矢棚倉町	15,384	2,941	19.1%	2,871	97.6%	2,851	96.9%
	矢祭町	6,489	1,435	22.1%	1,386	96.6%	1,377	96.0%
	塙町	10,062	2,261	22.5%	2,207	97.6%	2,190	96.9%
	鮫川村	4,196	799	19.0%	769	96.2%	765	95.7%
計	152,229	33,863	22.2%	32,695	96.6%	32,350	95.5%	
会 津	会津若松市	127,816	28,966	22.7%	27,955	96.5%	27,726	95.7%
	喜多方市	53,202	10,154	19.1%	9,704	95.6%	9,589	94.4%
	北塩原村	3,276	595	18.2%	571	96.0%	565	95.0%
	西会津町	7,725	1,432	18.5%	1,330	92.9%	1,329	92.8%
	磐梯町	3,888	752	19.3%	734	97.6%	732	97.3%
	猪苗代町	16,271	3,593	22.1%	3,456	96.2%	3,416	95.1%
	会津坂下町	17,881	3,203	17.9%	3,056	95.4%	3,032	94.7%
	湯川村	3,514	706	20.1%	672	95.2%	671	95.0%
	柳津町	4,077	710	17.4%	678	95.5%	674	94.9%
	三島町	2,031	372	18.3%	338	90.9%	338	90.9%
	金山町	2,544	619	24.3%	563	91.0%	561	90.6%
昭和村	1,569	344	21.9%	317	92.2%	317	92.2%	
会津美里町	23,411	4,507	19.3%	4,310	95.6%	4,297	95.3%	
計	267,205	55,953	20.9%	53,684	95.9%	53,247	95.2%	
南 会 津	下郷町	6,650	1,219	18.3%	1,159	95.1%	1,148	94.2%
	檜枝岐村	614	142	23.1%	133	93.7%	130	91.5%
	只見町	5,030	1,087	21.6%	1,023	94.1%	1,014	93.3%
	南会津町	18,494	3,732	20.2%	3,546	95.0%	3,493	93.6%
計	30,788	6,180	20.1%	5,861	94.8%	5,785	93.6%	
相 馬	相馬市	37,372	13,040	34.9%	12,477	95.7%	12,453	95.5%
	南相馬市	70,013	29,844	42.6%	29,123	97.6%	29,052	97.3%
	広野町	5,165	2,197	42.5%	2,121	96.5%	2,114	96.2%
	檜葉町	7,963	4,137	52.0%	3,980	96.2%	3,974	96.1%
	富岡町	15,751	8,566	54.4%	8,369	97.7%	8,353	97.5%
	川内村	2,996	1,525	50.9%	1,476	96.8%	1,475	96.7%
	大熊町	11,474	6,016	52.4%	5,798	96.4%	5,793	96.3%
	双葉町	7,050	3,918	55.6%	3,820	97.5%	3,816	97.4%
	浪江町	21,321	12,910	60.6%	12,603	97.6%	12,586	97.5%
	葛尾村	1,541	812	52.7%	756	93.1%	756	93.1%
双 葉	新地町	8,357	2,670	31.9%	2,554	95.7%	2,541	95.2%
	飯館村	6,587	3,428	52.0%	3,305	96.4%	3,298	96.2%
	計	195,590	89,063	45.5%	86,382	97.0%	86,211	96.8%
	一 い わ き 市	348,223	87,214	25.0%	85,054	97.5%	83,963	96.3%
計	2,055,339	556,917	27.1%	540,638	97.1%	536,186	96.3%	

県民健康調査 基本調査

外部被ばく線量推計結果 推計期間 4か月間(3/11～7/11)

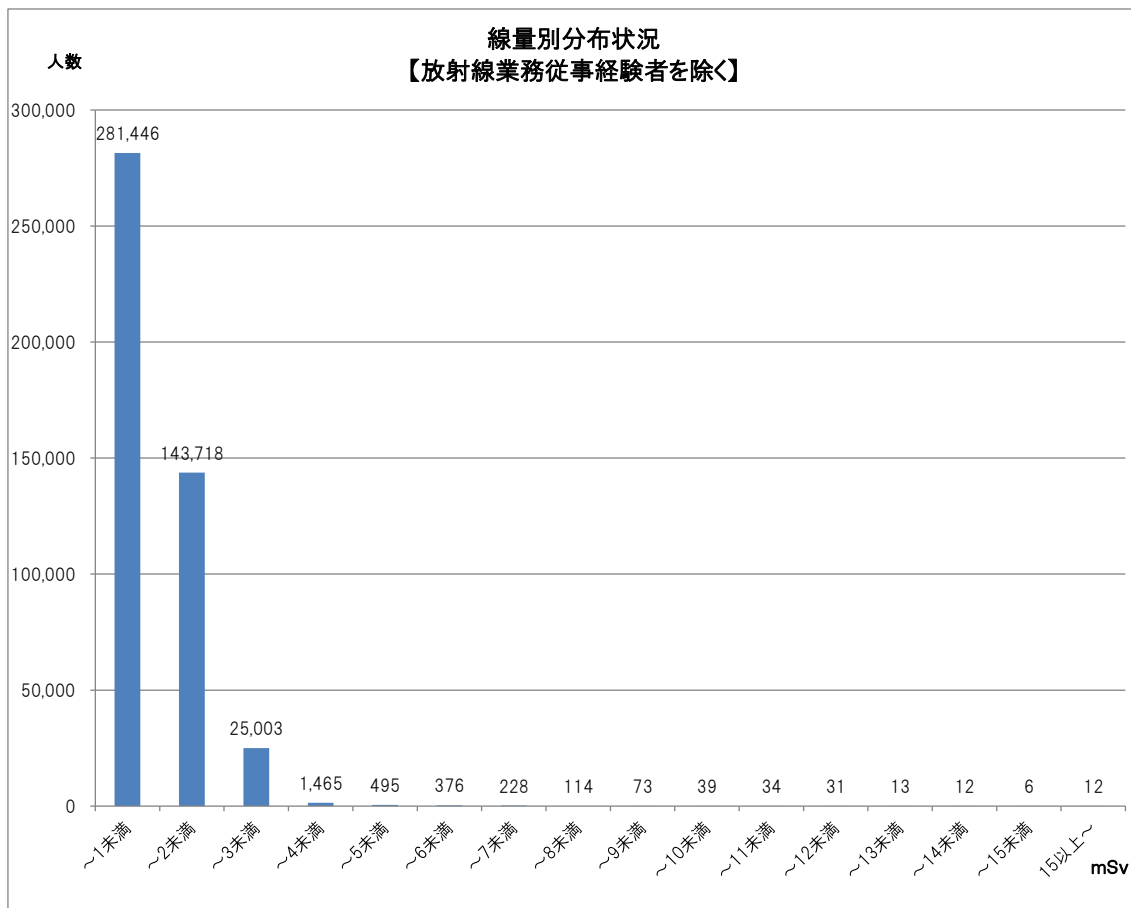
平成27年3月31日 現在

【全県調査(先行調査+全県民調査)】

地域別・線量別推計

実効線量 (mSv)	全データ	放射線業務 従事経験者 除く	左の内訳								放射線業務従事経験者 除く線量別割合(%)	
			県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき			
～1未満	287,058	281,446	24,772	56,272	24,625	43,872	4,738	55,233	71,934	62.1	93.8	99.8
～2未満	146,008	143,718	82,632	44,516	3,239	282	34	12,391	624	31.7		
～3未満	25,364	25,003	15,382	7,904	17	21	0	1,649	30	5.5	5.8	
～4未満	1,542	1,465	463	414	0	1	0	583	4	0.3	0.2	
～5未満	537	495	39	5	0	0	0	450	1	0.1	0.1	
～6未満	429	376	18	3	0	0	0	354	1	0.1	0.1	0.2
～7未満	266	228	10	1	0	1	0	216	0	0.1	0.0	
～8未満	151	114	1	0	0	0	0	113	0	0.0	0.0	
～9未満	113	73	1	0	0	0	0	72	0	0.0	0.0	
～10未満	69	39	0	0	0	0	0	39	0	0.0	0.0	
～11未満	67	34	0	0	0	0	0	34	0	0.0	0.0	0.0
～12未満	52	31	1	0	0	0	0	30	0	0.0	0.0	
～13未満	36	13	0	0	0	0	0	13	0	0.0	0.0	
～14未満	34	12	0	0	0	0	0	12	0	0.0	0.0	
～15未満	27	6	0	0	0	0	0	6	0	0.0	0.0	
15以上～	308	12	0	0	0	0	0	12	0	0.0	0.0	0.0
計	462,061	453,065	123,319	109,115	27,881	44,177	4,772	71,207	72,594	100.0	100.0	100.0
最高値	66	25	11	6.3	2.6	6.0	1.9	25	5.9			
平均値	0.9	0.8	1.4	1.0	0.6	0.2	0.1	0.8	0.3			

※割合(%)は線量別に端数処理を行っているため、合計が100%にならない場合がある



推計期間 4か月間(3/11~7/11)

平成27年3月31日 現在

年齢別・線量別 内訳 【放射線業務従事経験者を除く】

実効線量 (mSv)	震災時年齢(歳)										計
	0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～		
～1未満	46,922	43,251	20,663	33,181	27,932	32,105	35,261	25,132	16,999	281,446	
～2未満	22,444	21,190	9,824	17,732	16,329	18,241	19,035	12,036	6,887	143,718	
～3未満	6,272	4,160	1,106	2,283	2,191	2,895	3,321	1,945	830	25,003	
～4未満	248	157	80	153	148	229	222	161	67	1,465	
～5未満	19	45	36	40	76	91	77	72	39	495	
～6未満	13	14	27	33	43	83	73	63	27	376	
～7未満	4	5	12	21	25	45	51	44	21	228	
～8未満	3	6	7	8	13	34	22	14	7	114	
～9未満	2	4	3	8	7	15	14	10	10	73	
～10未満	0	1	1	2	4	12	11	5	3	39	
～11未満	1	1	1	2	5	11	4	6	3	34	
～12未満	0	0	1	3	0	6	8	11	2	31	
～13未満	0	0	0	0	1	6	4	1	1	13	
～14未満	0	0	1	1	1	4	3	2	0	12	
～15未満	0	0	0	0	0	3	3	0	0	6	
15以上～	0	0	0	0	2	2	5	1	2	12	
計	75,928	68,834	31,762	53,467	46,777	53,782	58,114	39,503	24,898	453,065	

男女別・線量別 内訳 【放射線業務従事経験者を除く】

実効線量 (mSv)	男女別				計	左の線量別 割合(%)
	男性	左の線量別 割合(%)	女性	左の線量別 割合(%)		
～1未満	125,956	60.6	155,490	63.4	281,446	62.1
～2未満	66,709	32.1	77,009	31.4	143,718	31.7
～3未満	13,587	6.5	11,416	4.7	25,003	5.5
～4未満	933	0.4	532	0.2	1,465	0.3
～5未満	277	0.1	218	0.1	495	0.1
～6未満	194	0.1	182	0.1	376	0.1
～7未満	128	0.1	100	0.0	228	0.1
～8未満	67	0.0	47	0.0	114	0.0
～8未満	43	0.0	30	0.0	73	0.0
～10未満	23	0.0	16	0.0	39	0.0
～11未満	21	0.0	13	0.0	34	0.0
～12未満	17	0.0	14	0.0	31	0.0
～13未満	6	0.0	7	0.0	13	0.0
～14未満	8	0.0	4	0.0	12	0.0
～15未満	3	0.0	3	0.0	6	0.0
15以上～	9	0.0	3	0.0	12	0.0
計	207,981	100.0	245,084	100.0	453,065	100.0

※割合(%)は線量別に端数処理を行っているため、合計が100%にならない場合がある

第 6 回「甲状腺検査評価部会」 開催報告

- 1 日 時：平成 27 年 3 月 24 日（火）13:30～15:10
- 2 場 所：杉妻会館 4 階 「牡丹」
- 3 部会員出席者（50 音順、敬称略）
 - [出席] 春日文子、樺田尚樹、渋谷健司、清水一雄（部会長）、津金昌一郎、西美和、星北斗
 - [欠席] 加藤良平、清水修二
- 4 事務局等出席者
 - <福島県立医科大学>
 - 安村誠司 放射線医学県民健康管理センター副センター長
 - 鈴木眞一 教授、志村浩己 教授
 - <福島県>
 - 鈴木淳一 保健福祉部長、小林弘幸 県民健康調査課長
- 5 議 事：
 - (1) 甲状腺検査
 - ① 進捗状況について
 - ② 中間取りまとめについて
 - (2) その他
- 6 資料一覧：
 - 資料 1-1 県民健康調査「甲状腺検査（先行検査）」結果概要【暫定版】
 - 資料 1-2 県民健康調査「甲状腺検査（本格検査）」実施状況
 - 資料 2 甲状腺検査に関する中間取りまとめ（部会長取りまとめ案）
 - 資料 3 「甲状腺検査に関する中間取りまとめ」について（清水修二部会員）

※資料 1-1、1-2 は、第 18 回検討委員会資料に同じ。
- 7 主な議論・意見等（要旨）
 - (1) 細胞診施行率（本格検査で低下）について
 - ・ 診断基準は遵守している。先行検査で B 判定となり細胞診を受け良性で経過観察の場合や先行検査 B 判定でも細胞診はしなくていいという超音波診断を受けている場合、先行検査時の診断と本格検査二次検査での超音波の診断がまったく変わらない場合は細胞診には至らない。（医大）
 - (2) 中間取りまとめについて
 - ・ 部会長取りまとめ案を基に議論、これを踏まえ部会長が最終案作成、再度部会員に提示したうえで、次回検討委員会に提出することとなった。

県民健康調査「甲状腺検査（先行検査）」結果概要【暫定版】

I 調査概要

1. 目的

チェルノブイリ原発事故後に明らかになった健康被害として、放射性ヨウ素の内部被ばくによる小児の甲状腺がんがある。

福島県では、東京電力福島第一原発事故を踏まえ、子どもたちの健康を長期に見守るために、甲状腺検査を実施している。

先行検査は、甲状腺の状態を把握するために実施した。

2. 対象者

平成23年3月11日時点で、概ね0歳から18歳（具体的には、平成4年4月2日から平成23年4月1日までに生まれた方）までの福島県民。※¹

※¹ 市町村別対象者数は資料1のとおり。

3. 先行検査対象期間

一巡目の検査である先行検査の一次検査実施期間は、平成23年10月9日から平成26年3月31日までの予定であったが、未受診者の受診機会の確保を図るため、平成26年4月以降も本格検査（二巡目以降の検査）の案内通知が送付されるまでの期間を先行検査受診可能期間としている。そのため、本結果概要では、平成27年3月31日までの集計結果としている。

また、一次検査の結果に基づき、二次検査も継続して実施する。

4. 実施機関

福島県から委託を受けた福島県立医科大学が、福島県内外の医療機関等と連携して実施している。

平成24年11月1日から県外の検査実施機関において、一次検査を実施しており、平成27年3月31日現在、全都道府県計97の検査実施機関と協定を締結している。

また、二次検査については、県内では平成25年7月から郡山市及びいわき市の2か所、平成26年8月からは会津若松市の1か所の検査実施機関において実施しており、県外でも平成25年11月から検査を開始し、平成27年3月31日現在、27か所の検査実施機関において検査が可能となっている。

5. 検査方法

(1) 一次検査

超音波画像診断装置により甲状腺の超音波検査を実施。

なお、検査の結果は、以下の基準により複数の専門医により判定している。

(i) A判定：A1、A2判定の場合は次回（平成26年度以降）の検査まで経過観察としている。

(A1) 結節やのう胞を認めなかった場合。

(A2) 5.0 mm以下の結節や20.0 mm以下ののう胞を認めた場合。

(ii) B判定：B判定の場合は二次検査を実施している。

5.1 mm以上の結節や20.1 mm以上ののう胞を認めた場合。

なお、A2の判定内容であっても、甲状腺の状態等から二次検査を要すると

判断した方については、B判定としている。

(iii) C判定：C判定の場合は二次検査を実施している。

甲状腺の状態等から判断して、直ちに二次検査を要する場合。

(2) 二次検査

一次検査の結果、B判定またはC判定となった場合は、二次検査の対象となる。二次検査では、詳細な超音波検査、血液検査及び尿検査を行い、必要に応じて穿刺吸引細胞診を実施する。早期に診察が必要と判断した方については優先的に二次検査を実施する。

(3) 検査の流れ

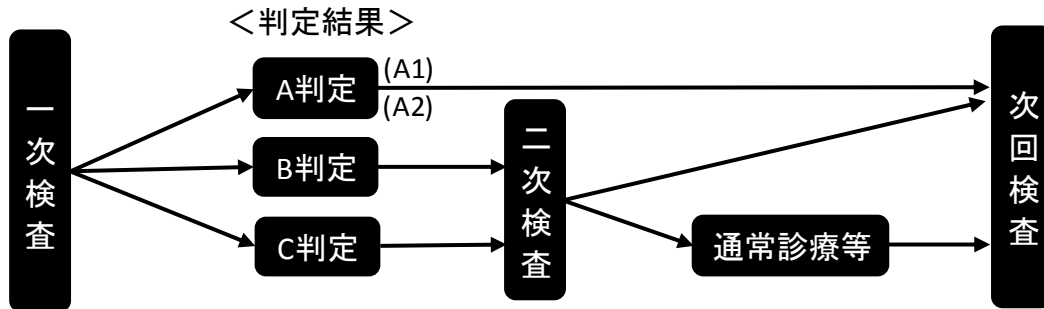


図 1. 検査の流れ

6. 実施対象年度別市町村

平成 23 年度、平成 24 年度及び平成 25 年度の各実施対象市町村は次のとおり。



図 2. 実施対象年度別市町村

II 調査結果概要（平成 27 年 3 月 31 日現在）

1. 一次検査結果

対象者 367,685 人のうち平成 27 年 3 月 31 日現在、299,543 人が受診し受診率は 81.5%であった。※^{2,3}

平成 27 年 3 月 31 日現在、299,233 人（受診者の 99.9%）の検査結果が確定し、結果通知を発送している。※^{4,5}

検査結果は A 判定（表 1 の A1 及び A2 判定）の方が 296,954 人（99.2%）、B 判定の方が 2,278 人（0.8%）、C 判定の方が 1 人であった。

表1. 一次検査進捗状況

平成27年3月31日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数(人)		判定率 (%) ウ (ウ/イ)	結果判定数(人)				
		受診率 (%) イ (イ/ア)	うち県外 受診		判定区分別内訳(割合(%))				
					A		二次検査対象者		
					A1 エ (エ/ウ)	A2 オ (オ/ウ)	B カ (カ/ウ)	C キ (キ/ウ)	
平成23年度 実施対象市町村計	47,768	41,810 (87.5)	2,025	41,810 (100.0)	26,373 (63.1)	15,216 (36.4)	221 (0.5)	0 (0.0)	
平成24年度 実施対象市町村計	161,129	139,338 (86.5)	4,266	139,338 (100.0)	76,196 (54.7)	62,154 (44.6)	987 (0.7)	1 (0.0)	
平成25年度 実施対象市町村計	158,788	118,395 (74.6)	3,188	118,085 (99.7)	51,449 (43.6)	65,566 (55.5)	1,070 (0.9)	0 (0.0)	
合計	367,685	299,543 (81.5)	9,479	299,233 (99.9)	154,018 (51.5)	142,936 (47.8)	2,278 (0.8)	1 (0.0)	

表2. 結節・のう胞の人数・割合

平成27年3月31日現在

	結果確定数(人) ア	アに対する結節・のう胞の人数(割合(%))			
		結節		のう胞	
		5.1mm以上 イ (イ/ア)	5.0mm以下 ウ (ウ/ア)	20.1mm以上 エ (エ/ア)	20.0mm以下 オ (オ/ア)
平成23年度 実施対象市町村計	41,810	219 (0.5)	232 (0.6)	1 (0.0)	15,140 (36.2)
平成24年度 実施対象市町村計	139,338	973 (0.7)	730 (0.5)	9 (0.0)	62,267 (44.7)
平成25年度 実施対象市町村計	118,085	1,068 (0.9)	746 (0.6)	2 (0.0)	65,849 (55.8)
合計	299,233	2,260 (0.8)	1,708 (0.6)	12 (0.0)	143,256 (47.9)

※²市町村別受診状況は、資料 2 のとおり。

※³本県以外の都道府県別受診状況は、資料 3 のとおり。

※⁴市町村別結果状況は、資料 4 のとおり。

※⁵検査結果確定者の年齢と性別の分布等は資料 5 のとおり。

- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。
- 対象者等については、重複の精査等を行っているため、既出の報告者数と異なっている。

2. 二次検査結果

(1) 二次検査実施状況

一次検査結果が B, C 判定であった 2,279 人のうち、2,096 人 (92.0%) が二次検査を受診し、結果確定者は 2,034 人 (97.0%) であった。※⁶

その 2,034 人のうち、689 人 (表 3 の次回検査 A1 の 119 人と A2 の 570 人) (33.9%) は詳細な検査の結果 A1 もしくは A2 判定相当として、次回検査 (本格検査) となった。

一方、1,345 人 (66.1%) は、概ね 6 か月後または 1 年後に通常診療 (保険診療) となる方等であった。この 1,345 人のうち、529 人 (39.3%) が穿刺吸引細胞診検査を受診している。

表3. 二次検査進捗状況

平成27年3月31日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数(人) 受診率 (%) イ (イ/ア)	確定率 (%) ウ (ウ/イ)	結果確定数(人)			
				次回検査		通常診療等	
				A1 エ (エ/ウ)	A2 オ (オ/ウ)	カ (カ/ウ)	うち細胞診受診者 キ (キ/カ)
平成23年度 実施対象市町村計	221	199 (90.0)	197 (99.0)	12 (6.1)	44 (22.3)	141 (71.6)	91 (64.5)
平成24年度 実施対象市町村計	988	920 (93.1)	901 (97.9)	54 (6.0)	246 (27.3)	601 (66.7)	263 (43.8)
平成25年度 実施対象市町村計	1,070	977 (91.3)	936 (95.8)	53 (5.7)	280 (29.9)	603 (64.4)	175 (29.0)
合計	2,279	2,096 (92.0)	2,034 (97.0)	119 (5.9)	570 (28.0)	1,345 (66.1)	529 (39.3)

※⁶ 市町村別実施状況は資料 6 のとおり。

- 次回検査は一次検査基準で A1、A2 の範囲内であることが確認された方 (甲状腺に疾病のある方を含む)。
- 通常診療等は概ね 6 か月後または 1 年後に経過観察 (保険診療) する方及び A2 基準値を超える等の方。

(2) 細胞診等結果

穿刺吸引細胞診を行った方のうち、112人が「悪性ないし悪性疑い」の判定となった。

112人の性別は男性38人、女性74人であった。また、二次検査時点での年齢は8歳から22歳（平均年齢は 17.2 ± 2.7 歳）、腫瘍径は最小5.1mmから最大45.0mm（平均腫瘍径は 14.2 ± 7.8 mm）であった。

表4.平成23~25年度実施対象市町村細胞診結果（平均年齢と平均腫瘍径の（ ）内は範囲を示す）

ア	平成23年度実施対象市町村
	・悪性ないし悪性疑い 15人※ ⁷
	・男性：女性 5人：10人
	・平均年齢 17.3 ± 2.0 歳（13-20歳）、震災当時 15.7 ± 1.9 歳（11-18歳）
	・平均腫瘍径 14.1 ± 6.6 mm（6.0-33.0mm）
イ	平成24年度実施対象市町村
	・悪性ないし悪性疑い 56人※ ⁷
	・男性：女性 21人：35人
	・平均年齢 17.2 ± 2.7 歳（8-21歳）、震災当時 14.9 ± 2.6 歳（6-18歳）
	・平均腫瘍径 14.5 ± 7.8 mm（5.2-40.5mm）
ウ	平成25年度実施対象市町村
	・悪性ないし悪性疑い 41人※ ⁷
	・男性：女性 12人：29人
	・平均年齢 17.3 ± 3.0 歳（11-22歳）、震災当時 14.4 ± 2.9 歳（8-18歳）
	・平均腫瘍径 14.0 ± 8.4 mm（5.1-45.0mm）
	アからウの合計
	・悪性ないし悪性疑い 112人※ ⁷
	・男性：女性 38人：74人
	・平均年齢 17.2 ± 2.7 歳（8-22歳）、震災当時 14.8 ± 2.6 歳（6-18歳）
	・平均腫瘍径 14.2 ± 7.8 mm（5.1-45.0mm）

※⁷手術実施症例については資料7のとおり。

(3) 細胞診等で悪性ないし悪性疑いであった112人の年齢、性分布

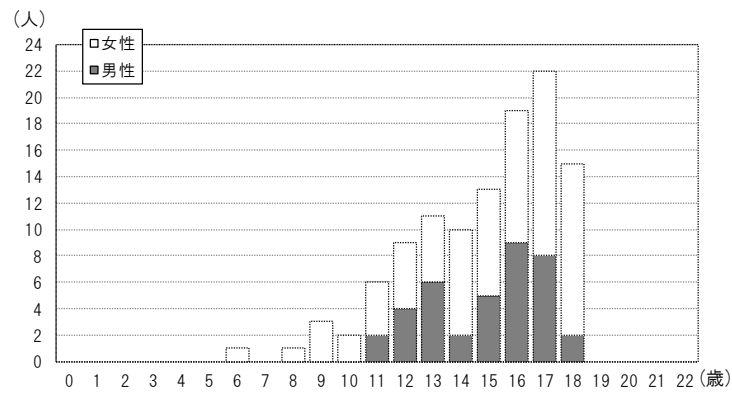


図3. 平成23年3月11日時点の年齢による分布

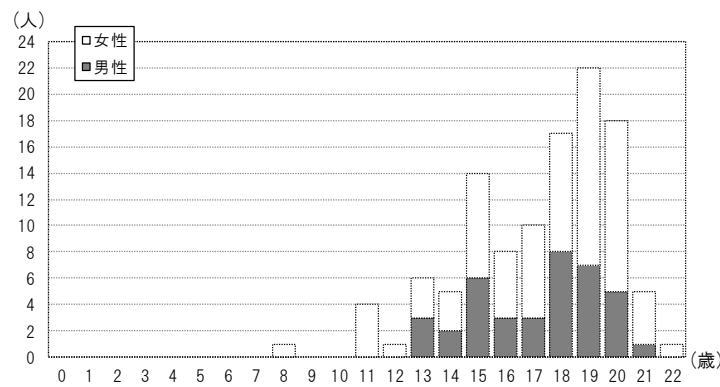


図4. 二次検査時点の年齢による分布

(4) 細胞診等による悪性ないし悪性疑いの112人の基本調査結果

112人のうち、基本調査問診票を提出した方は63人(56.3%)、結果が通知された方は60人(推計期間4ヶ月未満5人を含む)であった。このうち、1mSv未満の方が42人(70.0%)で最大実効線量は2.2mSvであった。

今後も、引き続き問診票の意義や重要性を説明し、提出していただくよう働きかけていく。

表5. 基本調査提出者の実効線量推計内訳(人)

平成27年3月31日現在

実効線量 (mSv)	震災時年齢(歳)								合計	
	0~5		6~10		11~15		16~18			
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
1未満	0	0	0	5(1)	6(1)	8	7(1)	16(2)	13(2)	29(3)
2未満	0	0	0	0	3	9	2	3	5	12
5未満	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
10未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	5(1)	10(1)	17	9(1)	19(2)	19(2)	41(3)

- ()内はそれぞれの人数のうち推計期間が4ヶ月未満の方。
- 推計値は外部被ばく実効線量を推計したもの。

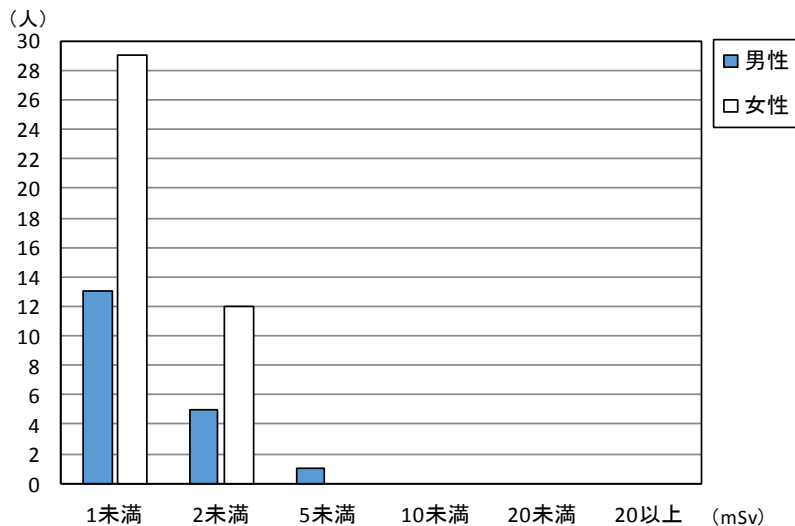


図 5. 基本調査提出者の実効線量内訳

(5) 血液検査及び尿中ヨウ素 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

表6. 血液データ 平均±SD (異常値の割合)

	FT4 注1 (ng/dL)	FT3 注2 (pg/mL)	TSH 注3 (μ IU/mL)	Tg 注4 (ng/mL)	TgAb 注5 (IU/mL)	TPOAb 注6 (IU/mL)
基準値	0.95~1.74	2.13~4.07 注7	0.340~3.880	32.7 以下	28.0 未満	16.0 未満
悪性ないし悪性疑い112人	1.2 ± 0.2 (6.3%)	3.4 ± 0.4 (5.4%)	1.3 ± 0.7 (5.4%)	41.3 ± 82.5 (36.6%)	— (27.7%)	— (16.1%)
その他1,920人	1.3 ± 0.3 (7.3%)	3.6 ± 0.9 (6.3%)	1.8 ± 12.2 (8.4%)	33.6 ± 181.5 (17.9%)	— (13.2%)	— (9.7%)

表7. 尿中ヨウ素データ

(μ g/day)

	最小値	25%値	中央値	75%値	最大値
悪性ないし悪性疑い112人	42	134	230	378	6,020
その他1,917人	24	120	195	368	35,700

注 1 FT4 (遊離サイロキシシン) …ヨードの数が 4 つの甲状腺ホルモン。甲状腺中毒症では高値 (代表的疾患: バセドウ病)、甲状腺機能低下症では低値 (代表的疾患: 橋本病) になることが多い。

注 2 FT3 (遊離トリヨードサイロニン) …ヨードの数が 3 つの甲状腺ホルモン。甲状腺中毒症では高値 (代表的疾患: バセドウ病)、甲状腺機能低下症では低値 (代表的疾患: 橋本病) になることが多い。

注 3 TSH (甲状腺刺激ホルモン) …脳の下垂体から出ているホルモンで甲状腺へ甲状腺ホルモンを出すよう命令する。橋本病では高値、バセドウ病では低値になることが多い。

注 4 Tg(サイログロブリン)…甲状腺ホルモンになる直前の物質。甲状腺内に多量に存在する。甲状腺が破壊されたり、腫瘍がTgを産生していたりする場合に高値になることが多い。

注 5 TgAb (抗サイログロブリン抗体) …サイログロブリンに対する自己抗体。橋本病やバセドウ病で高値になることが多い。

注 6 TPOAb (抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体) …ペルオキシダーゼという酵素に対しての自己抗体。橋本病やバセドウ病で高値になることが多い。

注 7 基準値は年齢ごとに異なる。

(6) 市町村別二次検査結果（平成 27 年 3 月 31 日現在）

二次検査における悪性ないし悪性疑いの割合は、平成 23 年度実施対象市町村（国が指定した避難区域等の 13 市町村）が 0.03%、平成 24 年度実施対象市町村（県中地方などの 12 市町村）が 0.04%、平成 25 年度実施対象市町村（いわき市、県南地方、会津地方などの 34 市町村）0.03%となっている。

表 8. 実施対象年度別市町村結果

平成23年度実施対象市町村(国が指定した避難区域等の13市町村)

	一次検査受診者 (人) ア	二次検査対象者 (人) イ	二次検査率 (%) イ/ア	二次検査受診者 (人)	悪性ないし悪性 疑い(人) ウ注8	悪性ないし悪性 疑いの割合(%) ウ/ア
川俣町	2,221	8	0.4	8	2	0.09
浪江町	3,249	26	0.8	24	2	0.06
飯舘村	943	6	0.6	6	0	0.00
南相馬市	10,789	52	0.5	48	2	0.02
伊達市	10,605	50	0.5	45	2	0.02
田村市	6,325	32	0.5	26	3	0.05
広野町	838	5	0.6	4	0	0.00
楢葉町	1,153	7	0.6	6	0	0.00
富岡町	2,302	13	0.6	12	1	0.04
川内村	280	4	1.4	4	1	0.36
大熊町	1,973	14	0.7	13	1	0.05
双葉町	949	3	0.3	2	0	0.00
葛尾村	183	1	0.5	1	0	0.00
小計	41,810	221	0.5	199	14	0.03

注 8 細胞診結果において悪性疑いで、手術後良性であった 1 人は含めない。

平成24年度実施対象市町村

	一次検査受診者 (人) ア	二次検査対象者 (人) イ	二次検査率 (%) イ/ア	二次検査受診者 (人)	悪性ないし悪性 疑い(人) ウ	悪性ないし悪性 疑いの割合(%) ウ/ア
福島市	47,307	283	0.6	272	12	0.03
二本松市	8,857	57	0.6	54	5	0.06
本宮市	5,234	29	0.6	29	3	0.06
大玉村	1,373	7	0.5	7	2	0.15
郡山市	54,063	458	0.8	415	25	0.05
桑折町	1,874	14	0.7	13	0	0.00
国見町	1,437	15	1.0	13	0	0.00
天栄村	878	7	0.8	6	0	0.00
白河市	10,810	61	0.6	59	6	0.06
西郷村	3,618	30	0.8	26	1	0.03
泉崎村	1,157	5	0.4	5	1	0.09
三春町	2,730	22	0.8	21	1	0.04
小計	139,338	988	0.7	920	56	0.04

平成25年度実施対象市町村

	一次検査受診者 (人) ア	二次検査対象者 (人) イ	二次検査率 (%) イ/ア	二次検査受診者 (人)	悪性ないし悪性 疑い(人) ウ	悪性ないし悪性 疑いの割合(%) ウ/ア
いわき市注9	49,405	452	0.9	418	23	0.05
須賀川市	12,079	105	0.9	100	4	0.03
相馬市	5,205	46	0.9	42	0	0.00
鏡石町	2,030	11	0.5	8	0	0.00
新地町	1,149	7	0.6	7	0	0.00
中島村	832	2	0.2	2	0	0.00
矢吹町	2,567	20	0.8	14	0	0.00
石川町	2,162	12	0.6	11	1	0.05
矢祭町	794	3	0.4	2	0	0.00
浅川町	1,093	12	1.1	11	0	0.00
平田村	873	10	1.1	9	1	0.11
棚倉町	2,322	22	0.9	22	1	0.04
埴町	1,255	9	0.7	7	0	0.00
鮫川村	522	4	0.8	1	0	0.00
小野町	1,449	15	1.0	13	0	0.00
玉川村	1,015	11	1.1	9	0	0.00
古殿町	822	6	0.7	6	0	0.00
檜枝岐村	61	0	0.0	0	0	0.00
南会津町	1,822	16	0.9	15	0	0.00
金山町	141	0	0.0	0	0	0.00
昭和村	102	0	0.0	0	0	0.00
三島町	129	1	0.8	1	0	0.00
下郷町	695	10	1.4	10	1	0.14
喜多方市	5,749	46	0.8	40	0	0.00
西会津町	641	5	0.8	4	0	0.00
只見町	495	7	1.4	7	0	0.00
猪苗代町	1,912	13	0.7	13	1	0.05
磐梯町	414	4	1.0	3	0	0.00
北塩原村	388	1	0.3	1	0	0.00
会津美里町	2,554	26	1.0	24	0	0.00
会津坂下町	2,088	25	1.2	23	1	0.05
柳津町	376	2	0.5	2	0	0.00
会津若松市	14,745	160	1.1	145	7	0.05
湯川村	509	7	1.4	7	1	0.20
小計	118,395	1,070	0.9	977	41	0.03

合計	299,543	2,279	0.8	2,096	111	0.04
----	---------	-------	-----	-------	-----	------

注9 いわき市には平成24年度に実施した久之浜等の地区も含む。

3. 一次検査及び二次検査の地域別比較（暫定）

検査結果等の地域差を比較するために、地域別の分析を行った。

地域区分は、福島県において通常使用されている「浜通り」、「中通り」、「会津地方」を基本とし、さらに「浜通り」と「中通り」については、国が指定した避難区域等の13市町村とそれ以外の区域にした。

ただし、「会津地方」については、まだ二次検査結果が揃っていないことから本分析はあくまで暫定となる。

表9. 地域別にみたB・C判定者、および悪性ないし悪性疑い者の割合(暫定)

平成27年3月31日現在

		避難区域等 13市町村 注 14	中通り 注15	浜通り 注16	会津地方 注17	合計
対象者数		47,768	199,451	70,539	49,927	367,685
一次検査受診者数 ア 注10		41,810	169,116	55,516	32,791	299,233
検査時平均年齢(標準偏差) 全体		10.4 (5.3)	10.7 (5.1)	11.2 (5.0)	11.1 (4.5)	-
検査時平均年齢(標準偏差) 女性		10.4 (5.3)	10.8 (5.2)	11.3 (5.1)	11.3 (4.6)	-
検査時平均年齢(標準偏差) 男性		10.3 (5.2)	10.6 (5.1)	11.0 (4.9)	10.9 (4.5)	-
女性(割合)	%	49.6	49.3	49.9	49.7	49.5
B・C判定数 イ		221	1,230	505	323	2,279
B・C判定率(B・C判定数/一次検査受診者数) イ/ア	%	0.53	0.73	0.91	0.99	0.76
二次検査受診者数 ウ 注11		197	1,106	448	283	2,034
二次検査受診率(二次検査受診者数/B・C判定数)ウ/イ	%	89.1	89.9	88.7	87.6	89.2
細胞診実施数 エ 注12		94	296	97	48	535
細胞診実施率(細胞診実施数/二次検査受診者数)エ/ウ	%	47.7	26.8	21.7	17.0	26.3
細胞診実施率(細胞診実施数/一次検査受診者数)エ/ア	%	0.22	0.18	0.17	0.15	0.18
悪性ないし悪性疑い者数 オ 注13		14	63	23	11	111
悪性ないし悪性疑い者数/細胞診実施数 オ/エ	%	14.9	21.3	23.7	22.9	20.7
悪性ないし悪性疑い者率:10万対 オ/ア		33.5	37.3	41.4	33.5	37.1
	%	(0.033)	(0.037)	(0.041)	(0.034)	(0.037)

注 10 重複、結果未確定者を除く。

注 11 結果未確定者を除く。

注 12 ウのうち、穿刺吸引細胞診を実施した人数(次回検査(A1、A2)と診断された方を含む)。

注 13 細胞診結果において悪性疑いで手術後良性であった1人は含めない。

注 14 田村市、南相馬市、伊達市、川俣町、広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村

注 15 福島市、郡山市、白河市、須賀川市、二本松市、本宮市、桑折町、国見町、大玉村、鏡石町、天栄村、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町

注 16 いわき市、相馬市、新地町

注 17 会津若松市、喜多方市、下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町

<地域別比較による結果と考察について>

- ・ 重複が確認できた方、結果未確定者を除く一次検査受診者 299,233 人を地域別に分析した結果、B・C判定率は「避難区域等13市町村」、「中通り」、「浜通り」、「会津地方」の順で増加傾向が見られた。
- ・ 一方、「悪性ないし悪性疑い」者率は「避難区域等13市町村」、「中通り」、「浜通り」及び「会津地方」でほぼ同様であった。

4. こころのケア・サポート

二次検査対象者については、サポートチームを立ち上げ、心配や不安に対する、こころのケア・サポートに努め、「WEB相談」による質問・相談を受け付けるなどの対応も行っている。

また、保険診療移行後についても、病院のチームと連携し、同様の対応を継続して行えるような支援体制を整えている。

なお、平成25年12月5日以降、平成27年3月31日現在で、276人のサポートをしており、性別は男性69人、女性207人であった。この方々にのべ652回の相談対応等をしており、その内訳は初回受診時145回（22.2%）、2回目以降受診時156回（23.9%）（うち穿刺吸引細胞診時53回（8.1%））、インフォームドコンセント時34回（5.2%）、保険診療移行後のフォロー（術前術後を含む）218回（33.4%）、入院中88回（13.5%）、その他11回（1.7%）であった。

資料 1

甲状腺検査市町村別対象者数

平成27年3月31日現在

	対象者数	年齢別内訳			
		0～5歳	6～10歳	11～15歳	16～18歳
平成23年度実施対象市町村					
川 俣 町	2,394	588	631	719	456
浪 江 町	3,643	1,023	920	1,031	669
飯 館 村	1,084	281	300	301	202
南 相 馬 市	12,526	3,697	3,418	3,297	2,114
伊 達 市	11,400	2,755	3,023	3,401	2,221
田 村 市	7,068	1,738	1,807	2,073	1,450
広 野 町	1,077	258	250	348	221
檜 葉 町	1,432	351	362	415	304
富 岡 町	2,962	767	740	897	558
川 内 村	357	90	99	89	79
大 熊 町	2,385	782	634	619	350
双 葉 町	1,207	369	300	337	201
葛 尾 村	233	56	62	67	48
小 計	47,768	12,755	12,546	13,594	8,873
平成24年度実施対象市町村					
福 島 市	53,552	15,248	14,062	14,880	9,362
三 本 松 市	10,256	2,784	2,646	2,945	1,881
本 宮 市	6,112	1,760	1,583	1,691	1,078
大 玉 村	1,617	486	399	430	302
大 郡 山 市	64,380	19,216	16,911	17,496	10,757
桑 折 町	2,065	526	547	595	397
国 見 町	1,594	381	420	484	309
天 栄 村	1,061	300	284	280	197
白 河 市	12,160	3,357	3,258	3,478	2,067
西 郷 村	3,976	1,142	1,081	1,075	678
泉 崎 村	1,289	353	355	335	246
三 春 町	3,067	750	776	931	610
小 計	161,129	46,303	42,322	44,620	27,884
平成25年度実施対象市町村					
い わ き 市※1	62,293	17,234	16,182	17,755	11,122
須 賀 川 市	15,309	4,344	4,096	4,256	2,613
相 馬 市	6,812	1,981	1,778	1,849	1,204
鏡 石 町	2,597	740	707	723	427
新 地 町	1,434	392	394	411	237
中 島 村	1,079	270	282	317	210
矢 吹 町	3,277	981	850	896	550
石 川 町	2,848	711	722	831	584
矢 祭 町	1,010	287	236	315	172
浅 川 町	1,340	340	379	372	249
平 田 村	1,209	330	298	342	239
棚 倉 町	2,988	867	744	882	495
塙 町	1,662	415	391	531	325
鮫 川 村	694	178	172	186	158
小 野 町	1,937	497	490	568	382
玉 川 村	1,332	384	347	369	232
古 殿 町	1,040	287	242	315	196
檜 枝 岐 村	107	23	30	34	20
南 会 津 町	2,823	713	682	841	587
金 山 町	203	40	52	72	39
昭 和 村	128	44	38	33	13
三 島 町	192	43	55	53	41
下 郷 町	1,007	265	252	293	197
喜 多 方 市	8,910	2,293	2,334	2,578	1,705
西 会 津 町	1,019	216	245	334	224
只 見 町	710	195	177	201	137
猪 苗 代 町	2,662	704	659	768	531
磐 梯 町	617	180	163	166	108
北 塩 原 村	557	159	140	156	102
会 津 美 里 町	3,658	916	909	1,098	735
会 津 坂 下 町	3,081	766	800	958	557
柳 津 町	590	158	142	175	115
会 津 若 松 市	22,987	6,261	5,965	6,578	4,183
湯 川 村	676	179	177	192	128
小 計	158,788	43,393	41,130	45,448	28,817
合 計	367,685	102,451	95,998	103,662	65,574

※1 いわき市には平成24年度に実施した久之浜等の地区も含む。

● 対象者については重複の精査等を行っているため既出の報告者数と異なっている。

資料 2

市町村別一次検査受診状況

平成23年度実施対象市町村(国が指定した避難区域等の13市町村)

平成27年3月31日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数(人)		受診率 (%) イ/ア	年齢階層別受診者数(人) 年齢階層別内訳(%) ※2				イのうち県外 居住者数 (人) ウ※3	イのうち県外 居住者の 割合 (%) ウ/イ
		イ	うち県外 受診 ※1		0-5歳	6-10歳	11-15歳	16-18歳		
川俣町	2,394	2,221	34	92.8	560 95.2 25.2	612 97.0 27.6	687 95.5 30.9	362 79.4 16.3	130	5.9
浪江町	3,643	3,249	192	89.2	920 89.9 28.3	858 93.3 26.4	918 89.0 28.3	553 82.7 17.0		
飯館村	1,084	943	16	87.0	248 88.3 26.3	271 90.3 28.7	264 87.7 28.0	160 79.2 17.0	89	9.4
南相馬市	12,526	10,789	875	86.1	3,205 86.7 29.7	3,052 89.3 28.3	2,929 88.8 27.1	1,603 75.8 14.9		
伊達市	11,400	10,605	155	93.0	2,573 93.4 24.3	2,977 98.5 28.1	3,287 96.6 31.0	1,768 79.6 16.7	586	5.5
田村市	7,068	6,325	61	89.5	1,557 89.6 24.6	1,762 97.5 27.9	1,969 95.0 31.1	1,037 71.5 16.4		
広野町	1,077	838	57	77.8	204 79.1 24.3	216 86.4 25.8	294 84.5 35.1	124 56.1 14.8	148	17.7
楢葉町	1,432	1,153	77	80.5	285 81.2 24.7	319 88.1 27.7	353 85.1 30.6	196 64.5 17.0		
富岡町	2,962	2,302	237	77.7	594 77.4 25.8	638 86.2 27.7	720 80.3 31.3	350 62.7 15.2	625	27.2
川内村	357	280	22	78.4	72 80.0 25.7	92 92.9 32.9	70 78.7 25.0	46 58.2 16.4		
大熊町	2,385	1,973	183	82.7	656 83.9 33.2	579 91.3 29.3	529 85.5 26.8	209 59.7 10.6	502	25.4
双葉町	1,207	949	113	78.6	289 78.3 30.5	246 82.0 25.9	277 82.2 29.2	137 68.2 14.4		
葛尾村	233	183	3	78.5	43 76.8 23.5	55 88.7 30.1	57 85.1 31.1	28 58.3 15.3	15	8.2
小計	47,768	41,810	2,025	87.5	11,206 87.9 26.8	11,677 93.1 27.9	12,354 90.9 29.5	6,573 74.1 15.7		

※1 受診者のうち県外検査実施機関で検査を受診した人数及び福島県立医科大学から出向いて実施した検査を受診した人数。

※2 上段には受診者数を、中段には各年齢階層の対象者に対する進捗率を、下段には受診者イの階層別割合を記載。

※3 受診者のうち県外住所の方の人数。

- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。
- 年齢は平成 23 年 3 月 11 日時点のもの。
- 対象者等については、重複の精査等を行っているため、既出の報告者数と異なっている。
- 対象者のうち、在籍している学校で検査を受診した方などについては一部、学校等の所在市町村に含め集計していたが、震災時市町村に再集計した。

	対象者数 (人) ア	受診者数(人)		受診率 (%) イ/ア	年齢階層別受診者数(人) 年齢階層別内訳(%) ※2				イのうち県外 居住者数 (人) ウ※3	イのうち県外 居住者の 割合 (%) ウ/イ
		イ	うち 県外受診 ※1		0-5歳	6-10歳	11-15歳	16-18歳		
					イ/ア					
福島市	53,552	47,307	1,238	88.3	13,370	13,565	13,670	6,702	3,618	7.6
					87.7	96.5	91.9	71.6		
					28.3	28.7	28.9	14.2		
二本松市	10,256	8,857	174	86.4	2,528	2,589	2,672	1,068	438	4.9
					90.8	97.8	90.7	56.8		
					28.5	29.2	30.2	12.1		
本宮市	6,112	5,234	110	85.6	1,534	1,554	1,506	640	231	4.4
					87.2	98.2	89.1	59.4		
					29.3	29.7	28.8	12.2		
大玉村	1,617	1,373	18	84.9	447	397	385	144	47	3.4
					92.0	99.5	89.5	47.7		
					32.6	28.9	28.0	10.5		
郡山市	64,380	54,063	2,217	84.0	16,317	16,148	15,492	6,106	4,588	8.5
					84.9	95.5	88.5	56.8		
					30.2	29.9	28.7	11.3		
桑折町	2,065	1,874	34	90.8	494	541	570	269	74	3.9
					93.9	98.9	95.8	67.8		
					26.4	28.9	30.4	14.4		
国見町	1,594	1,437	29	90.2	349	412	464	212	53	3.7
					91.6	98.1	95.9	68.6		
					24.3	28.7	32.3	14.8		
天栄村	1,061	878	13	82.8	285	281	229	83	35	4.0
					95.0	98.9	81.8	42.1		
					32.5	32.0	26.1	9.5		
白河市	12,160	10,810	296	88.9	3,083	3,193	3,242	1,292	611	5.7
					91.8	98.0	93.2	62.5		
					28.5	29.5	30.0	12.0		
西郷村	3,976	3,618	83	91.0	1,088	1,062	1,012	456	200	5.5
					95.3	98.2	94.1	67.3		
					30.1	29.4	28.0	12.6		
泉崎村	1,289	1,157	14	89.8	339	346	311	161	45	3.9
					96.0	97.5	92.8	65.4		
					29.3	29.9	26.9	13.9		
三春町	3,067	2,730	40	89.0	696	760	859	415	106	3.9
					92.8	97.9	92.3	68.0		
					25.5	27.8	31.5	15.2		
小計	161,129	139,338	4,266	86.5	40,530	40,848	40,412	17,548	10,046	7.2
					87.5	96.5	90.6	62.9		
					29.1	29.3	29.0	12.6		

平成25年度実施対象市町村

平成27年3月31日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数(人)		受診率 (%) イ/ア	年齢階層別受診者数(人) 年齢階層別内訳(%) ※2				イのうち県外 居住者数 (人) ウ※3	イのうち県外 居住者の 割合 (%) ウ/イ
		イ	うち 県外受診 ※1		0-5歳	6-10歳	11-15歳	16-18歳		
					14,395	15,502	14,291	5,217		
いわき市 ※4	62,293	49,405	1,684	79.3	83.5	95.8	80.5	46.9	2,309	4.7
須賀川市	15,309	12,079	267	78.9	29.1	31.4	28.9	10.6	439	3.6
					3,775	3,986	3,285	1,033		
					86.9	97.3	77.2	39.5		
相馬市	6,812	5,205	231	76.4	31.3	33.0	27.2	8.6	367	7.1
					1,698	1,661	1,361	485		
					85.7	93.4	73.6	40.3		
鏡石町	2,597	2,030	33	78.2	32.6	31.9	26.1	9.3	43	2.1
					641	686	545	158		
					86.6	97.0	75.4	37.0		
新地町	1,434	1,149	64	80.1	31.6	33.8	26.8	7.8	58	5.0
					353	379	320	97		
					90.1	96.2	77.9	40.9		
中島村	1,079	832	9	77.1	30.7	33.0	27.9	8.4	16	1.9
					230	275	267	60		
					85.2	97.5	84.2	28.6		
矢吹町	3,277	2,567	55	78.3	27.6	33.1	32.1	7.2	58	2.3
					886	830	683	168		
					90.3	97.6	76.2	30.5		
石川町	2,848	2,162	57	75.9	34.5	32.3	26.6	6.5	56	2.6
					668	692	619	183		
					94.0	95.8	74.5	31.3		
矢祭町	1,010	794	17	78.6	30.9	32.0	28.6	8.5	20	2.5
					270	233	237	54		
					94.1	98.7	75.2	31.4		
浅川町	1,340	1,093	25	81.6	34.0	29.3	29.8	6.8	30	2.7
					320	374	305	94		
					94.1	98.7	82.0	37.8		
平田村	1,209	873	15	72.2	29.3	34.2	27.9	8.6	11	1.3
					284	284	235	70		
					86.1	95.3	68.7	29.3		
棚倉町	2,988	2,322	43	77.7	32.5	32.5	26.9	8.0	58	2.5
					773	730	652	167		
					89.2	98.1	73.9	33.7		
塙町	1,662	1,255	27	75.5	33.3	31.4	28.1	7.2	31	2.5
					374	382	392	107		
					90.1	97.7	73.8	32.9		
鮫川村	694	522	14	75.2	29.8	30.4	31.2	8.5	16	3.1
					175	170	137	40		
					98.3	98.8	73.7	25.3		
小野町	1,937	1,449	38	74.8	33.5	32.6	26.2	7.7	38	2.6
					428	472	422	127		
					86.1	96.3	74.3	33.2		
玉川村	1,332	1,015	13	76.2	29.5	32.6	29.1	8.8	14	1.4
					346	341	255	73		
					90.1	98.3	69.1	31.5		
古殿町	1,040	822	25	79.0	34.1	33.6	25.1	7.2	26	3.2
					269	240	245	68		
					93.7	99.2	77.8	34.7		
					32.7	29.2	29.8	8.3		

※4 いわき市には平成24年度に実施した久之浜等の地区も含む。

平成25年度実施対象市町村

平成27年3月31日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数(人)		受診率 (%) イ/ア	年齢階層別受診者数(人) 年齢階層別内訳(%) ※1				イのうち県外 居住者数 (人) ウ※2	イのうち県外 居住者の 割合 (%) ウ/イ
		イ	うち 県外受診 ※3		0-5歳	6-10歳	11-15歳	16-18歳		
檜枝岐村	107	61	3	57.0	15	27	19	0	3	4.9
					65.2	90.0	55.9	0.0		
					24.6	44.3	31.1	0.0		
南会津町	2,823	1,822	22	64.5	610	641	464	107	37	2.0
					85.6	94.0	55.2	18.2		
					33.5	35.2	25.5	5.9		
金山町	203	141	8	69.5	36	51	48	6	7	5.0
					90.0	98.1	66.7	15.4		
					25.5	36.2	34.0	4.3		
昭和村	128	102	0	79.7	37	38	26	1	4	3.9
					84.1	100.0	78.8	7.7		
					36.3	37.3	25.5	1.0		
三島町	192	129	1	67.2	29	54	37	9	0	0.0
					67.4	98.2	69.8	22.0		
					22.5	41.9	28.7	7.0		
下郷町	1,007	695	13	69.0	244	233	179	39	17	2.4
					92.1	92.5	61.1	19.8		
					35.1	33.5	25.8	5.6		
喜多方市	8,910	5,749	72	64.5	1,643	2,233	1,495	378	105	1.8
					71.7	95.7	58.0	22.2		
					28.6	38.8	26.0	6.6		
西会津町	1,019	641	4	62.9	203	238	173	27	8	1.2
					94.0	97.1	51.8	12.1		
					31.7	37.1	27.0	4.2		
只見町	710	495	4	69.7	161	169	147	18	5	1.0
					82.6	95.5	73.1	13.1		
					32.5	34.1	29.7	3.6		
猪苗代町	2,662	1,912	34	71.8	616	643	505	148	71	3.7
					87.5	97.6	65.8	27.9		
					32.2	33.6	26.4	7.7		
磐梯町	617	414	9	67.1	133	159	94	28	12	2.9
					73.9	97.5	56.6	25.9		
					32.1	38.4	22.7	6.8		
北塩原村	557	388	9	69.7	144	137	96	11	9	2.3
					90.6	97.9	61.5	10.8		
					37.1	35.3	24.7	2.8		
会津美里町	3,658	2,554	26	69.8	827	874	686	167	50	2.0
					90.3	96.1	62.5	22.7		
					32.4	34.2	26.9	6.5		
会津坂下町	3,081	2,088	29	67.8	617	753	579	139	39	1.9
					80.5	94.1	60.4	25.0		
					29.5	36.1	27.7	6.7		
柳津町	590	376	3	63.7	127	129	103	17	3	0.8
					80.4	90.8	58.9	14.8		
					33.8	34.3	27.4	4.5		
会津若松市	22,987	14,745	327	64.1	4,187	5,643	4,045	870	447	3.0
					66.9	94.6	61.5	20.8		
					28.4	38.3	27.4	5.9		
湯川村	676	509	7	75.3	166	177	129	37	8	1.6
					92.7	100.0	67.2	28.9		
					32.6	34.8	25.3	7.3		
小計	158,788	118,395	3,188	74.6	35,680	39,436	33,076	10,203	4,415	3.7
					82.2	95.9	72.8	35.4		
					30.1	33.3	27.9	8.6		
合計	367,685	299,543	9,479	81.5	87,416	91,961	85,842	34,324	21,516	7.2
					85.3	95.8	82.8	52.3		
					29.2	30.7	28.7	11.5		

資料 3

都道府県別一次検査受診状況

平成27年2月28日現在

都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)	都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)	都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)
北海道	4	335	福井県	1	22	広島県	1	37
青森県	1	163	山梨県	2	82	山口県	1	24
岩手県	3	189	長野県	2	133	徳島県	1	10
宮城県	2	1,529	岐阜県	1	43	香川県	1	29
秋田県	1	213	静岡県	2	110	愛媛県	1	23
山形県	3	458	愛知県	3	179	高知県	1	14
茨城県	4	454	三重県	1	38	福岡県	2	83
栃木県	5	454	滋賀県	1	20	佐賀県	1	7
群馬県	2	185	京都府	3	97	長崎県	2	25
埼玉県	2	252	大阪府	6	210	熊本県	1	25
千葉県	3	284	兵庫県	1	135	大分県	1	35
東京都	12	1,794	奈良県	1	25	宮崎県	1	35
神奈川県	4	756	和歌山県	1	13	鹿児島県	1	31
新潟県	1	620	鳥取県	1	15	沖縄県	1	121
富山県	1	34	島根県	1	13			
石川県	1	45	岡山県	3	80			
						合計	95	9,479

- 受診者数は県外検査実施機関で検査を受診した人数及び福島県立医科大学から出向いて実施した検査を受診した人数。
- 福島県立医科大学から出向いて検査を行ったのは、新潟県（2回）・山形県（3回）・神奈川県（2回）。

資料 4

市町村別一次検査結果

平成23年度実施対象市町村(国が指定した避難区域等の13市町村)

平成27年3月31日現在

	受診者 (人) ア	結果確定数 (人) イ 進捗状況 イ/ア (%)	判定区分別人数(人)				結節(人)		のう胞(人)	
			判定区分別割合(%)				結節の割合(%)		のう胞の割合(%)	
			A		B	C	5.1mm 以上	5.0mm 以下	20.1mm 以上	20.0mm 以下
			A1	A2						
川 俣 町	2,221	2,221	1,520	693	8	0	8	17	0	681
		100.0	68.4	31.2	0.4	0.0	0.4	0.8	0.0	30.7
浪 江 町	3,249	3,249	2,119	1,104	26	0	26	42	0	1,088
		100.0	65.2	34.0	0.8	0.0	0.8	1.3	0.0	33.5
飯 館 村	943	943	693	244	6	0	6	15	0	233
		100.0	73.5	25.9	0.6	0.0	0.6	1.6	0.0	24.7
南 相 馬 市	10,789	10,789	6,789	3,948	52	0	52	87	0	3,905
		100.0	62.9	36.6	0.5	0.0	0.5	0.8	0.0	36.2
伊 達 市	10,605	10,605	6,748	3,807	50	0	48	31	1	3,808
		100.0	63.6	35.9	0.5	0.0	0.5	0.3	0.0	35.9
田 村 市	6,325	6,325	4,000	2,293	32	0	32	11	0	2,299
		100.0	63.2	36.3	0.5	0.0	0.5	0.2	0.0	36.3
広 野 町	838	838	521	312	5	0	5	3	0	313
		100.0	62.2	37.2	0.6	0.0	0.6	0.4	0.0	37.4
檜 葉 町	1,153	1,153	651	495	7	0	7	4	0	498
		100.0	56.5	42.9	0.6	0.0	0.6	0.3	0.0	43.2
富 岡 町	2,302	2,302	1,350	939	13	0	13	8	0	939
		100.0	58.6	40.8	0.6	0.0	0.6	0.3	0.0	40.8
川 内 村	280	280	156	120	4	0	4	1	0	120
		100.0	55.7	42.9	1.4	0.0	1.4	0.4	0.0	42.9
大 熊 町	1,973	1,973	1,140	819	14	0	14	7	0	816
		100.0	57.8	41.5	0.7	0.0	0.7	0.4	0.0	41.4
双 葉 町	949	949	570	376	3	0	3	3	0	375
		100.0	60.1	39.6	0.3	0.0	0.3	0.3	0.0	39.5
葛 尾 村	183	183	116	66	1	0	1	3	0	65
		100.0	63.4	36.1	0.5	0.0	0.5	1.6	0.0	35.5
小計	41,810	41,810	26,373	15,216	221	0	219	232	1	15,140
		100.0	63.1	36.4	0.5	0.0	0.5	0.6	0.0	36.2

- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。
- 対象者等については、重複の精査等を行っているため、既出の報告者数と異なっている。
- 対象者のうち、在籍している学校で検査を受診した方などについては一部、学校等の所在市町村に含め集計していたが、震災時市町村に再集計した。

	受診者 (人) ア	結果確定数 (人) イ 進捗状況 イ/ア (%)	判定区分別人数(人)				結節(人)		のう胞(人)	
			判定区分別割合(%)				結節の割合(%)		のう胞の割合(%)	
			A		B	C	5.1mm 以上	5.0mm 以下	20.1mm 以上	20.0mm 以下
			A1	A2						
福 島 市	47,307	47,307	26,962	20,062	283	0	276	196	3	20,079
		100.0	57.0	42.4	0.6	0.0	0.6	0.4	0.0	42.4
二 本 松 市	8,857	8,857	5,198	3,602	56	1	56	46	1	3,605
		100.0	58.7	40.7	0.6	0.0	0.6	0.5	0.0	40.7
本 宮 市	5,234	5,234	2,955	2,250	29	0	27	25	1	2,254
		100.0	56.5	43.0	0.6	0.0	0.5	0.5	0.0	43.1
大 玉 村	1,373	1,373	816	550	7	0	7	8	0	550
		100.0	59.4	40.1	0.5	0.0	0.5	0.6	0.0	40.1
郡 山 市	54,063	54,063	27,929	25,676	458	0	454	332	3	25,759
		100.0	51.7	47.5	0.8	0.0	0.8	0.6	0.0	47.6
桑 折 町	1,874	1,874	1,025	835	14	0	14	9	0	836
		100.0	54.7	44.6	0.7	0.0	0.7	0.5	0.0	44.6
国 見 町	1,437	1,437	763	659	15	0	14	9	1	663
		100.0	53.1	45.9	1.0	0.0	1.0	0.6	0.1	46.1
天 栄 村	878	878	528	343	7	0	7	4	0	348
		100.0	60.1	39.1	0.8	0.0	0.8	0.5	0.0	39.6
白 河 市	10,810	10,810	6,111	4,638	61	0	61	54	0	4,635
		100.0	56.5	42.9	0.6	0.0	0.6	0.5	0.0	42.9
西 郷 村	3,618	3,618	2,084	1,504	30	0	30	21	0	1,504
		100.0	57.6	41.6	0.8	0.0	0.8	0.6	0.0	41.6
泉 崎 村	1,157	1,157	524	628	5	0	5	11	0	624
		100.0	45.3	54.3	0.4	0.0	0.4	1.0	0.0	53.9
三 春 町	2,730	2,730	1,301	1,407	22	0	22	15	0	1,410
		100.0	47.7	51.5	0.8	0.0	0.8	0.5	0.0	51.6
小計	139,338	139,338	76,196	62,154	987	1	973	730	9	62,267
		100.0	54.7	44.6	0.7	0.0	0.7	0.5	0.0	44.7

	受診者 (人) ア	結果確定数 (人) イ 進捗状況 イ/ア (%)	判定区分別人数(人)				結節(人)		のう胞(人)	
			判定区分別割合(%)				結節の割合(%)		のう胞の割合(%)	
			A		B	C	5.1mm 以上	5.0mm 以下	20.1mm 以上	20.0mm 以下
			A1	A2						
いわき市 ※1	49,405	49,309	21,779	27,078	452	0	451	297	1	27,182
		99.8	44.2	54.9	0.9	0.0	0.9	0.6	0.0	55.1
須賀川市	12,079	12,058	5,486	6,467	105	0	105	56	0	6,498
		99.8	45.5	53.6	0.9	0.0	0.9	0.5	0.0	53.9
相馬市	5,205	5,093	2,419	2,628	46	0	46	45	0	2,639
		97.8	47.5	51.6	0.9	0.0	0.9	0.9	0.0	51.8
鏡石町	2,030	2,029	955	1,063	11	0	11	8	0	1,065
		100.0	47.1	52.4	0.5	0.0	0.5	0.4	0.0	52.5
新地町	1,149	1,114	508	599	7	0	7	5	0	603
		97.0	45.6	53.8	0.6	0.0	0.6	0.4	0.0	54.1
中島村	832	831	391	438	2	0	2	9	0	436
		99.9	47.1	52.7	0.2	0.0	0.2	1.1	0.0	52.5
矢吹町	2,567	2,566	1,082	1,464	20	0	20	8	0	1,474
		100.0	42.2	57.1	0.8	0.0	0.8	0.3	0.0	57.4
石川町	2,162	2,157	981	1,164	12	0	12	15	0	1,164
		99.8	45.5	54.0	0.6	0.0	0.6	0.7	0.0	54.0
矢祭町	794	794	325	466	3	0	3	4	0	463
		100.0	40.9	58.7	0.4	0.0	0.4	0.5	0.0	58.3
浅川町	1,093	1,093	470	611	12	0	12	10	0	617
		100.0	43.0	55.9	1.1	0.0	1.1	0.9	0.0	56.5
平田村	873	871	395	466	10	0	10	2	0	472
		99.8	45.4	53.5	1.1	0.0	1.1	0.2	0.0	54.2
棚倉町	2,322	2,321	1,027	1,272	22	0	22	11	0	1,280
		100.0	44.2	54.8	0.9	0.0	0.9	0.5	0.0	55.1
塙町	1,255	1,255	513	733	9	0	9	10	0	736
		100.0	40.9	58.4	0.7	0.0	0.7	0.8	0.0	58.6
鮫川村	522	522	244	274	4	0	4	5	0	274
		100.0	46.7	52.5	0.8	0.0	0.8	1.0	0.0	52.5
小野町	1,449	1,446	561	870	15	0	15	13	0	873
		99.8	38.8	60.2	1.0	0.0	1.0	0.9	0.0	60.4
玉川村	1,015	1,013	452	550	11	0	11	6	0	555
		99.8	44.6	54.3	1.1	0.0	1.1	0.6	0.0	54.8
古殿町	822	822	395	421	6	0	6	7	0	424
		100.0	48.1	51.2	0.7	0.0	0.7	0.9	0.0	51.6

※1 いわき市には平成24年度に実施した久之浜等の地区も含む。

	受診者 (人) ア	結果確定数 (人) イ 進捗状況 イ/ア (%)	判定区分別人数(人)				結節(人)		のう胞(人)	
			判定区分別割合(%)				結節の割合(%)		のう胞の割合(%)	
			A		B	C	5.1mm 以上	5.0mm 以下	20.1mm 以上	20.0mm 以下
			A1	A2						
檜 枝 岐 村	61	61	25	36	0	0	0	3	0	34
		100.0	41.0	59.0	0.0	0.0	0.0	4.9	0.0	55.7
南 会 津 町	1,822	1,822	748	1,058	16	0	16	13	0	1,060
		100.0	41.1	58.1	0.9	0.0	0.9	0.7	0.0	58.2
金 山 町	141	138	65	73	0	0	0	1	0	73
		97.9	47.1	52.9	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	52.9
昭 和 村	102	101	56	45	0	0	0	0	0	45
		99.0	55.4	44.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.6
三 島 町	129	129	38	90	1	0	1	0	0	91
		100.0	29.5	69.8	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0	70.5
下 郷 町	695	695	320	365	10	0	10	4	0	368
		100.0	46.0	52.5	1.4	0.0	1.4	0.6	0.0	52.9
喜 多 方 市	5,749	5,747	2,286	3,415	46	0	46	42	0	3,422
		100.0	39.8	59.4	0.8	0.0	0.8	0.7	0.0	59.5
西 会 津 町	641	640	245	390	5	0	5	5	0	392
		99.8	38.3	60.9	0.8	0.0	0.8	0.8	0.0	61.3
只 見 町	495	495	203	285	7	0	7	3	0	287
		100.0	41.0	57.6	1.4	0.0	1.4	0.6	0.0	58.0
猪 苗 代 町	1,912	1,909	791	1,105	13	0	13	14	0	1,106
		99.8	41.4	57.9	0.7	0.0	0.7	0.7	0.0	57.9
磐 梯 町	414	414	168	242	4	0	4	2	0	244
		100.0	40.6	58.5	1.0	0.0	1.0	0.5	0.0	58.9
北 塩 原 村	388	388	164	223	1	0	1	3	0	223
		100.0	42.3	57.5	0.3	0.0	0.3	0.8	0.0	57.5
会 津 美 里 町	2,554	2,554	1,063	1,465	26	0	26	17	0	1,477
		100.0	41.6	57.4	1.0	0.0	1.0	0.7	0.0	57.8
会 津 坂 下 町	2,088	2,086	846	1,215	25	0	25	9	0	1,225
		99.9	40.6	58.2	1.2	0.0	1.2	0.4	0.0	58.7
柳 津 町	376	376	178	196	2	0	2	0	0	198
		100.0	47.3	52.1	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	52.7
会 津 若 松 市	14,745	14,728	6,084	8,484	160	0	159	117	1	8,531
		99.9	41.3	57.6	1.1	0.0	1.1	0.8	0.0	57.9
湯 川 村	509	508	186	315	7	0	7	2	0	318
		99.8	36.6	62.0	1.4	0.0	1.4	0.4	0.0	62.6
小計	118,395	118,085	51,449	65,566	1,070	0	1,068	746	2	65,849
		99.7	43.6	55.5	0.9	0.0	0.9	0.6	0.0	55.8
合計	299,543	299,233	154,018	142,936	2,278	1	2,260	1,708	12	143,256
		99.9	51.5	47.8	0.8	0.0	0.8	0.6	0.0	47.9

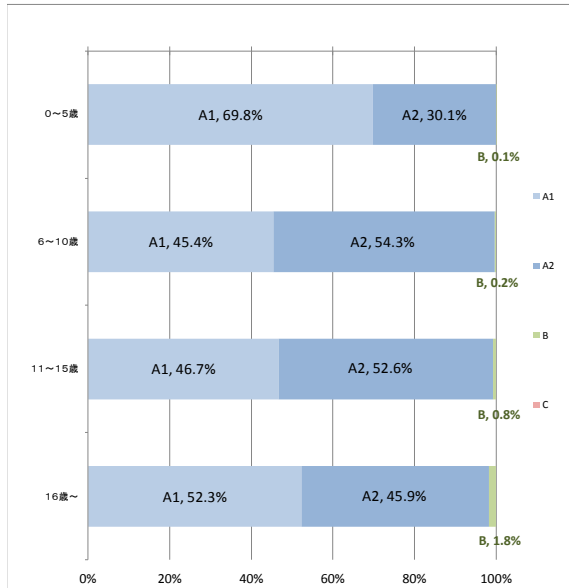
資料 5

1 検査結果確定者の年齢及び性別

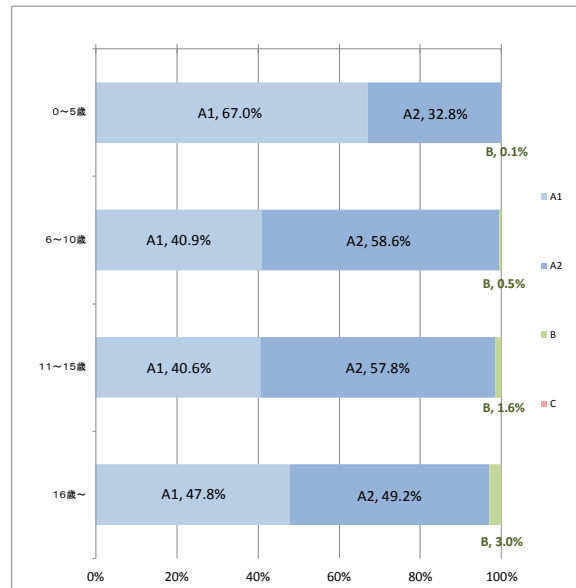
(単位 人)
平成27年3月31日現在

判定・性別 年齢区分	A						B			C			合計		
	A1			A2			男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
	男性	女性	計	男性	女性	計									
0～5歳	31,264	28,491	59,755	13,506	13,953	27,459	41	57	98	0	0	0	44,811	42,501	87,312
6～10歳	21,437	18,312	39,749	25,615	26,226	51,841	117	236	353	0	0	0	47,169	44,774	91,943
11～15歳	20,160	17,280	37,440	22,696	24,621	47,317	324	663	987	0	0	0	43,180	42,564	85,744
16歳～18歳	8,315	8,759	17,074	7,306	9,013	16,319	284	556	840	0	1	1	15,905	18,329	34,234
合計	81,176	72,842	154,018	69,123	73,813	142,936	766	1,512	2,278	0	1	1	151,065	148,168	299,233

年齢階層別判定区分の分布【男性】



年齢階層別判定区分の分布【女性】

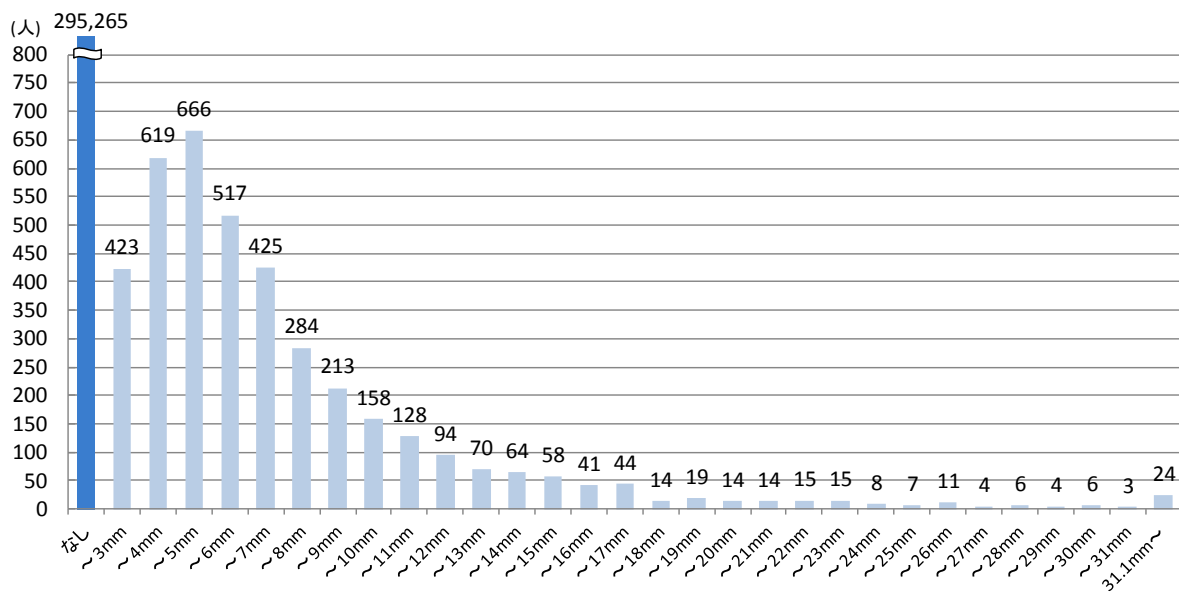
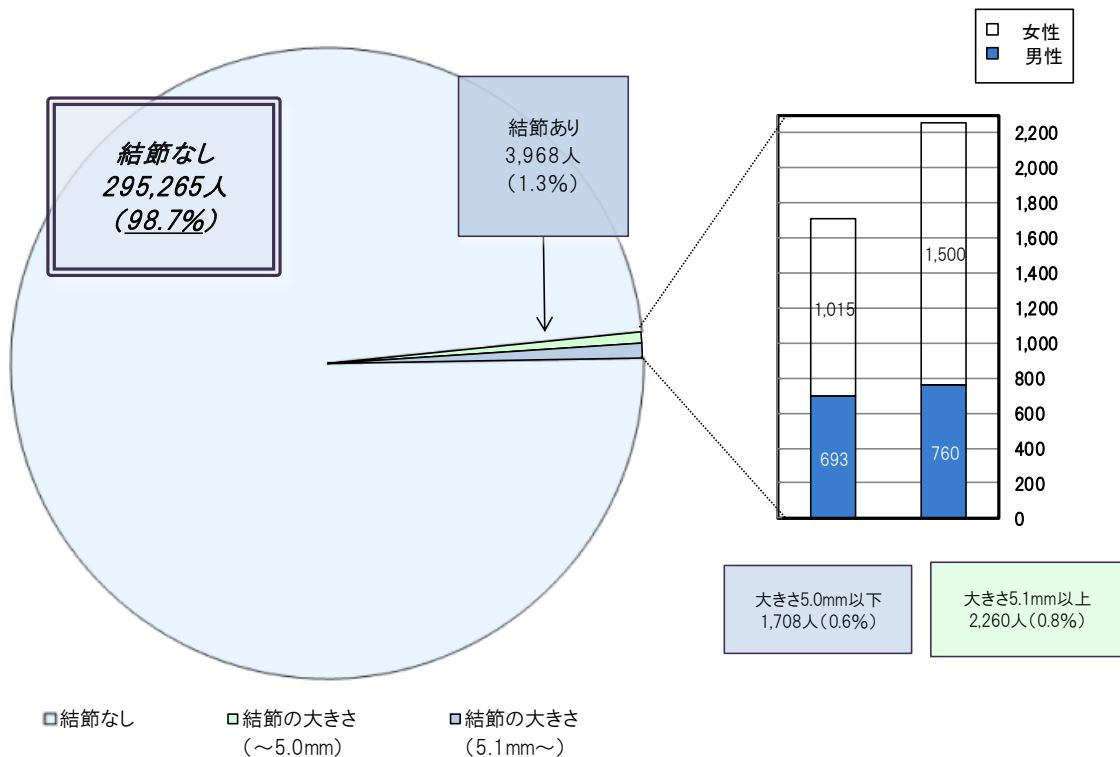


- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。
- 年齢は平成 23 年 3 月 11 日時点のもの。

2 結節の有無及び大きさ

(単位 人)
平成27年3月31日現在

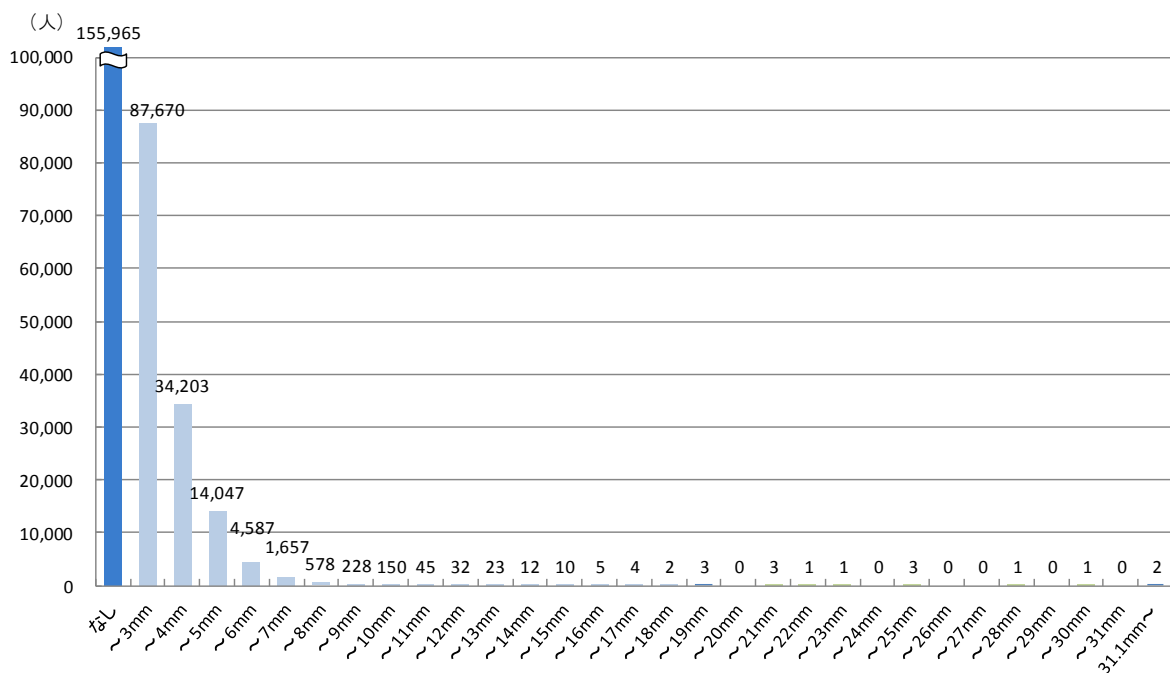
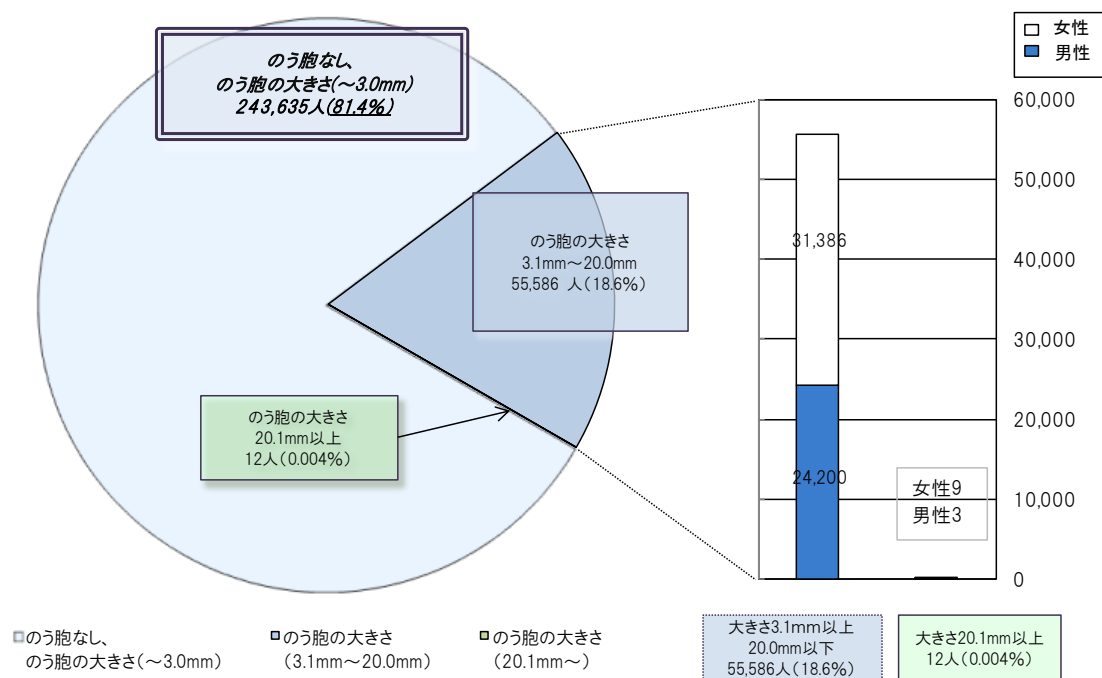
結節の有無・大きさ	全体	性別		判定区分	割合
		男性	女性		
なし	295,265	149,612	145,653	A1	98.7%
～3.0mm	423	190	233	A2	0.6%
3.1～5.0mm	1,285	503	782		
5.1～10.0mm	1,597	571	1,026	B	0.8%
10.1～15.0mm	414	117	297		
15.1～20.0mm	132	39	93		
20.1～25.0mm	59	17	42		
25.1mm～	58	16	42		
計	299,233	151,065	148,168		



3 のう胞の有無及び大きさ

(単位 人)
平成27年3月31日現在

のう胞の有無・大きさ	全体			判定区分	割合
	男性	女性			
なし	155,965	81,926	74,039	A1	81.4%
～3.0mm	87,670	44,936	42,734	A2	
3.1～5.0mm	48,250	21,595	26,655		
5.1～10.0mm	7,200	2,563	4,637		
10.1～15.0mm	122	41	81	B	0.004%
15.1～20.0mm	14	1	13		
20.1～25.0mm	8	1	7		
25.1mm～	4	2	2		
計	299,233	151,065	148,168		



資料 6

市町村別二次検査実施状況

甲状腺検査(二次検査)実施状況

平成27年3月31日現在

市町村名	一次検査 受診者数 (人) ア	二次検査 対象者数 (人) イ 率 イ/ア(%)	計 ウ 受診率 ウ/イ(%)	二次検査受診者数(人)				結果確定数(人)					
				ウのうち 0-5歳 エ エ/ウ(%)	ウのうち 6-10歳 オ オ/ウ(%)	ウのうち 11-15歳 カ カ/ウ(%)	ウのうち 16-18歳 キ キ/ウ(%)	計 ク※1 率 ク/ウ(%)	次回検査		通常診療等		シ 率 シ/サ(%)
									A1 ケ※2 率 ケ/ク(%)	A2 コ※2 率 コ/ク(%)	サ※3 率 サ/ウ(%)	サのうち 細胞診受診者	
平成23年度実施対象市町村													
川俣町	2,221	8	8	0	1	3	4	7	1	0	6	5	
		0.4	100.0	0.0	12.5	37.5	50.0	87.5	14.3	0.0	85.7	83.3	
浪江町	3,249	26	24	1	3	8	12	23	1	4	18	12	
		0.8	92.3	4.2	12.5	33.3	50.0	95.8	4.3	17.4	78.3	66.7	
飯館村	943	6	6	0	2	1	3	6	0	3	3	3	
		0.6	100.0	0.0	33.3	16.7	50.0	100.0	0.0	50.0	50.0	100.0	
南相馬市	10,789	52	48	6	5	16	21	48	4	11	33	19	
		0.5	92.3	12.5	10.4	33.3	43.8	100.0	8.3	22.9	68.8	57.6	
伊達市	10,605	50	45	0	3	16	26	45	4	8	33	23	
		0.5	90.0	0.0	6.7	35.6	57.8	100.0	8.9	17.8	73.3	69.7	
田村市	6,325	32	26	1	3	12	10	26	0	5	21	14	
		0.5	81.3	3.8	11.5	46.2	38.5	100.0	0.0	19.2	80.8	66.7	
広野町	838	5	4	0	1	1	2	4	1	2	1	0	
		0.6	80.0	0.0	25.0	25.0	50.0	100.0	25.0	50.0	25.0	0.0	
楳葉町	1,153	7	6	1	0	1	4	6	0	2	4	2	
		0.6	85.7	16.7	0.0	16.7	66.7	100.0	0.0	33.3	66.7	50.0	
富岡町	2,302	13	12	0	1	5	6	12	0	2	10	7	
		0.6	92.3	0.0	8.3	41.7	50.0	100.0	0.0	16.7	83.3	70.0	
川内村	280	4	4	0	1	0	3	4	0	1	3	2	
		1.4	100.0	0.0	25.0	0.0	75.0	100.0	0.0	25.0	75.0	66.7	
大熊町	1,973	14	13	1	1	6	5	13	1	5	7	2	
		0.7	92.9	7.7	7.7	46.2	38.5	100.0	7.7	38.5	53.8	28.6	
双葉町	949	3	2	0	0	1	1	2	0	0	2	2	
		0.3	66.7	0.0	0.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	100.0	100.0	
葛尾村	183	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	
		0.5	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
小計	41,810	221	199	10	22	70	97	197	12	44	141	91	
		0.5	90.0	5.0	11.1	35.2	48.7	99.0	6.1	22.3	71.6	64.5	
平成24年度県内実施対象市町村													
福島市	47,307	283	272	6	28	106	132	266	12	68	186	95	
		0.6	96.1	2.2	10.3	39.0	48.5	97.8	4.5	25.6	69.9	51.1	
二本松市	8,857	57	54	0	5	27	22	53	3	7	43	24	
		0.6	94.7	0.0	9.3	50.0	40.7	98.1	5.7	13.2	81.1	55.8	
本宮市	5,234	29	29	1	4	14	10	28	0	9	19	7	
		0.6	100.0	3.4	13.8	48.3	34.5	96.6	0.0	32.1	67.9	36.8	
大玉村	1,373	7	7	0	0	4	3	7	0	1	6	4	
		0.5	100.0	0.0	0.0	57.1	42.9	100.0	0.0	14.3	85.7	66.7	
郡山市	54,063	458	415	21	65	172	157	404	24	127	253	99	
		0.8	90.6	5.1	15.7	41.4	37.8	97.3	5.9	31.4	62.6	39.1	
桑折町	1,874	14	13	1	2	3	7	13	0	2	11	3	
		0.7	92.9	7.7	15.4	23.1	53.8	100.0	0.0	15.4	84.6	27.3	
国見町	1,437	15	13	2	2	2	7	13	1	2	10	4	
		1.0	86.7	15.4	15.4	15.4	53.8	100.0	7.7	15.4	76.9	40.0	
天栄村	878	7	6	1	2	1	2	6	1	2	3	0	
		0.8	85.7	16.7	33.3	16.7	33.3	100.0	16.7	33.3	50.0	0.0	
白河市	10,810	61	59	2	10	27	20	59	6	14	39	15	
		0.6	96.7	3.4	16.9	45.8	33.9	100.0	10.2	23.7	66.1	38.5	
西郷村	3,618	30	26	2	6	9	9	26	2	8	16	5	
		0.8	86.7	7.7	23.1	34.6	34.6	100.0	7.7	30.8	61.5	31.3	
泉崎村	1,157	5	5	0	2	0	3	5	1	2	2	1	
		0.4	100.0	0.0	40.0	0.0	60.0	100.0	20.0	40.0	40.0	50.0	
三春町	2,730	22	21	0	1	11	9	21	4	4	13	6	
		0.8	95.5	0.0	4.8	52.4	42.9	100.0	19.0	19.0	61.9	46.2	
小計	139,338	988	920	36	127	376	381	901	54	246	601	263	
		0.7	93.1	3.9	13.8	40.9	41.4	97.9	6.0	27.3	66.7	43.8	

※1 クには血液検査、尿検査及び細胞診実施者のうち、検査結果を通知していない対象者は含まない。

※2 ケ及びコは平成26年4月以降の本格検査において検査を実施する受診対象者。

※3 サは通常の保険診療枠として概ね6か月後または1年後に再診する受診対象者。

- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- 年齢は平成23年3月11日時点のもの。
- 対象者のうち、在籍している学校で検査を受診した方などについては一部、学校等の所在市町村に含め集計していたが、震災時市町村に再集計した。

甲状腺検査(二次検査)実施状況

平成27年3月31日現在

市町村名	一次検査 受診者数 (人) ア	二次検査 対象者数 (人) イ 率 イ/ア(%)	計 ウ 受診率 ウ/イ(%)	二次検査受診者数(人)				計 ク※1 率 ク/ウ(%)	結果確定数(人)			
				ウのうち 0-5歳 エ 率 エ/ウ(%)	ウのうち 6-10歳 オ 率 オ/ウ(%)	ウのうち 11-15歳 カ 率 カ/ウ(%)	ウのうち 16-18歳 キ 率 キ/ウ(%)		次回検査		通常診療等	
									A1 ケ※2 率 ケ/ク(%)	A2 コ※2 率 コ/ク(%)	サ※3 率 サ/ク(%)	シ 率 シ/サ(%)

平成25年度県内実施対象市町村

いわき市※4	49,405	452 0.9	418 92.5	21 5.0	60 14.4	203 48.6	134 32.1	401 95.9	22 5.5	127 31.7	252 62.8	87 34.5
須賀川市	12,079	105 0.9	100 95.2	6 6.0	16 16.0	53 53.0	25 25.0	98 98.0	7 7.1	32 32.7	59 60.2	12 20.3
相馬市	5,205	46 0.9	42 91.3	3 7.1	9 21.4	19 45.2	11 26.2	41 97.6	3 7.3	16 39.0	22 53.7	6 27.3
鏡石町	2,030	11 0.5	8 72.7	0 0.0	4 50.0	3 37.5	1 12.5	8 100.0	0 0.0	1 12.5	7 87.5	1 14.3
新地町	1,149	7 0.6	7 100.0	0 0.0	3 42.9	3 42.9	1 14.3	6 85.7	0 0.0	0 0.0	6 100.0	3 50.0
中島村	832	2 0.2	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	1 50.0
矢吹町	2,567	20 0.8	14 70.0	0 0.0	2 14.3	6 42.9	6 42.9	12 85.7	0 0.0	3 25.0	9 75.0	1 11.1
石川町	2,162	12 0.6	11 91.7	0 0.0	4 36.4	4 36.4	3 27.3	10 90.9	0 0.0	1 10.0	9 90.0	5 55.6
矢祭町	794	3 0.4	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0
浅川町	1,093	12 1.1	11 91.7	1 9.1	1 9.1	6 54.5	3 27.3	11 100.0	0 0.0	3 27.3	8 72.7	2 25.0
平田村	873	10 1.1	9 90.0	0 0.0	4 44.4	3 33.3	2 22.2	8 88.9	1 12.5	1 12.5	6 75.0	1 16.7
棚倉町	2,322	22 0.9	22 100.0	2 9.1	5 22.7	9 40.9	6 27.3	20 90.9	2 10.0	2 10.0	16 80.0	6 37.5
埴町	1,255	9 0.7	7 77.8	0 0.0	1 14.3	3 42.9	3 42.9	5 71.4	0 0.0	2 40.0	3 60.0	0 0.0
鮫川村	522	4 0.8	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
小野町	1,449	15 1.0	13 86.7	1 7.7	2 15.4	6 46.2	4 30.8	13 100.0	1 7.7	4 30.8	8 61.5	0 0.0
玉川村	1,015	11 1.1	9 81.8	1 11.1	2 22.2	3 33.3	3 33.3	9 100.0	0 0.0	3 33.3	6 66.7	1 16.7
古殿町	822	6 0.7	6 100.0	0 0.0	1 16.7	4 66.7	1 16.7	6 100.0	0 0.0	2 33.3	4 66.7	1 25.0
檜枝岐村	61	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
南会津町	1,822	16 0.9	15 93.8	0 0.0	7 46.7	7 46.7	1 6.7	13 86.7	1 7.7	3 23.1	9 69.2	2 22.2
金山町	141	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
昭和村	102	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
三島町	129	1 0.8	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
下郷町	695	10 1.4	10 100.0	0 0.0	1 10.0	6 60.0	3 30.0	9 90.0	0 0.0	3 33.3	6 66.7	2 33.3
喜多方市	5,749	46 0.8	40 87.0	1 2.5	11 27.5	17 42.5	11 27.5	40 100.0	2 5.0	11 27.5	27 67.5	11 40.7
西会津町	641	5 0.8	4 80.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0
只見町	495	7 1.4	7 100.0	0 0.0	3 42.9	4 57.1	0 0.0	6 85.7	0 0.0	2 33.3	4 66.7	1 25.0
猪苗代町	1,912	13 0.7	13 100.0	1 7.7	1 7.7	8 61.5	3 23.1	13 100.0	2 15.4	3 23.1	8 61.5	1 12.5
磐梯町	414	4 1.0	3 75.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	3 100.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0
北塩原村	388	1 0.3	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
会津美里町	2,554	26 1.0	24 92.3	1 4.2	4 16.7	12 50.0	7 29.2	23 95.8	2 8.7	9 39.1	12 52.2	3 25.0
会津坂下町	2,088	25 1.2	23 92.0	3 13.0	4 17.4	9 39.1	7 30.4	23 100.0	0 0.0	4 17.4	19 82.6	4 21.1
柳津町	376	2 0.5	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0
会津若松市	14,745	160 1.1	145 90.6	6 4.1	31 21.4	80 55.2	28 19.3	139 95.9	8 5.8	46 33.1	85 61.2	23 27.1
湯川村	509	7 1.4	7 100.0	0 0.0	1 14.3	3 42.9	3 42.9	7 100.0	1 14.3	0 0.0	6 85.7	1 16.7
小計	118,395	1,070 0.9	977 91.3	49 5.0	180 18.4	477 48.8	271 27.7	936 95.8	53 5.7	280 29.9	603 64.4	175 29.0
平成23～25年度実施対象市町村合計												
合計	299,543	2,279 0.8	2,096 92.0	95 4.5	329 15.7	923 44.0	749 35.7	2,034 97.0	119 5.9	570 28.0	1,345 66.1	529 39.3

※4 いわき市には平成24年度に実施した久之浜等の地区も含む。

資料 7

悪性ないし悪性疑い者の手術症例

- 1 平成 23 年度実施対象市町村
 - ・悪性ないし悪性疑い 15 人（手術実施 15 人：良性結節 1 人、乳頭癌 13 人、低分化癌 1 人）
- 2 平成 24 年度実施対象市町村
 - ・悪性ないし悪性疑い 56 人（手術実施 52 人：乳頭癌 51 人、低分化癌 1 人）
- 3 平成 25 年度実施対象市町村
 - ・悪性ないし悪性疑い 41 人（手術実施 32 人：乳頭癌 31 人、低分化癌 1 人）
- 4 1～3 の合計
 - ・悪性ないし悪性疑い 112 人（手術実施 99 人：良性結節 1 人、乳頭癌 95 人、低分化癌 3 人）

県民健康調査「甲状腺検査（本格検査）」実施状況

I 調査概要

1. 目的

子どもたちの健康を長期に見守るために、現時点での甲状腺の状態を把握するための1回目の検査（先行検査）に引き続き、甲状腺の状態を継続して確認するための検査（本格検査）を実施している。

2. 対象者

先行検査における対象者（平成4年4月2日から平成23年4月1日までに生まれた福島県民）に加え、本格検査では平成23年4月2日から平成24年4月1日までに生まれた福島県民にまで拡大して検査を実施している。

3. 実施期間

平成26年4月2日から検査を開始し、平成26年度及び平成27年度の2か年で検査を実施している。

その後は、対象者が20歳までは2年ごと、それ以降は5年ごとに検査を実施し、長期にわたり検査を実施している。

4. 実施機関

福島県から委託を受けた福島県立医科大学が、福島県内外の医療機関等と連携して実施している。

一次検査については、対象者の利便性を考慮し、県内各地の医療機関でも検査が受診できるよう調整を進めており、平成27年3月31日現在、協定を締結した19検査実施機関において検査が可能となっている。

また、福島県外の検査実施機関については、平成27年3月31日現在、全都道府県計97の検査実施機関と協定を締結している。

二次検査については、県内では平成25年7月から郡山市及びいわき市の2か所、平成26年8月からは会津若松市の1か所の検査実施機関において実施しており、県外でも平成25年11月から検査を開始し、平成27年3月31日現在、27か所の検査実施機関において検査が可能となっている。

5. 検査方法

(1) 一次検査

超音波画像診断装置により甲状腺の超音波検査を実施。

なお、検査の結果は、以下の基準により複数の専門医により判定する。

(i) A判定：A1、A2判定の場合は次回（平成28年度以降）の検査まで経過観察としている。

(A1) 結節やのう胞を認めなかった場合。

(A2) 5.0 mm以下の結節や20.0 mm以下ののう胞を認めた場合。

(ii) B判定：B判定の場合は二次検査を実施している。

5.1 mm以上の結節や20.1 mm以上ののう胞を認めた場合。

なお、A2の判定内容であっても、甲状腺の状態等から二次検査を要すると

判断した方については、B判定としている。

(iii) C判定：C判定の場合は二次検査を実施している。

甲状腺の状態等から判断して、直ちに二次検査を要する場合。

(2) 二次検査

一次検査の結果、B判定またはC判定となった場合は、二次検査の対象となる。二次検査では、詳細な超音波検査、血液検査及び尿検査を行い、必要に応じて穿刺吸引細胞診を実施する。早期に診察が必要と判断した方については優先的に二次検査を実施する。

(3) 検査の流れ

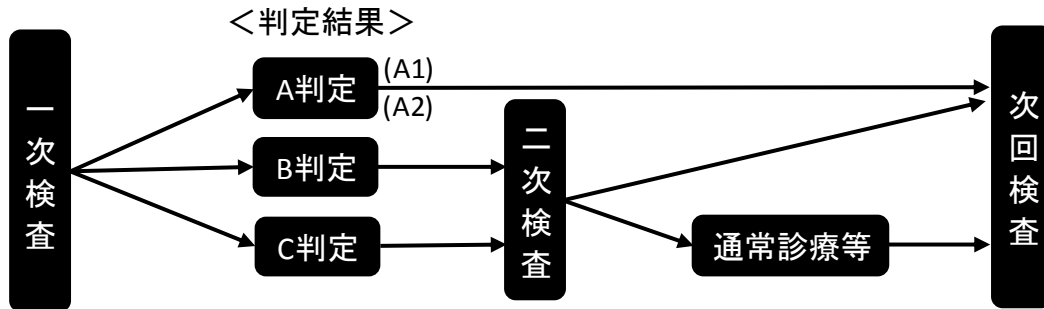


図 1. 検査の流れ

6. 実施対象年度別市町村

平成 26 年度及び平成 27 年度の各実施対象市町村は次のとおり。



図 2. 実施対象年度別市町村

II 調査結果概要（平成 27 年 3 月 31 日現在）

1. 一次検査結果

（1）一次検査実施状況

平成 26 年 4 月 2 日から検査を開始し、平成 26 年度は 25 市町村の約 220 千人を対象として、3 月 31 日現在 148,027 人（67.5%）の検査を実施した。※^{1,2}

そのうち、121,997 人（82.4%）の受診者について検査結果が確定し、結果通知を発送している。※³

検査結果は A 判定（表 1 の A1 及び A2 判定）の方が 120,954 人（99.1%）、B 判定の方が 1,043 人（0.9%）、C 判定の方は 0 人であった。

また、今年度は対象者への受診勧奨を図るため、大学生を対象とした大学での検査や、平日に都合のつかない方のために休日検査を試行的に実施した。

なお、受診者やその保護者の方から、検査を実施した結果について医師からの説明を受けたいという要望が多かったことから、当日の検査内容についての説明も試行的に実施した。

表1. 一次検査進捗状況

平成27年3月31日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数(人)		判定率 (%) ウ (ウ/イ)	結果判定数(人)			
		受診率 (%) イ (イ/ア)	うち県外 受診		判定区分別内訳(割合(%))			
					A		二次検査対象者	
					A1 エ (エ/ウ)	A2 オ (オ/ウ)	B カ (カ/ウ)	C キ (キ/ウ)
平成26年度 実施対象市町村計	216,766	145,445 (67.1)	6,565	119,616 (82.2)	49,846 (41.7)	68,763 (57.5)	1,007 (0.8)	0 (0.0)
平成27年度 実施対象市町村計	2,582	2,582 (100.0)	4	2,381 (92.2)	921 (38.7)	1,424 (59.8)	36 (1.5)	0 (0.0)
合計	219,348	148,027 (67.5)	6,569	121,997 (82.4)	50,767 (41.6)	70,187 (57.5)	1,043 (0.9)	0 (0.0)

表2. 結節・のう胞の人数・割合

平成27年3月31日現在

	結果確定数(人) ア	アに対する結節・のう胞の人数(割合(%))			
		結節		のう胞	
		5.1mm以上 イ (イ/ア)	5.0mm以下 ウ (ウ/ア)	20.1mm以上 エ (エ/ア)	20.0mm以下 オ (オ/ア)
平成26年度 実施対象市町村計	119,616	1,003 (0.8)	782 (0.7)	2 (0.0)	69,096 (57.8)
平成27年度 実施対象市町村計	2,381	36 (1.5)	25 (1.0)	0 (0.0)	1,433 (60.2)
合計	121,997	1,039 (0.9)	807 (0.7)	2 (0.0)	70,529 (57.8)

※¹ 市町村別受診状況は、資料 1 のとおり。

※² 本県以外の都道府県別受診状況は、資料 2 のとおり。

※³ 市町村別結果状況は、資料 3 のとおり。

- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。
- 対象者等については、重複の精査等を行っているため、既出の報告者数と異なっている。
- 平成 27 年度実施対象市町村については、転居等により平成 26 年度実施対象市町村で受診した方を集計している。

（2）先行検査結果との比較

本格検査で A 判定（A1 及び A2 判定）と判断された 120,954 人のうち、先行検査で A 判定

(A1 及び A2 判定) だった方が 113,700 人 (94.0%) となっている。

また、本格検査で B 判定と判断された 1,043 人のうち先行検査で A 判定 (A1 及び A2 判定) だった方が 715 人 (68.6%) となっている。

表3.先行検査から本格検査への結果推移

平成27年3月31日現在

		本格検査 結果確定数 注1 ア	先行検査結果内訳 注2				
			A		B エ (エ/ア)	C オ (オ/ア)	受診なし カ (カ/ア)
			A1 イ (イ/ア)	A2 ウ (ウ/ア)			
本格 検査 結果	A						
	A1	50,767 (100.0)	41,636 (82.0)	4,561 (9.0)	43 (0.1)	0 (0.0)	4,527 (8.9)
	A2	70,187 (100.0)	22,602 (32.2)	44,901 (64.0)	177 (0.3)	0 (0.0)	2,507 (3.6)
	B	1,043 (100.0)	235 (22.5)	480 (46.0)	290 (27.8)	0 (0.0)	38 (3.6)
	C	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	合計	121,997 (100.0)	64,473 (52.8)	49,942 (40.9)	510 (0.4)	0 (0.0)	7,072 (5.8)

注1 上段は本格検査結果確定数 (人)、下段は割合 (%)

注2 上段は本格検査結果確定者に対する先行検査結果数 (人)、下段は本格検査結果に占める割合 (%)

2. 二次検査結果

(1) 二次検査実施状況

平成 26 年 6 月からは本格検査対象者についても二次検査を実施しており、対象者 1,043 人のうち 593 人 (56.9%) が受診し、そのうち 491 人 (82.8%) が二次検査を終了している。

※⁴

その 491 人のうち、142 人 (28.9%) は一次検査基準で A1、A2 範囲内であることが確認され、次回検査となった。

一方、349 人 (71.1%) は、概ね 6 か月後または 1 年後に通常診療 (保険診療) となる方等であった。

表4. 二次検査進捗状況

平成27年3月31日現在

	対象者数 (人) ア	受診者数(人) 受診率 (%) イ (イ/ア)	結果確定数(人) 確定率 (%) ウ (ウ/イ)	結果確定数(人)			
				次回検査		通常診療等	
				A1 エ (エ/ウ)	A2 オ (オ/ウ)	カ (カ/ウ)	うち細胞診受診者 キ (キ/カ)
平成26年度 実施対象市町村計	1,007	588 (58.4)	488 (83.0)	21 (4.3)	120 (24.6)	347 (71.1)	53 (15.3)
平成27年度 実施対象市町村計	36	5 (13.9)	3 (60.0)	0 (0.0)	1 (33.3)	2 (66.7)	1 (50.0)
合計	1,043	593 (56.9)	491 (82.8)	21 (4.3)	121 (24.6)	349 (71.1)	54 (15.5)

※⁴ 市町村別実施状況は資料 4 のとおり。

- 次回検査は一次検査基準で A1、A2 の範囲内であることが確認された方 (甲状腺に疾病のある方を含む)。
- 通常診療等は概ね 6 か月後または 1 年後に経過観察 (保険診療) する方及び A2 基準値を超える等の方。

(2) 細胞診等結果

穿刺吸引細胞診を行った方のうち、15人が「悪性ないし悪性疑い」の判定となった。

15人の性別は男性6人、女性9人であった。また、二次検査時点での年齢は10歳から22歳(平均年齢は16.8±3.5歳)、腫瘍の大きさ5.3mmから17.3mm(平均腫瘍径は9.1±3.4mm)であった。

なお、15人の先行検査の結果は、A判定が14人(A1が8人、A2が6人)、B判定が1人であった。

表5. 平成26年度実施対象市町村細胞診結果(平均年齢と平均腫瘍径の()内は範囲を示す)

平成26年度実施対象市町村	
・悪性ないし悪性疑い	15人※ ⁵
・男性：女性	6人：9人
・平均年齢	16.8±3.5歳(10-22歳)、震災当時13.1±3.5歳(6-18歳)
・平均腫瘍径	9.1±3.4mm(5.3-17.3mm)

※⁵手術実施症例については資料6のとおり。

(3) 細胞診等で悪性ないし悪性疑いであった15人の年齢、性分布

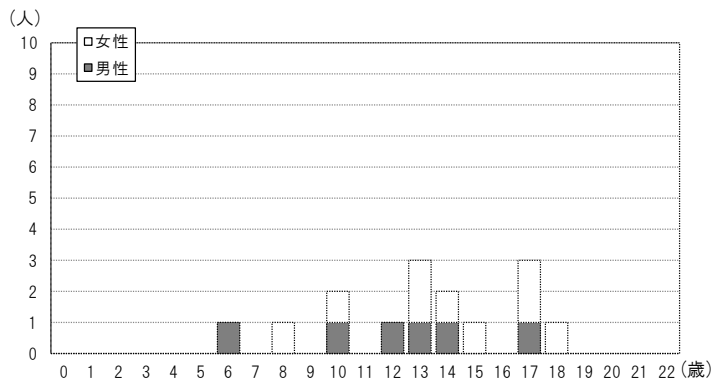


図3. 平成23年3月11日時点の年齢による分布

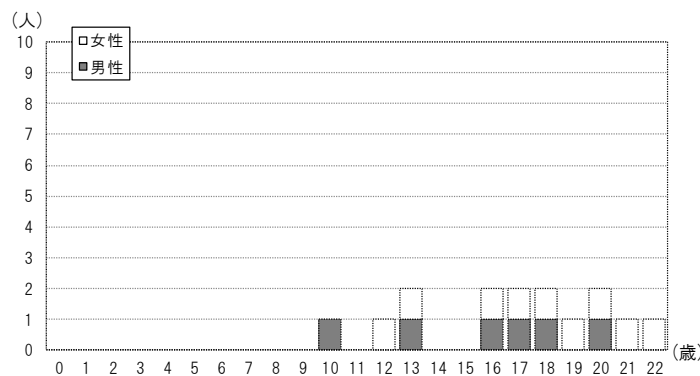


図4. 二次検査時点の年齢による分布

(4) 細胞診等による悪性ないし悪性疑い 15 人の基本調査結果

15 人のうち基本調査問診票を提出した方は 9 人 (60.0%) で、結果が通知された方は 9 人であった。このうち 1mSv 未満の方は 2 人で、最大実効線量は 2.1mSv であった。

今後も、引き続き問診票の意義や重要性を説明し提出していただくよう働きかけていく。

表5. 基本調査提出者の実効線量推計内訳(人)

平成27年3月31日現在

実効線量 (mSv)	震災時年齢(歳)									
	0~5		6~10		11~15		16~18		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
1未満	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1
2未満	0	0	0	1	1	1	1	2	2	4
5未満	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
10未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	2	1	1	2	1	2	4	5

- 推計値は外部被ばく実効線量を推計したもの。

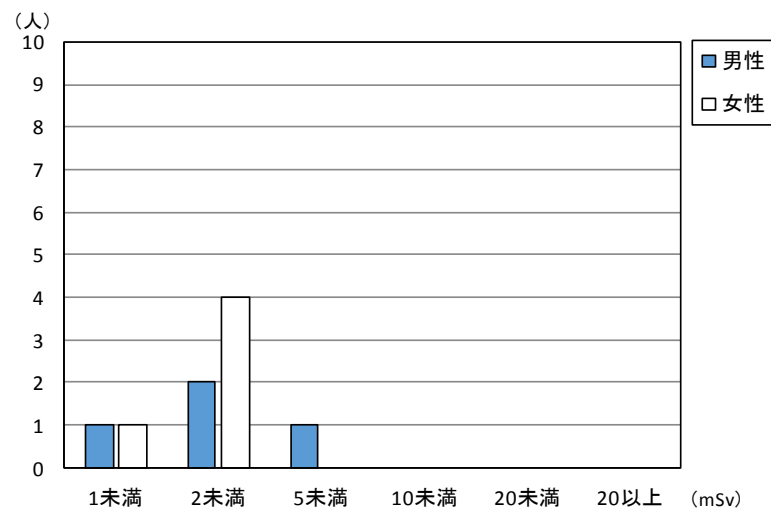


図 5. 基本調査提出者の実効線量推計内訳

(5) 血液検査及び尿中ヨウ素 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

表7. 血液データ 平均±SD (異常値の割合)

	FT4 注3 (ng/dL)	FT3 注4 (pg/mL)	TSH 注5 (μ IU/mL)	Tg 注6 (ng/mL)	TgAb 注7 (IU/mL)	TPOAb 注8 (IU/mL)
基準値	0.95~1.74	2.13~4.07 注9	0.340~3.880	32.7 以下	28.0 未満	16.0 未満
悪性ないし悪性疑い15人	1.2 ± 0.2 (0.0%)	3.6 ± 0.5 (0.0%)	1.5 ± 0.9 (0.0%)	30.1 ± 38.2 (26.7%)	— (20.0%)	— (13.3%)
その他474人	1.2 ± 0.2 (7.6%)	3.6 ± 0.6 (7.0%)	1.4 ± 1.0 (9.1%)	24.4 ± 47.3 (13.7%)	— (9.5%)	— (8.6%)

表8. 尿中ヨウ素データ

(μ g/day)

	最小値	25%値	中央値	75%値	最大値
悪性ないし悪性疑い15人	60	136	190	464	813
その他472人	38	117	187	359	11,800

注3 FT4 (遊離サイロキシシン) …ヨードの数が4つの甲状腺ホルモン。甲状腺中毒症では高値 (代表的疾患: バセドウ病)、甲状腺機能低下症では低値 (代表的疾患: 橋本病) になることが多い。

注4 FT3 (遊離トリヨードサイロニン) …ヨードの数が3つの甲状腺ホルモン。甲状腺中毒症では高値 (代表的疾患: バセドウ病)、甲状腺機能低下症では低値 (代表的疾患: 橋本病) になることが多い。

注5 TSH (甲状腺刺激ホルモン) …脳の下垂体から出ているホルモンで甲状腺へ甲状腺ホルモンを出すよう命令する。

橋本病では高値、バセドウ病では低値になることが多い。

注6 Tg(サイログロブリン)…甲状腺ホルモンになる直前の物質。甲状腺内に多量に存在する。甲状腺が破壊されたり、腫瘍がTgを産生していたりする場合に高値になることが多い。

注7 TgAb (抗サイログロブリン抗体) …サイログロブリンに対する自己抗体。橋本病やバセドウ病で高値になることが多い。

注8 TPOAb (抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体) …ペルオキシダーゼという酵素に対しての自己抗体。橋本病やバセドウ病で高値。

注9 基準値は年齢ごとに異なる。

(6) 市町村別二次検査結果（平成 27 年 3 月 31 日現在）

二次検査における悪性ないし悪性疑いの割合は、平成 26 年度実施対象市町村（国が指定した避難区域等の 13 市町村及び県北地方など 12 市町村）が 0.01%、平成 27 年度実施対象市町村（いわき市、県南地方、会津地方などの 34 市町村）で 0.00%となっている。

表 9. 実施対象年度別市町村結果

平成26年度実施対象市町村

	一次検査受診者 (人) ア	二次検査対象者 (人) イ	二次検査対象者 の割合(%) イ/ア	二次検査受診者 (人)	悪性ないし悪性 疑い(人) ウ	悪性ないし悪性 疑いの割合(%) ウ/ア
川俣町	1,686	20	1.2	17	0	0.00
浪江町	2,058	22	1.1	17	1	0.05
飯舘村	715	12	1.7	10	0	0.00
南相馬市	7,972	59	0.7	50	1	0.01
伊達市	8,833	80	0.9	71	3	0.03
田村市	4,680	47	1.0	31	2	0.04
広野町	495	7	1.4	7	0	0.00
楢葉町	731	4	0.5	3	0	0.00
富岡町	1,434	17	1.2	12	0	0.00
川内村	182	1	0.5	0	0	0.00
大熊町	1,329	9	0.7	8	1	0.08
双葉町	502	2	0.4	0	0	0.00
葛尾村	130	1	0.8	1	0	0.00
福島市	40,840	317	0.8	259	6	0.01
二本松市	7,560	53	0.7	41	1	0.01
本宮市	4,613	29	0.6	20	0	0.00
大玉村	1,225	4	0.3	4	0	0.00
郡山市	42,106	214	0.5	13	0	0.00
桑折町	1,548	14	0.9	7	0	0.00
国見町	1,184	8	0.7	6	0	0.00
天栄村	693	8	1.2	0	0	0.00
白河市	8,837	46	0.5	3	0	0.00
西郷村	2,939	19	0.6	3	0	0.00
泉崎村	906	1	0.1	1	0	0.00
三春町	2,247	13	0.6	4	0	0.00
小計	145,445	1,007	0.7	588	15	0.01

平成27年度実施対象市町村

小計	2,582	36	1.4	5	0	0.00
合計	148,027	1,043	0.7	593	15	0.01

3. こころのケア・サポート

(1) 二次検査対象者へのサポート

二次検査対象者については、サポートチームを立ち上げ、心配や不安に対する、こころのケア・サポートに努め、「WEB相談」による質問・相談を受け付けるなどの対応も行っている。

また、保険診療移行後についても病院のチームと連携し、同様の対応を継続して行えるような支援体制を整えている。

なお、本格検査開始以降、平成27年3月31日現在で、410人のサポートをしており、性別は男性149人、女性261人であった。この方々にのべ836回の相談対応等をしており、その内訳は初回受診時413回(49.4%)、2回目以降受診時265回(31.7%)（うち穿刺吸引細胞診時55回(6.6%)）、インフォームドコンセント時12回(1.4%)、保険診療移行後のフォロー（術前術後を含む）125回(15.0%)、入院中20回(2.4%)、その他1回(0.1%)であった。

(2) 一次検査における検査結果説明について

一次検査の結果が郵送されるまでの間の対象者や保護者の不安を軽減すること、並びに、対象者に甲状腺検査の意義と結果をよりよく理解してもらうことを目的として、検査会場において対面での説明の機会を設けることを、これまで検討してきた。

実施方法については、検査当日に「希望者には簡単な検査結果の説明を行うこと」を対象者に周知し、検査ブースとは別に「説明ブース」を設置し、エコー画面を簡易画像サーバー上で表示しながら医師が結果を説明した。なお、対象者には、正式な検査結果は判定委員会後に郵送されることを周知した。

平成26年10月31日から平成27年3月25日までに、公共施設等の計10回会場で試行的に実施し、受診者4,157人に対し、説明ブース利用者は1,964人(47.2%)であった。

また、説明ブースの今後の運用を検討するため、4会場1,090人の説明ブース利用者を対象にアンケートを実施し、図6のような結果が得られた。なお、アンケート回答者は453人(41.6%)であった。

これらの結果を基に、平成27年度以降の公共施設会場での一次検査では検査結果説明ブースを常設することを目標としている。諸事情で説明ブースを設置できない会場や学校での検査では、学校説明会での対応などの代替手段を検討している。

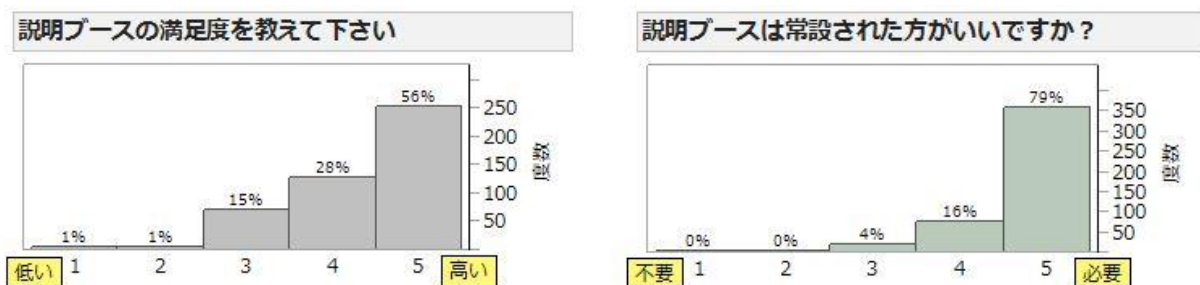


図 6. 説明ブースアンケート結果概要

資料 1

市町村別一次検査実施状況

	対象者数 (人) ア	受診者数 (人) イ	うち 県外受診 ※1	受診率 (%) イ/ア	年齢階層別受診者数(人) 年齢階層別内訳(%) ※2				イのうち県 外居住者 数(人) ウ※3	イのうち県 外居住者 の割合 (%) ウ/イ
					2~7歳	8~12歳	13歳~17歳	18歳~22歳		
					イ/ア	イ/ア	イ/ア	イ/ア		
平成26年度実施対象市町村										
川俣町	2,460	1,686	36	68.5	402	571	586	127	51	3.0
浪江町	3,771	2,058	555	54.6	23.8	33.9	34.8	7.5	616	29.9
飯館村	1,123	715	28	63.7	542	614	640	262	33	4.6
南相馬市	12,982	7,972	1,457	61.4	26.3	29.8	31.1	12.7	1,690	21.2
伊達市	11,739	8,833	265	75.2	175	265	232	43	253	2.9
田村市	7,321	4,680	121	63.9	24.5	37.1	32.4	6.0	111	2.4
広野町	1,108	495	89	44.7	2,095	2,675	2,401	801	81	16.4
楢葉町	1,488	731	113	49.1	26.3	33.6	30.1	10.0	119	16.3
富岡町	3,101	1,434	333	46.2	2,204	2,722	2,955	952	373	26.0
川内村	360	182	15	50.6	25.0	28.4	32.8	13.8	17	9.3
大熊町	2,499	1,329	311	53.2	44	69	55	14	349	26.3
双葉町	1,258	502	196	39.9	24.2	37.9	30.2	7.7	210	41.8
葛尾村	240	130	13	54.2	428	423	350	128	12	9.2
福島市	55,732	40,840	1,922	73.3	32.2	31.8	26.3	9.6	2,336	5.7
二本松市	10,596	7,560	217	71.3	156	166	128	52	215	2.8
本宮市	6,342	4,613	129	72.7	31.1	33.1	25.5	10.4	129	2.8
大玉村	1,684	1,225	19	72.7	29	52	39	10	21	1.7
郡山市	66,739	42,106	467	63.1	22.3	40.0	30.0	7.7	973	2.3
桑折町	2,136	1,548	35	72.5	10,333	12,535	13,094	4,878	27	1.7
国見町	1,624	1,184	27	72.9	25.3	30.7	32.1	11.9	26	2.2
天栄村	1,101	693	5	62.9	187	379	442	142	5	0.7
白河市	12,670	8,837	130	69.7	194	249	204	46	155	1.8
西郷村	4,173	2,939	55	70.4	28.0	35.9	29.4	6.6	61	2.1
泉崎村	1,337	906	8	67.8	2386	2,831	2,844	776	6	0.7
三春町	3,182	2,247	19	70.6	27.0	32.0	32.2	8.8	28	1.2
小計	216,766	145,445	6,565	67.1	840	969	878	252	7,897	5.4
平成27年度実施対象市町村										
小計	2,582	2,582	4	100.0	216	423	1,523	420	29	1.1
合計	219,348	148,027	6,569	67.5	8.4	16.4	59.0	16.3	7,926	5.4
					35,523	47,488	49,298	15,718		
					24.0	32.1	33.3	10.6		

※1 受診者のうち県外検査実施機関で検査を受診した人数及び福島県立医科大学から出向いて実施した検査を受診した人数。

※2 上段には受診者数を、下段には受診者数イの階層別割合を記載。

※3 受診者のうち県外住所の方の人数。

- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。
- 年齢区分は本格検査の検査受診時点の年齢。
- 対象者数等については重複の精査を行っているため、既出の報告数と異なっている。

資料 2

都道府県別県外検査実施状況

平成27年2月28日現在

都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)	都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)	都道府県名	県外検査 実施機関数	受診者数 (人)
北海道	4	145	福井県	1	8	広島県	1	4
青森県	1	71	山梨県	2	87	山口県	1	9
岩手県	3	165	長野県	2	56	徳島県	1	4
宮城県	2	1,501	岐阜県	1	16	香川県	1	8
秋田県	1	112	静岡県	2	68	愛媛県	1	1
山形県	3	520	愛知県	3	85	高知県	1	7
茨城県	4	402	三重県	1	14	福岡県	2	36
栃木県	5	387	滋賀県	1	9	佐賀県	1	13
群馬県	2	134	京都府	3	30	長崎県	2	11
埼玉県	2	170	大阪府	6	64	熊本県	1	6
千葉県	3	264	兵庫県	1	59	大分県	1	19
東京都	12	944	奈良県	1	10	宮崎県	1	21
神奈川県	4	441	和歌山県	1	3	鹿児島県	1	12
新潟県	1	566	鳥取県	1	7	沖縄県	1	15
富山県	1	7	島根県	1	3			
石川県	1	34	岡山県	3	21			
						合計	95	6,569

- 受診者数は県外検査実施機関で検査を受診した人数及び福島県立医科大学から出向いて実施した検査を受診した人数。
- 福島県立医科大学から出向いて検査を行ったのは、新潟県（1回）・神奈川県（1回）、山形県（1回）。

資料 3

市町村別一次検査結果

平成27年3月31日現在

受診者 (人) ア	結果確定数 (人) イ	判定区分別人数(人)				結節(人)		のう胞(人)	
		判定区分別割合(%)				結節の割合(%)		のう胞の割合(%)	
		A		B	C	5.1mm 以上	5.0mm 以下	20.1mm 以上	20.0mm 以下
		A1	A2						

平成26年度実施対象市町村

川俣町	1,686	1,681	746	915	20	0	19	12	1	923
		99.7	44.4	54.4	1.2	0.0	1.1	0.7	0.1	54.9
浪江町	2,058	1,956	817	1,117	22	0	22	14	0	1,127
		95.0	41.8	57.1	1.1	0.0	1.1	0.7	0.0	57.6
飯館村	715	698	329	357	12	0	12	3	0	361
		97.6	47.1	51.1	1.7	0.0	1.7	0.4	0.0	51.7
南相馬市	7,972	7,520	3,226	4,235	59	0	59	53	0	4,251
		94.3	42.9	56.3	0.8	0.0	0.8	0.7	0.0	56.5
伊達市	8,833	8,780	3,795	4,905	80	0	80	65	0	4,928
		99.4	43.2	55.9	0.9	0.0	0.9	0.7	0.0	56.1
田村市	4,680	4,631	1,905	2,679	47	0	47	25	0	2,697
		99.0	41.1	57.8	1.0	0.0	1.0	0.5	0.0	58.2
広野町	495	490	213	270	7	0	7	6	0	268
		99.0	43.5	55.1	1.4	0.0	1.4	1.2	0.0	54.7
楢葉町	731	716	306	406	4	0	4	6	0	406
		97.9	42.7	56.7	0.6	0.0	0.6	0.8	0.0	56.7
富岡町	1,434	1,350	565	768	17	0	17	10	0	774
		94.1	41.9	56.9	1.3	0.0	1.3	0.7	0.0	57.3
川内村	182	170	53	116	1	0	1	1	0	117
		93.4	31.2	68.2	0.6	0.0	0.6	0.6	0.0	68.8
大熊町	1,329	1,293	564	720	9	0	9	11	0	720
		97.3	43.6	55.7	0.7	0.0	0.7	0.9	0.0	55.7
双葉町	502	481	212	267	2	0	2	4	0	267
		95.8	44.1	55.5	0.4	0.0	0.4	0.8	0.0	55.5
葛尾村	130	102	55	46	1	0	1	0	0	47
		78.5	53.9	45.1	1.0	0.0	1.0	0.0	0.0	46.1
福島市	40,840	40,591	17,132	23,142	317	0	315	244	0	23,256
		99.4	42.2	57.0	0.8	0.0	0.8	0.6	0.0	57.3
二本松市	7,560	7,498	3,247	4,198	53	0	53	51	0	4,204
		99.2	43.3	56.0	0.7	0.0	0.7	0.7	0.0	56.1
本宮市	4,613	4,507	1,968	2,510	29	0	29	14	0	2,524
		97.7	43.7	55.7	0.6	0.0	0.6	0.3	0.0	56.0
大玉村	1,225	1,207	540	663	4	0	4	8	0	662
		98.5	44.7	54.9	0.3	0.0	0.3	0.7	0.0	54.8
郡山市	42,106	19,820	7,434	12,172	214	0	214	157	0	12,254
		47.1	37.5	61.4	1.1	0.0	1.1	0.8	0.0	61.8
桑折町	1,548	1,541	660	867	14	0	14	8	0	873
		99.5	42.8	56.3	0.9	0.0	0.9	0.5	0.0	56.7
国見町	1,184	1,166	466	692	8	0	7	10	1	692
		98.5	40.0	59.3	0.7	0.0	0.6	0.9	0.1	59.3
天栄村	693	680	283	389	8	0	8	7	0	395
		98.1	41.6	57.2	1.2	0.0	1.2	1.0	0.0	58.1
白河市	8,837	8,229	3,523	4,660	46	0	46	41	0	4,670
		93.1	42.8	56.6	0.6	0.0	0.6	0.5	0.0	56.8
西郷村	2,939	2,722	1,156	1,547	19	0	19	19	0	1,553
		92.6	42.5	56.8	0.7	0.0	0.7	0.7	0.0	57.1
泉崎村	906	889	328	560	1	0	1	10	0	558
		98.1	36.9	63.0	0.1	0.0	0.1	1.1	0.0	62.8
三春町	2,247	898	323	562	13	0	13	3	0	569
		40.0	36.0	62.6	1.4	0.0	1.4	0.3	0.0	63.4
小計	145,445	119,616	49,846	68,763	1,007	0	1,003	782	2	69,096
		82.2	41.7	57.5	0.8	0.0	0.8	0.7	0.0	57.8

平成27年度実施対象市町村

小計	2,582	2,381	921	1,424	36	0	36	25	0	1,433
		92.2	38.7	59.8	1.5	0.0	1.5	1.0	0.0	60.2
合計	148,027	121,997	50,767	70,187	1,043	0	1,039	807	2	70,529
		82.4	41.6	57.5	0.9	0.0	0.9	0.7	0.0	57.8

● 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が 100%にならない場合がある。

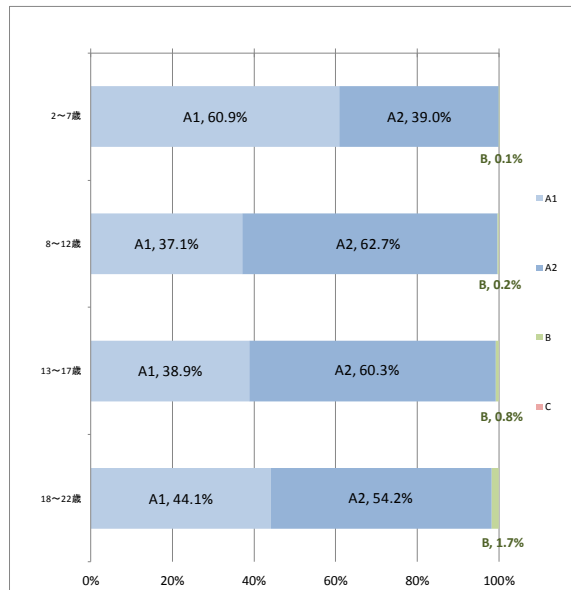
資料 4

1 検査結果確定者の年齢及び性別

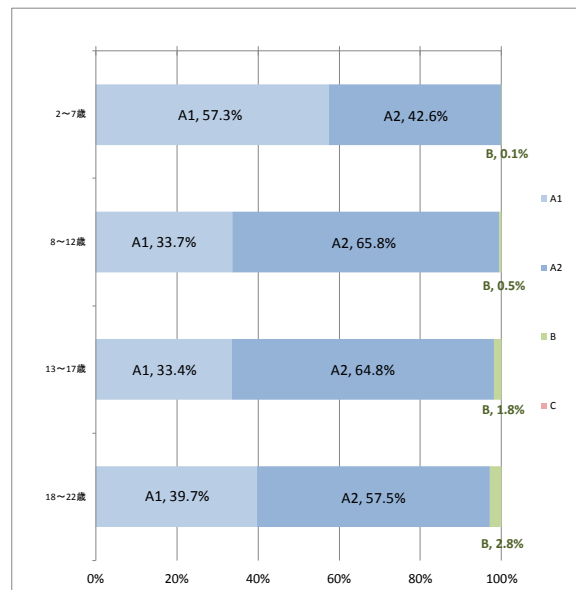
(単位 人)
平成27年3月31日現在

判定・性別 年齢区分	A						B			C			合計		
	A1			A2			男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
	男性	女性	計	男性	女性	計									
2～7歳	8,418	7,510	15,928	5,390	5,580	10,970	7	7	14	0	0	0	13,815	13,097	26,912
8～12歳	6,717	5,797	12,514	11,359	11,334	22,693	45	87	132	0	0	0	18,121	17,218	35,339
13～17歳	9,295	7,733	17,028	14,429	14,979	29,408	189	416	605	0	0	0	23,913	23,128	47,041
18歳～22歳	2,565	2,732	5,297	3,156	3,960	7,116	98	194	292	0	0	0	5,819	6,886	12,705
合計	26,995	23,772	50,767	34,334	35,853	70,187	339	704	1,043	0	0	0	61,668	60,329	121,997

年齢階層別判定区分の分布【男性】



年齢階層別判定区分の分布【女性】

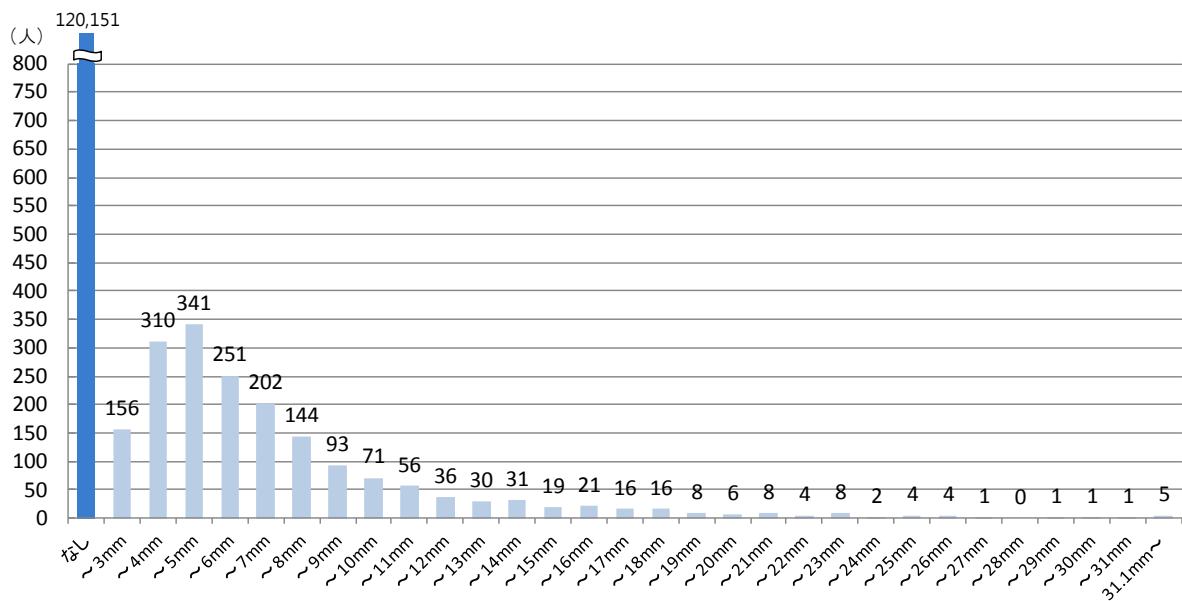
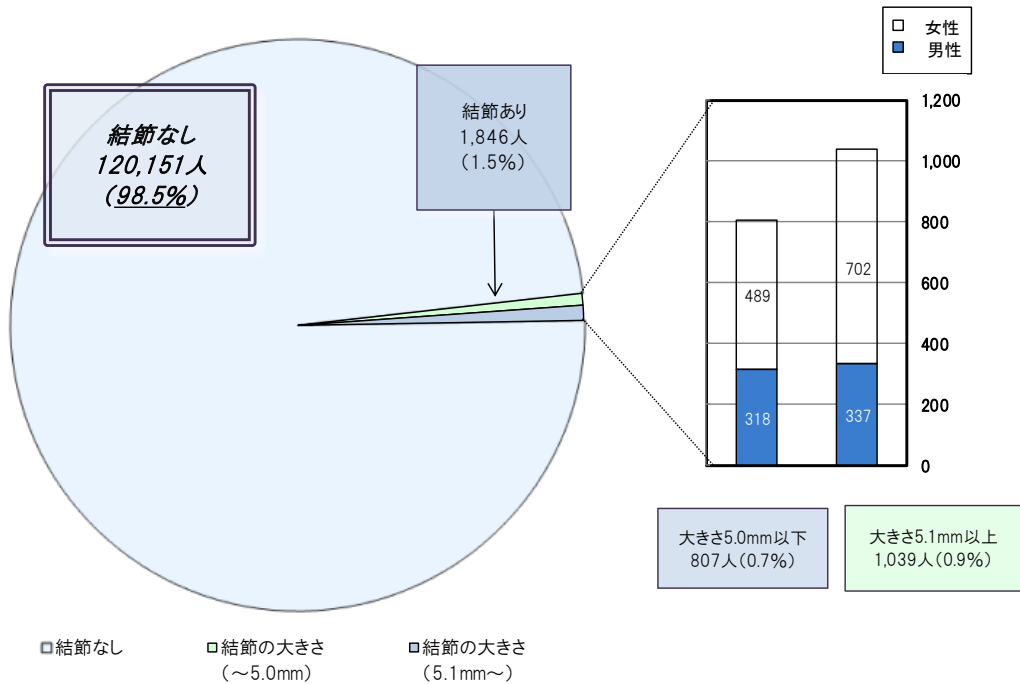


- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で100%にならない場合がある。
- 年齢区分は本格検査の検査受診時点の年齢。

2 結節の有無及び大きさ

(単位 人)
平成27年3月31日現在

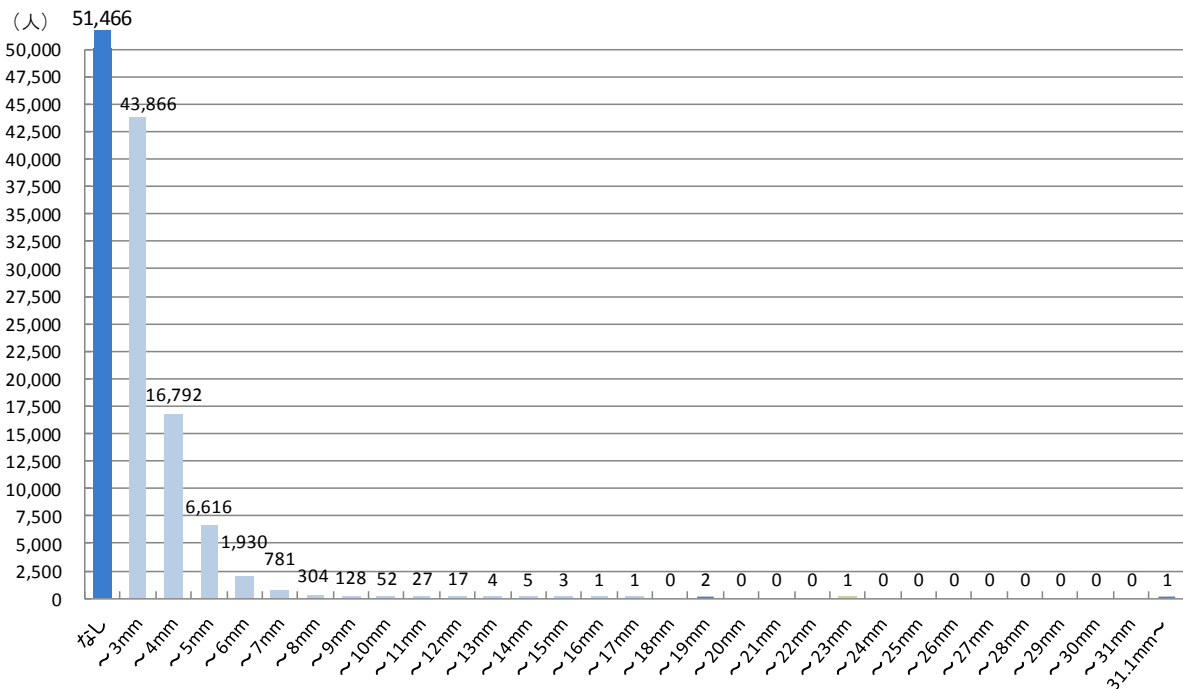
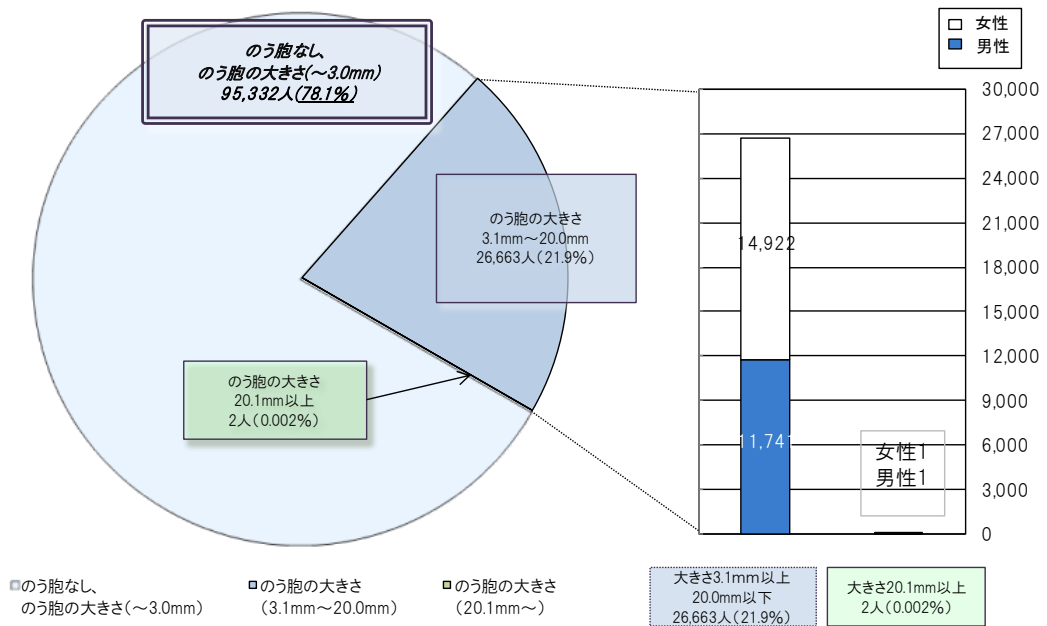
結節の有無・大きさ	全体	性別		判定区分	割合
		男性	女性		
なし	120,151	61,013	59,138	A1	98.5%
～3.0mm	156	71	85	A2	0.7%
3.1～5.0mm	651	247	404		
5.1～10.0mm	761	245	516	B	0.9%
10.1～15.0mm	172	61	111		
15.1～20.0mm	67	21	46		
20.1～25.0mm	26	7	19		
25.1mm～	13	3	10		
計	121,997	61,668	60,329		



3 のう胞の有無及び大きさ

(単位 人)
平成27年3月31日現在

のう胞の有無・大きさ	全体		判定区分	割合
	男性	女性		
なし	51,466	27,254	A1	78.1%
～3.0mm	43,866	22,672	A2	
3.1～5.0mm	23,408	10,641		
5.1～10.0mm	3,195	1,084		
10.1～15.0mm	56	14		
15.1～20.0mm	4	2		
20.1～25.0mm	1	0	B	0.002%
25.1mm～	1	1		
計	121,997	61,668		



資料 5

市町村別二次検査実施状況

平成27年3月31日現在

市町村名	一次検査実施者(人) ア	二次検査対象者(人) イ イ/ア(%)	計 ウ ウ/イ(%)	二次検査実施者(人)				計 ク※1 ク/ウ(%)	結果確定数(人)				
				ウのうち 2~7歳 エ エ/ウ(%)	ウのうち 8~12歳 オ オ/ウ(%)	ウのうち 13~17歳 カ カ/ウ(%)	ウのうち 18歳~22歳 キ キ/ウ(%)		次回検診		通常診療等		
									A1 ケ※2 ケ/ク(%)	A2 コ※2 コ/ク(%)	サ※3 サ/ク(%)	シ シ/サ(%)	
平成26年度実施対象市町村													
川俣町	1,686	20	17	0	3	11	3	17	3	6	8	1	
		1.2	85.0	0.0	17.6	64.7	17.6	100.0	17.6	35.3	47.1	12.5	
浪江町	2,058	22	17	0	2	7	8	15	0	2	13	2	
		1.1	77.3	0.0	11.8	41.2	47.1	88.2	0.0	13.3	86.7	15.4	
飯館村	715	12	10	0	2	6	2	10	2	3	5	1	
		1.7	83.3	0.0	20.0	60.0	20.0	100.0	20.0	30.0	50.0	20.0	
南相馬市	7,972	59	50	2	9	25	14	49	4	13	32	7	
		0.7	84.7	4.0	18.0	50.0	28.0	98.0	8.2	26.5	65.3	21.9	
伊達市	8,833	80	71	1	17	37	16	64	0	26	38	5	
		0.9	88.8	1.4	23.9	52.1	22.5	90.1	0.0	40.6	59.4	13.2	
田村市	4,680	47	31	1	3	20	7	28	1	8	19	3	
		1.0	66.0	3.2	9.7	64.5	22.6	90.3	3.6	28.6	67.9	15.8	
広野町	495	7	7	0	1	3	3	7	0	3	4	0	
		1.4	100.0	0.0	14.3	42.9	42.9	100.0	0.0	42.9	57.1	0.0	
楢葉町	731	4	3	0	0	0	3	3	0	0	3	0	
		0.5	75.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
富岡町	1,434	17	12	0	1	3	8	11	0	3	8	1	
		1.2	70.6	0.0	8.3	25.0	66.7	91.7	0.0	27.3	72.7	12.5	
川内村	182	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
大熊町	1,329	9	8	0	0	5	3	8	0	1	7	2	
		0.7	88.9	0.0	0.0	62.5	37.5	100.0	0.0	12.5	87.5	28.6	
双葉町	502	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
葛尾村	130	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	
		0.8	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
福島市	40,840	317	259	5	37	129	88	219	10	42	167	29	
		0.8	81.7	1.9	14.3	49.8	34.0	84.6	4.6	19.2	76.3	17.4	
二本松市	7,560	53	41	1	6	20	14	33	1	7	25	2	
		0.7	77.4	2.4	14.6	48.8	34.1	80.5	3.0	21.2	75.8	8.0	
本宮市	4,613	29	20	0	1	11	8	9	0	1	8	0	
		0.6	69.0	0.0	5.0	55.0	40.0	45.0	0.0	11.1	88.9	0.0	
大玉村	1,225	4	4	0	0	3	1	3	0	2	1	0	
		0.3	100.0	0.0	0.0	75.0	25.0	75.0	0.0	66.7	33.3	0.0	
郡山市	42,106	214	13	0	0	6	7	3	0	0	3	0	
		0.5	6.1	0.0	0.0	46.2	53.8	23.1	0.0	0.0	100.0	0.0	
桑折町	1,548	14	7	0	1	4	2	4	0	1	3	0	
		0.9	50.0	0.0	14.3	57.1	28.6	57.1	0.0	25.0	75.0	0.0	
国見町	1,184	8	6	1	1	0	4	2	0	0	2	0	
		0.7	75.0	16.7	16.7	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	100.0	0.0	
天栄村	693	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
白河市	8,837	46	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0	
		0.5	6.5	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
西郷村	2,939	19	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0	
		0.6	15.8	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
泉崎村	906	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
		0.1	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
三春町	2,247	13	4	0	0	4	0	2	0	1	1	0	
		0.6	30.8	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	
小計	145,445	1,007	588	11	85	297	195	488	21	120	347	53	
		0.7	58.4	1.9	14.5	50.5	33.2	83.0	4.3	24.6	71.1	15.3	
平成27年度実施対象市町村													
小計	2,582	36	5	0	0	5	0	3	0	1	2	1	
		1.4	13.9	0.0	0.0	100.0	0.0	60.0	0.0	33.3	66.7	50.0	
合計	148,027	1,043	593	11	85	302	195	491	21	121	349	54	
		0.7	56.9	1.9	14.3	50.9	32.9	82.8	4.3	24.6	71.1	15.5	

※1 クには血液検査、尿検査及び細胞診実施者のうち、検査結果を通知していない対象者は含まない。

※2 ケ及びコは平成28年4月以降の本格検査において検査を実施する受診対象者。

※3 サは通常の保険診療枠として概ね6か月後または1年後に再診する受診対象者。

- 小数点第一位で表示されている割合のものは、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- 年齢区分は本格検査の検査受診時点の年齢。

資料 6

悪性ないし悪性疑い者の手術症例

1 平成 26 年度実施対象市町村

- ・悪性ないし悪性疑い 15 人（手術実施 5 人：乳頭癌 5 人）

県民健康調査「健康診査」の実施状況について

1 目的

今回の東日本大震災による東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に伴い、国が指定した警戒区域等の避難区域に居住していた住民を中心に、多くの方が突然、避難を余儀なくされ、生活スタイルが今までとは全く異なるものとなったり、食生活や運動習慣などの生活習慣にも大きな変化があったり、さらには、受診すべき健康診査も受けることができなくなるなど、自分の健康に不安を抱えている状況にある。

県民の健康維持・増進を図るためには、避難区域等住民一人一人が自分の健康状態を把握し、生活習慣病の予防や疾病の早期発見、早期治療につなげていくことが必要であることから、避難区域等の住民を対象とした、健康診査を実施する。

2 対象者

平成 23 年時指定の避難区域等の住民及び基本調査の結果必要と認められた方

【避難区域等】

田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯舘村の全域
及び伊達市の一部（特定避難勧奨地点の属する区域）

3 実施状況

(1) 健康診査の項目

全ての年齢区分について、避難区域等住民一人一人が自分の健康状態を把握し、生活習慣病の予防や疾病の早期発見、早期治療につなげていくことを主眼に検査項目を設定している。

16 歳以上については、高齢者の医療の確保に関する法律（昭和 57 年法律第 80 号）第 20 条に基づく「特定健康診査」の検査項目を基本として、血算などの追加項目（以下「追加項目」という。）を付加して実施することとしている。

【年齢区分別検査項目】

年齢区分	健診項目
0歳～6歳 (就学前乳幼児)	身長、体重、 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画）
7歳～15歳 (小学校1年生～中学校3年生)	身長、体重、血圧、 血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画） [希望による追加項目] 血液生化学（AST、ALT、 γ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、血糖、 血清クレアチニン、尿酸）
16歳以上	身長、体重、腹囲（BMI）、血圧、 <u>血算（赤血球数、ヘマトクリット、ヘモグロビン、血小板数、白血球数、白血球分画）</u> <u>尿検査（尿蛋白、尿糖、尿潜血）</u> 血液生化学（AST、ALT、 γ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、血糖、 <u>血清クレアチニン、eGFR、尿酸</u> ） ※下線部は、通常、特定健康診査では検査しない追加項目

(2) 平成 26 年度実施体制

既存の健診制度を活用するとともに、避難区域等の住民が県内外に避難している状況を踏まえ、受診者の利便性を考慮した体制で健康診査を実施した。

【県内に居住している対象者】

16 歳以上については、既存の健診と県民健康調査「健康診査」を一度で受診できるよう、市町村の実施する特定健康診査等において、追加項目を上乗せして同時に実施するとともに、受診できなかった方を対象に県内 24 会場延べ 52 回、集団健診方式で健康診査を実施した。また、集団健診と同時期に、県内協力医療機関においても健康診査を受診できる体制をととのえ、504 医療機関にご協力いただいた。

15 歳以下の小児については、小児の特性に対応できるよう、小児科医に協力をいただき、県内 101 の医療機関において健康診査を実施した。

【県外に避難している対象者】

全国各地に避難している状況を踏まえ、県外で合計 837 の医療機関に協力をいただき、健康診査を実施した。内訳としては、16 歳以上については、432 の医療機関、15 歳以下の小児については、県内と同様に、小児科を標榜する 124 の医療機関、16 歳以上と 15 歳以下のいずれも対応可能な 281 の医療機関に協力をいただいた。

(3) 平成 23～26 年度の受診者数推移

平成 23～26 年度 県民健康調査「健康診査」 実施状況 (16 歳以上)

(単位：人、%)

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	確報値 平成 24 年 9 月 11 日	確報値 平成 25 年 7 月 5 日	確報値 平成 26 年 9 月 1 日	速報値 平成 27 年 3 月 31 日
対象者数	182,370	184,910	186,970	188,328
県内市町村が実施する総合健診	8,798	23,907	25,604	25,913
県内個別健診	—	6,692	5,806	4,924
県内集団健診	41,949	10,603	6,767	5,808
県外個別健診	3,815	3,055	3,205	3,418
その他 ※1、※2	2,045	3,206	2,017	1,846
県内、県外での 重複受診者数	208	454	359	※3
合計 (重複受診者数を除く)	56,399	47,009	43,040	41,909
受診率 (%)	30.9%	25.4%	23.0%	22.3%

※1 その他 (県内で実施 (市町村が郡市医師会、医療機関へ委託したケース))

※2 その他 (県外で実施 (市町村が健診代行機関に委託したケース))

※3 重複等精査中のため未確定

平成23～26年度 県民健康調査「健康診査」 実施状況（15歳以下）

（単位：人、％）

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	確報値 平成24年9月11日	確報値 平成25年7月5日	確報値 平成26年9月1日	速報値 平成27年3月31日
対象者数	27,819	27,077	26,474	25,883
県内小児健診	15,002	9,534	8,432	7,432
県外小児健診	2,949	2,283	1,822	1,792
県内、県外での 重複受診者数	17	37	6	※
合計 (重複受診者数を除く)	17,934	11,780	10,248	9,224
受診率（％）	64.5%	43.5%	38.7%	35.6%

※ 重複等精査中のため未確定

4 実施状況の評価及びその対策について

平成26年度の16歳以上の受診率は22.3%で、平成25年度の23.0%と比較すると、0.7ポイント減少している。同じく、15歳以下の受診率は35.6%で平成25年度の38.7%と比較すると、3.1ポイント減少している。

この理由として、平成23年度から毎年実施している健康診査が定着し、いつでも受診できる安心感から受診時期を逃したことが推測される。また、集団健診は実施日数に限りがあったため、受診時期を逃したことも推測される。その他に、職域での健康診断と内容が似ているため受診しなかったという方も見受けられた。

このような状況を踏まえて、平成27年度は集団健診において、対象者数が多い地域での開催日程を増やす等、引き続き利便性の充実を図るとともに、以下のような取り組みを行い受診率の向上に努めていきたい。

◆受診勧奨（リマインダー）の実施

昨年度に引き続き、市町村の衛生部門と連携した効果的な広報を行っていくとともに、受診期間の途中でも受診勧奨（リマインダー）を行う。

◆住民向けの説明会の実施

健康への意識を高めて頂く足掛かりとなるよう、健診受診者に対する健診結果説明会を開催する。

また、引き続き多くの会場でよろず健康相談を実施する。

5 平成27年度の実施計画（案）

【県内に居住している対象者】

昨年度に引き続き、対象市町村において市町村が実施する特定健診・総合健診で追加項目を上乗せして同時に実施できるようにするとともに、集団健診や医療機関での個別健診の実施の他、小児健診の早期実施（7月からのスタートを想定）に努める。

【県外に避難している対象者】

昨年度に引き続き、対象者の要望をもとに、各都道府県で健診可能な医療機関を充実させるとともに、早期実施（夏頃からのスタートを想定）に努める。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
16歳以上	県内	市町村が実施する特定健診・総合健診での上乗せ健診 飯館村(5/13～) 田村市(5/25～) 葛尾村(6/6・6/7) 川俣町(6/17～) 南相馬市(7/6～) 広野町(7/7～) 川内村(8/31～) 双葉町(9/5～) 浪江町(9/18～) 楡葉町(9/28～) 富岡町(10/7～) 大熊町(10/20～)									集団健診		
	県外	県外指定医療機関での健診											
15歳以下	県内	県内指定医療機関での小児健診											
	県外	県外指定医療機関での小児健診											

◆住民向けの健診結果説明会の開催

これまで集団健診や医療機関での個別健診を受診した方に、個別に健診結果を通知する他、集団健診会場においてよろず健康相談を実施することで個別の相談に対応してきた。さらに今年度、新たに対象を拡大し健康への意識を高めて頂く足掛かりとなるよう、健診受診者に対する結果説明会を次のとおり開催する。

平成27年1月～3月に行われた集団健診・個別健診を受診した方のうち、血圧、腎機能、糖代謝、血中脂質、尿酸の5つの項目で、どれかひとつでも要指導や要医療の判定になった方（約4,800人）を対象に、県内7会場で5月～7月にかけて開催する。

内容は、健診結果をこれからの健康づくりに活かすための医科大学の医師による講話や、小グループに分かれての専門職による相談会、管理栄養士による食と健康のセミナーなどを予定している。

また、よろず健康相談も同時に開催し、個別の相談にも対応する。

県民健康調査「健康診査」
「既存健診対象外の県民に対する健康診査」の実施状況について

1 目的

県民健康調査の一環として、これまで既存制度では健康診査を受診する機会がなかった県民に対して「健康診査」の機会を提供し、県民の皆様の健康の保持・増進を図り、健康長寿県を目指す。

2 対象者

健康診査実施年度に概ね 19 歳から 39 歳の年齢に達する者であって、実施年度の 4 月 1 日時点で福島県内に住民登録をしていた者のうち、別表に定める既存制度の健診を受診する機会がある者を除く。

別表

- ・ 労働安全衛生法に基づく健康診断（定期健康診断等）
 - ・ 学校保健安全法第 13 条に基づく児童生徒等の健康診断
 - ・ 県民健康調査として避難区域等^{*}の県民を対象として県が行う健診（項目を上乗せして行う健診）等
- ^{*} 避難区域等とは田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村の全域、及び伊達市の一部（特定避難勧奨地点が属する区域）等

3 健診項目

身長、体重、BMI、血圧、尿検査（尿糖及び尿蛋白）、血液生化学（AST、ALT、 γ -GT、TG、HDL-C、LDL-C、HbA1c、空腹時血糖（又は随時血糖））

4 実施方法

市町村及び健診実施代行機関に実施を委託し、県内外の医療機関等または、集団健診において実施する。

5 実績

(単位:人)

実施方法（内訳）		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
市町村に実施を委託		12,148	5,559	5,484
健診実施代行機関に 実施を委託	県内医療機関等受診者	10,703	9,093	8,087
	県内集団健診受診者	613	1,074	925
	県外医療機関等受診者	457	223	88
小計		11,773	10,390	9,100
合計		23,921	15,949	14,584

6 平成 27 年度実施計画（案）

35 市町村が市町村の実施する集団健診で実施予定。24 市町村が健診実施代行機関を活用し実施予定（「市町村に実施を委託」との重複市町村を含む）。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市町村委託	市町村健診（案内送付者見込み数※ 147,000 人）											
代行機関委託	案内 （案内送付者見込み数※ 244,000 人）											
	健康診査の実施											

※案内送付者数：対象者について、加入保険の種別等を事前に把握できないことから、案内送付者とした。

県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」実施状況

1 平成 25 年度 質問紙調査及び支援結果の概要について

別添「平成 25 年度『こころの健康度・生活習慣に関する調査』結果概要」及び「平成 25 年度県民健康調査『こころの健康度・生活習慣に関する調査』結果報告書」参照。

2 平成 26 年度 質問紙調査の進捗状況について（平成 27 年 3 月 31 日現在）

(1) 回答状況

回答数と回答率

区分	調査対象者	回答数	回答率
子ども	25,872	6,072	23.5%
一般	186,875	40,574	21.7%
合計	212,747	46,646	21.9%

(2) 支援状況

ア 電話による支援

回答内容から支援が必要と思われる方に対し、臨床心理士や保健師、看護師等が電話をかけ、こころの健康や生活習慣に関する問題について支援を行っている。

ア) 尺度による支援

区分	要支援者数※ ₁	要支援率※ ₂	対応数※ ₃	対応率	支援済数	支援済率
子ども	241	4.5%	164	68.0%	111	46.1%
一般	963	3.2%	569	59.1%	364	37.8%
合計	1,204	3.4%	733	60.9%	475	39.5%

※₁ 要支援者数

- ・子ども：SDQ（子どもの情緒と行動について）が 20 点以上に該当する方。
- ・一般：K6（全般的な精神健康状態）が 17 点以上の方。
- ・要支援者数：3月31日現在、支援が必要と判断された方。

※₂ 要支援率

- ・回答がありデータ入力終了したもの（子ども 5,300 件、一般 29,803 件、合計 35,103 件）のうち、3月31日までに支援が必要と判断された方の占める割合。

※₃ 対応数

- ・回答内容を確認し、一度は電話をかけているもの（不在を含む）と、調査票を確認した結果、電話番号の記載がないことが分かっているもの。

イ) 尺度以外の項目による支援

区分	要支援者数※ ₄	対応数※ ₃	対応率	支援済数	支援済率
子ども	7	6	85.7%	6	85.7%
一般	50	37	74.0%	32	64.0%
合計	57	43	75.4%	38	66.7%

※₃ 前頁ア) 参照

※₄ 要支援者数

- ・高血圧や糖尿病があり、現在通院がない方の中で、BMIが27.5以上の方（「一般」）。
- ・高血圧や糖尿病があり、現在通院がない方の中で、飲酒量が毎日3合以上の方（「一般」）。
- ・自由記載及び欄外記載の内容から、支援が必要と判断された方のうち、緊急性が高い方。
- ・要支援者数：3月31日現在、支援が必要と判断された方。

イ 支援に関する今後の方針

ア) 尺度以外の項目において電話支援対象となる方への支援を進める。基準は以下のとおり。

- ・精神疾患があり通院していない方（改善したために現在通院をしていない方は除く）（「一般」）。
- ・自由記載及び欄外記載の内容から、支援が必要と判断された方。

イ) 相談窓口として、こころの健康度・生活習慣に関する調査専用ダイヤルをご案内するとともに、現在の健康状態や電話相談の要否を確認するため、返信用ハガキ付きの状況確認文書やパンフレット等を送付する予定。（8月以降）

・尺度による支援

SDQ、K6の先行研究における基準値（SDQ:16点、K6:13点）を超え、電話による支援対象者に該当しない方への支援

- ・尺度以外の項目において下記の基準に該当し、上記要支援者に該当しない方への支援
支援基準 1. 高血圧や糖尿病があり、医療機関を受診されていない方。
2. 睡眠の質に満足しておらず日中に気が滅入ったり活動量が低下したりする方の中で、医療受診をしていない方。
3. CAGE（アルコール依存尺度）が2点以上の方。

(3) 回答率向上への取り組み

リマインダーの発送

未回答者に対し、4月中にリマインダーを発送する。

3 平成27年度調査について

平成26年度調査の実施状況を踏まえ、市町村との連携を図り、調査項目等の検討を開始する。

I 平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」結果概要

1. 目 的

平成 23 年 3 月 11 日発生の東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所爆発事故以降、放射線への不安、避難生活、財産の喪失及び恐怖体験等により、精神的苦痛や心的外傷(トラウマ)を負った県民のこころの健康度や生活習慣を把握し、適切なケアを提供するため、平成 23 年度から県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」を実施し、支援を行っている。

こころのケアについては、中・長期の対策が必要であり、そのためには「こころ」や「からだ」の健康状態について、継続した見守り・支援を行っていることを対象者へ伝えるとともに、「こころ」や「からだ」の変化やその要因を把握し、状況に応じた適切な支援を実施する必要があることから、平成 25 年度も引き続き質問紙による調査を行った。

2. 方 法

1) 対 象

平成 25 年度の対象は、平成 23 年 3 月 11 日時点で国が指定する避難区域等の住民及び平成 25 年 4 月 1 日までに生まれた方であり、具体的には、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村、南相馬市、田村市、川俣町の全域及び伊達市の一部(特定避難勧奨地点関係地区)の市町村に住民登録があった方、212,372 人を対象とした。

0 歳～3 歳用	:平成 22 年 4 月 2 日から平成 25 年 4 月 1 日までに生まれた方	4,164 人
4 歳～6 歳用	:平成 19 年 4 月 2 日から平成 22 年 4 月 1 日までに生まれた方	5,169 人
小学生用	:平成 13 年 4 月 2 日から平成 19 年 4 月 1 日までに生まれた方	11,167 人
中学生用	:平成 10 年 4 月 2 日から平成 13 年 4 月 1 日までに生まれた方	6,013 人
一般用	:平成 10 年 4 月 1 日以前に生まれた方	185,859 人

2) 方 法

上記対象に対して、上記区分に従い、調査票(自記式または保護者回答)を郵送した。

3) 集計対象期間

平成 26 年 2 月 5 日から平成 26 年 10 月 31 日までとした。

4) 回答者数および有効回答数

回答者数(回答率)は、0 歳～3 歳用が 1,635 人(39.3%)、4 歳～6 歳用が 2,033 人(39.3%)、小学生用が 4,005 人(35.9%)、中学生用が 1,822 人(30.3%)、一般用が 46,388 人(25.0%)であった(表 1)。

有効回答数(有効回答率)は、0 歳～3 歳用が 1,634 人(39.2%)、4 歳～6 歳用が 2,032 人(39.3%)、小学生用が 3,987 人(35.7%)、中学生用が 1,820 人(30.3%)、一般用が 46,377 人(25.0%)であった。

調査票ごとに、各項目について結果を集計した。集計結果は、結果報告書のとおりである。なお、各項目に欠損値があるため、合計は上記有効回答数と一致しない場合がある。また、結果報告書の割合(%)は、端数処理を行っているため、合計が 100%にならない場合がある。

3. 結 果

1) 0歳～3歳

- ・平成23年度調査は未就学児を「子ども①」としたが、平成24年度、平成25年度調査は「0歳～3歳」と「4歳～6歳」とに分類して集計した。
- ・対象4,164人のうち、有効回答数は1,634人(39.2%)であった。
- ・お子様の健康状態については98.8%が特に問題はない(「きわめて良好」、「良好」、「普通」と回答しており全体として良好な結果が得られ、平成24年度調査(98.5%)とほぼ同様であった。しかし1.2%は問題あり(「悪い」、「きわめて悪い」と回答していた。
- ・平均睡眠時間は、9時間59分、平均昼寝時間は1時間53分であり、平成24年度調査(平均睡眠時間10時間0分、平均昼寝時間1時間54分)とほぼ同じであり、同年代の全国調査²⁾における年少児(3歳児)と比べると、ほぼ同様であった。

2) 4歳～6歳

- ・対象5,169人のうち、有効回答数は2,032人(39.3%)であった。
- ・お子様の健康状態については98.4%が特に問題はない(「きわめて良好」、「良好」、「普通」と回答しており全体として良好な結果が得られ、平成23年度調査(97.8%)及び平成24年度調査(98.2%)とほぼ同様であった。その一方で、1.6%に問題があり、「悪い」(1.4%)、「きわめて悪い」(0.2%)と回答していた。
- ・子どもの情緒と行動に関するアンケート(SDQ 日本語版)は、有効回答2,027人のうち、先行研究のスクリーニング得点である16点以上が14.2%、支援基準である20点以上が5.4%であった。これは平成23年度調査(16点以上24.4%、20点以上11.3%)及び平成24年度調査(16点以上16.5%、20点以上5.9%)と比べて、16点以上の割合も20点以上の割合も引き続き減少傾向にあるが、減少の幅は小さくなり昨年度からほぼ横ばいであった。
男女別にみると男児では有効回答1,020人のうち、16点以上が16.7%、20点以上が6.8%であり、女児では有効回答1,007人のうち、16点以上が11.7%、20点以上が4.1%であった。この女児が低い傾向は平成23年度及び、平成24年度調査と同様であった。
- ・平均睡眠時間は9時間44分、平均昼寝時間は1時間39分であり、睡眠時間と平均昼寝時間は平成23年度調査(9時間43分、1時間47分)及び、平成24年度調査(9時間45分、1時間33分)とほぼ同じであり、同年代の全国調査²⁾における年長児(5歳児)の睡眠時間と比べると、ほぼ同様であった。

3) 小学生

- ・対象11,167人のうち、有効回答数は3,987人(35.7%)であった。
- ・健康状態は、98.5%が特に問題はない(「きわめて良好」、「良好」、「普通」と回答しており、平成23年度調査(97.1%)及び平成24年度調査(98.0%)と同様、全体として良好な結果が得られた。その一方で、1.5%に問題があり、「悪い」(1.3%)、「きわめて悪い」(0.2%)と回答していた。
- ・SDQは、有効回答3,974人のうち、16点以上が14.7%、20点以上が5.7%であった。これは4歳～6歳とほぼ同様の割合であり、平成23年度調査(16点以上22.0%、20点以上10.9%)及び、平成24年度調査(16点以上16.3%、20点以上6.4%)と比較すると16点以上の割合も20

点以上の割合も引き続き減少傾向にあるが、減少の幅は小さくなり平成 24 年度調査からほぼ横ばいであった。

男女別にみると男児は 16 点以上が 16.9%、20 点以上が 7.1%であり、女児では 16 点以上が 12.3%、20 点以上が 4.1%であり、女児のほうが低い傾向にあった。この傾向は平成 23 年度及び、平成 24 年度調査と同様であった。

- ・ 睡眠時間は、平均で 8 時間 54 分であった。これは平成 23 年度調査 (8 時間 36 分)より約 20 分延長し、平成 24 年度調査 (8 時間 53 分) 及び、全国調査³⁾と比べてほぼ同様となった。
- ・ 運動習慣は体育以外の運動を「ほとんどしていない」が 4 割以下 (39.3%)となり、平成 23 年度調査 (53.0%) 及び平成 24 年度調査 (45.1%)から改善がみられた。しかし、全国調査で示された学校の体育の授業以外で運動を「ときたま」または「しない」と回答した群が男児 11.8%、女児 23.4%という報告⁴⁾と比較すると、なお運動習慣が少ないと考えられた。

4) 中学生

- ・ 対象 6,013 人のうち、有効回答は 1,820 人 (30.3%)であった。
- ・ 健康状態は、97.0%が特に問題はない(「きわめて良好」、「良好」、「普通」と回答しており、平成 23 年度調査 (95.4%) 及び、平成 24 年度調査 (96.6%)に引き続き、全体としておおむね良好であった。その一方で、3.0%は問題があり、「悪い」(2.7%)、「きわめて悪い」(0.3%)と回答していた。

- ・ SDQ は、有効回答数 1,776 人のうち、16 点以上が 13.2%、20 点以上が 6.3%であった。4 歳～6 歳、小学生と比べて 16 点以上の割合は低かったが 20 点以上の割合は高かった。また、平成 23 年度調査 (16 点以上 16.2%、20 点以上 7.7%) 及び、平成 24 年度調査 (16 点以上 12.3%、20 点以上 6.2%)と比較すると、16 点以上の割合も 20 点以上の割合も昨年度からほぼ横ばいであった。

男女別にみると男子では有効回答数 873 人のうち、16 点以上が 15.9%、20 点以上が 7.1%であり、女子では有効回答数 903 人のうち、16 点以上が 10.5%、20 点以上が 5.5%であり、平成 24 年度調査までは男女差がなかったのに対して平成 25 年度調査では女子のほうが低い傾向にあった。

- ・ 睡眠時間は、平均で 7 時間 8 分であり、平成 23 年度調査 (6 時間 53 分)より約 15 分延長し、平成 24 年度調査 (7 時間 9 分) 及び、全国調査³⁾とほぼ同様であった。
- ・ 運動習慣は体育以外の運動を「ほとんどしていない」が 31.0%と平成 23 年度調査 (47.0%) 及び平成 24 年度調査 (34.3%)より減少しており、改善がみられた。しかし、全国調査における運動を「ときたま」または「しない」と回答した群が男子 9.6%、女子 29.3%という結果⁵⁾からみるとやや運動習慣が少ないと考えられた。

子ども全体のまとめ

- ・ 子どものこころの健康度を評価する指標として SDQ を用いた。平成 23 年度、平成 24 年度調査に引き続き、日本の被災していない一般人口を対象とした先行研究⁶⁾における SDQ 16 点以上の割合 (9.5%)と比較すると、依然としてすべての群で 16 点以上の割合が高かった。平成 23 年度調査と比較して SDQ 高得点の割合はすべての群で減少したが、平成 24 年度調査と比べると

改善度の幅が小さくなり、ほぼ横ばいであった。また、睡眠時間は平成 24 年度調査に比べてほぼ同様であり、先行研究の睡眠時間に近づいていることが判明した。運動習慣についても運動をほとんどしていない群の割合は減少傾向にあるものの、調査内容が異なり直接比較は困難であるが、全国調査と比較すると運動習慣はなお少ないことが示唆された。

5) 一般（平成 10 年 4 月 1 日以前に生まれた者）

(1) こころの健康度

- ・ 全般的な精神健康状態(K6)は、13 点以上をカットオフ値とすると、平常時では、日本の地域住民の 3.0%が該当し⁷⁾、トラウマ反応(PCL)は、44 点以上をカットオフ値とすると、2007 年のペルー地震(マグニチュード 8.0)の 4 年後の成人地域住民では 15.9%⁸⁾、米国におけるニューヨークテロ後の作業員では、44 点以上あるいは 50 点以上をカットオフ値とすると、各々 20.1%、11.1%が該当したと報告されている⁹⁾。それらの先行研究と、PCL の最適基準を検討するために実施された調査の結果から、こころの健康支援チームが電話支援を行う基準を、K6 が 13 点以上かつ PCL が 50 点以上、および PCL の点数に関わらず K6 が 17 点以上と設定した。
- ・ K6 は、13 点以上が 9.7%であり、平成 23 年度調査及び、平成 24 年度調査と比較して低下しているものの、平常時のカットオフ値以上の割合と比較して依然高い値を示した。男性では 13 点以上が 8.4%であったのに対し、女性は 10.8%と高い値を示した。年齢別では 70 代以上では 13 点以上が 10.7%と高く、10 代では 5.2%と低かった。これらの傾向は平成 23 年度調査及び、平成 24 年度調査と同様であった。
- ・ PCL は、44 点以上が 15.8%であり、平成 23 年度調査及び、平成 24 年度調査と比較して低下しているものの、依然高い値を示した。男女別、年齢別の傾向は、K6 と同様であった。

(2) 生活習慣

- ・ 自身の健康(主観的健康感)を「悪い」「きわめて悪い」と評価したのは 18.5%であり、平成 23 年度(18.5%)、平成 24 年度調査(17.9%)とほぼ同様であった。
- ・ 1 年前と比べて体重が「3kg 以上増えた」者は 17.6%、「3kg 以上減った」者は 9.7%であり、体重増加した者の割合が多かった。平成 24 年度調査(震災後に体重が「3kg 以上増えた」者は 23.9%、震災後に「3kg 以上減った」者は 14.8%)と同様に、この 1 年間においても体重が増えた者の割合が多かった。
- ・ 睡眠については、60.3%の者が不満を持っていたが、平成 23 年度調査(66.7%)及び、平成 24 年度調査(62.4%)よりその割合は減少した。
- ・ 運動については「ほとんどしていない」者が 46.7%であり、平成 23 年度調査(50.9%)及び、平成 24 年度調査(47.3%)よりも運動習慣を持つ者の割合は増加した。
- ・ 現在喫煙者は 18.5%と平成 23 年度調査(20.7%)及び、平成 24 年度調査(20.4%)より、その割合は減少した。現在飲酒者は 44.1%と平成 23 年度調査(44.1%)及び、平成 24 年度調査(43.6%)とほぼ同様で、多量飲酒者(1 日 2 合以上飲酒)の割合は 8.0%であり、平成 23 年度調査(9.6%)及び、平成 24 年度調査(9.9%)に比べて減少した。

参考文献

- 1) Yabe H, et al. (2014) Psychological distress after the Great East Japan Earthquake and Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident: Results of a mental health and lifestyle survey through the Fukushima Health Management Survey in FY2011 and FY2012. *Fukushima Journal of Medical Science* . 60(1): 57-67.
- 2) 無藤隆ら. 幼児期から小学1年生の家庭教育調査 報告書 (2012) ベネッセ教育総合研究所
<http://berd.benesse.jp/jisedai/research/detail1.php?id=3200>
- 3) 平成24年度児童生徒の健康状態サーベイランス事業報告書 (2014) 財団法人日本学校保健会
http://www.gakkohoken.jp/book/ebook/ebook_H250060/index.html
- 4) 平成25年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果・特徴(小学校) (2013) 文部科学省,
http://www.mext.go.jp/component/a_menu/sports/detail/_icsFiles/afiedfile/2013/12/20/1342603_5.pdf
- 5) 平成25年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果・特徴(中学校) (2013) 文部科学省
http://www.mext.go.jp/component/a_menu/sports/detail/_icsFiles/afiedfile/2013/12/20/1342606_5.pdf
- 6) Matsuishi T, et al. (2008) Scale properties of the Japanese version of the Strengths and Difficulties Questionnaire (SDQ): a study of infant and school children in community samples. *Brain and Development*. 30: 410-415.
- 7) 川上憲人. 全国調査におけるK6調査票による心の健康状態の分布と関連要因. 平成18年度厚生労働科学研究費補助金(統計情報高度利用総合研究事業)国民の健康状況に関する統計情報を世帯面から把握・分析するシステムの検討に関する研究. 分担研究書
- 8) Flores EC, et al. (2014) Social capital and chronic post-traumatic stress disorder among survivors of the 2007 earthquake in Pisco, Peru. *Social Science & Medicine*. 101: 9-17.
- 9) Stellman JM, et al. (2008) Enduring mental health morbidity and social function impairment in World Trade Center rescue, recovery, and cleanup workers: the psychological dimension of an environmental health disaster. *Environmental Health Perspectives*. 116(9): 1248-1253.

Ⅱ 支援結果概要

1. 目的

平成 23 年 3 月 11 日発生の東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所爆発事故以降、放射線への不安、避難生活、財産の喪失及び恐怖体験等により、精神的苦痛や心的外傷(トラウマ)を負った県民のこころの健康度や生活習慣を把握し、適切なケアを提供するため、平成 23 年度から県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」を実施し、支援を行っている。

こころのケアについては、中・長期の対策が必要であり、そのためには「こころ」や「からだ」の健康状態について、継続した見守り・支援を行っていることを対象者へ伝えるとともに、「こころ」や「からだ」の変化やその要因を把握し、状況に応じた適切な支援を実施する必要があることから、平成 25 年度も引き続き質問紙による調査を行った。

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の調査後、回答内容を福島県立医科大学の医師等が評価・分析し、こころの健康度及び生活習慣上、相談・支援の必要があると判断された方々に、状況改善及び保健・医療機関につなげることを目的として、臨床心理士、保健師、看護師等による「こころの健康支援チーム」が電話相談等を実施した。

2. 方法

1) 支援対象

国が指定した避難区域等の住民で生年月日が平成 25 年 4 月 1 日以前の者を対象とした平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の回答者のうち、下記選定基準に該当した者。

2) 選定基準

ア) 電話による支援（以下、電話支援）

a) 尺度の得点による支援基準

子ども：SDQ(子どもの情緒と行動について)が 20 点以上に該当する者。

一般：K6(気分の落ち込みや不安など、全般的な精神健康状態に関する尺度)が 13 点以上かつ PCL(トラウマ反応に関する尺度)が 50 点以上に該当する者。及び PCL の点数に関わらず K6 が 17 点以上に該当する者。

b) 尺度以外の項目による支援基準

子ども：自由記載及び欄外記載の内容から、支援が必要であると判断された者のうち、緊急性の高い者。

一般：高血圧または糖尿病の既往歴があり、通院をしていないと回答した者の中で、Body Mass Index (BMI:調査票内の身長及び体重から算出)が 27.5kg/m^2 以上かつ震災後の体重増加が 3kg 以上の者、あるいは飲酒量が一日平均 3 合以上の者。

精神疾患の既往歴があり、通院をしていないと回答した者。

自由記載及び欄外記載の内容から、支援が必要であると判断された者のうち、緊急性の高い者。

イ) 文書による支援（以下、文書支援）

a) 尺度の得点による支援基準

子ども：SDQ が 16 点以上（先行研究における基準値）で、前述の電話支援の基準に該当しない者。

一般：K6 が 13 点以上または PCL44 点以上（先行研究における基準値）で、前述の電話支援の基準に該当しない者。

b) 尺度以外の項目による支援基準

子ども：自由記載及び欄外記載の内容から、支援が必要であると判断された者のうち、緊急性の低い者。

一般：必要な医療受診をしていない者、及び睡眠の質に満足しておらず日中に気分が滅入ったり活動量が低下したりする者のうち、前述の支援基準に該当しない者。

CAGE（アルコール依存症に関する尺度）が 4 点満点中 2 点以上の者。

自由記載欄及び欄外記載の内容から、支援が必要であると判断された者のうち、緊急性の低い者。

3) 支援方法

電話支援対象者には、「こころの健康支援チーム」が調査票の内容を確認し、電話支援を実施した。

文書支援対象者には、相談窓口として「こころの健康・生活習慣に関する調査」の専用ダイヤルを案内する文書とともに、電話支援希望の有無を確認する返信用ハガキを同封して送付した。返信されたハガキに電話支援希望の記載がある者、もしくは「こころの健康支援チーム」が返信内容から支援が必要と判断された者に電話支援を行った。

3. 結果

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の回答者のうち、子どもの支援対象者は 1,256 人、一般の支援対象者は 11,507 人であった。それに加え、CAGE（アルコール依存症に関する尺度）の基準のみに該当した支援対象者は 2,010 人であった。

子どもの支援対象者の内訳は、電話支援の対象者 504 人、文書支援の対象者 752 人であり、そのうち返信内容から電話支援が必要と判断された者は 37 人で、計 541 人（男児・男子 321 人（59.3%）、女児・女子 220 人（40.7%））であった。このうち、電話支援を実施できた者は 473 人（87.4%）であった。支援実施者の居住地は、県内が 330 人（69.8%）、県外が 143 人（30.2%）であった。

一般の支援対象者の内訳は、電話支援対象者は、尺度による支援の対象者 3,020 人（男性 1,150 人（38.1%）、女性 1,870 人（61.9%））と尺度以外の項目による支援の対象者 823 人（男性 392 人（47.6%）、女性 431 人（52.4%））の計 3,843 人であった。このうち、電話支援を実施できた者は 3,321 人（86.4%）であった。支援実施者の居住地は、県内が 2,622 人（79.0%）、県外が 699 人（21.0%）であった。文書支援の対象者は 7,664 人で、そのうち、返信内容から電話による支援が必要と判断された者は、尺度による支援の対象者 479 人（男性 210 人（43.8%）、女性 269 人（56.2%））と尺度以外の項目による支援の対象者 137 人（男性 76 人（55.5%）、女性 61 人（44.5%））の計 616 人であった。このうち、電話支援を実施できた者は 592 人（96.1%）であった。支援実施者の居住地は、県内

が 483 人(81.6%)、県外が 109 人(18.4%)であった。

支援対象者のうち死亡が確認された場合を除き、不在等で電話支援が実施できなかった者、及び CAGE の基準のみに該当した者については、当センターが作成した「こころの健康度と生活習慣サポートブック」を送付して情報提供を行った。

子どもへの電話支援では、355 人(75.1%)が「経過観察1^{※1}」に分類され、102 人(21.6%)が「経過観察2^{※2}」に分類された。また、「対象者を取り巻く問題」の категория に沿って支援の中で語られた内容を分類すると、『子どもの反応』は、「学校生活への影響」「イライラ・暴力」、『保護者・家庭の問題』は、「保護者自身」が主に語られた。

一般への電話支援では、電話支援対象者については、2,573 人(77.5%)が「経過観察1」に分類され、599 人(18.0%)が「経過観察2」に分類された。文書支援対象者については、506 人(85.5%)が「経過観察1」に分類され、78 人(13.2%)が「経過観察2」に分類された。「対象者を取り巻く問題」の categoria に沿って支援の中で語られた内容を分類すると、『自身の反応』は、「身体の不調」「睡眠の乱れ」「抑うつ」「将来の不安」、『家庭内の問題』、は「住環境の変化」「家族内関係」「日常生活習慣の変更」、『社会生活における問題』は、「行政政策への不満・補償問題」が主に語られた。

※1 経過観察1: 体調や環境の面で状態の改善が確認できた場合や、サポート資源利用の有無が確認できた場合など、ご自身で対処がなされていると判断できるもの。

※2 経過観察2: 体調不良や災害後遺症が強い者、社会・学校不適應や孤立されている者など、やや心配が残ると判断されるもの。

参考資料

1) 平成 25 年度県民健康管理調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」第 18 回検討委員会資料

平成25年度 県民健康調査

「こころの健康度・生活習慣に関する調査」

結果報告書

福島県立医科大学

放射線医学県民健康管理センター

(令和元年7月訂正版)

平成25年度 県民健康調査

「こころの健康度・生活習慣に関する調査」

調査票別集計結果

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」結果概要

1. 目 的

平成 23 年 3 月 11 日発生の東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所爆発事故以降、放射線への不安、避難生活、財産の喪失及び恐怖体験等により、精神的苦痛や心的外傷(トラウマ)を負った県民のこころの健康度や生活習慣を把握し、適切なケアを提供するため、平成 23 年度から県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」を実施し、支援を行っている。

こころのケアについては、中・長期の対策が必要であり、そのためには「こころ」や「からだ」の健康状態について、継続した見守り・支援を行っていることを対象者へ伝えるとともに、「こころ」や「からだ」の変化やその要因を把握し、状況に応じた適切な支援を実施する必要があることから、平成 25 年度も引き続き質問紙による調査を行った。

2. 方 法

1)対 象

平成 25 年度の対象は、平成 23 年 3 月 11 日時点で国が指定する避難区域等の住民及び平成 25 年 4 月 1 日までに生まれた方であり、具体的には、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、飯館村、南相馬市、田村市、川俣町の全域及び伊達市の一部(特定避難勧奨地点関係地区)の市町村に住民登録があった方、212,372 人を対象とした。

0 歳～3 歳用	:平成 22 年 4 月 2 日から平成 25 年 4 月 1 日までに生まれた方	4,164 人
4 歳～6 歳用	:平成 19 年 4 月 2 日から平成 22 年 4 月 1 日までに生まれた方	5,169 人
小学生用	:平成 13 年 4 月 2 日から平成 19 年 4 月 1 日までに生まれた方	11,167 人
中学生用	:平成 10 年 4 月 2 日から平成 13 年 4 月 1 日までに生まれた方	6,013 人
一般用	:平成 10 年 4 月 1 日以前に生まれた方	185,859 人

2)方 法

上記対象に対して、上記区分に従い、調査票(自記式または保護者回答)を郵送した。

3)集計対象期間

平成 26 年 2 月 5 日から平成 26 年 10 月 31 日までとした。

4)回答者数および有効回答数

回答者数(回答率)は、0 歳～3 歳用が 1,635 人(39.3%)、4 歳～6 歳用が 2,033 人(39.3%)、小学生用が 4,005 人(35.9%)、中学生用が 1,822 人(30.3%)、一般用が 46,388 人(25.0%)であった(表 1)。

有効回答数(有効回答率)は、0 歳～3 歳用が 1,634 人(39.2%)、4 歳～6 歳用が 2,032 人(39.3%)、小学生用が 3,987 人(35.7%)、中学生用が 1,820 人(30.3%)、一般用が 46,377 人(25.0%)であった。

調査票ごとに、各項目について結果を集計した。集計結果は、結果報告書のとおりである。なお、各項目に欠損値があるため、合計は上記有効回答数と一致しない場合がある。また、結果報告書の割合(%)は、端数処理を行っているため、合計が 100%にならない場合がある。

表1 各年度の質問紙調査における対象数、回答者数および有効回答数(割合)

		平成 25 年度		平成 24 年度		平成 23 年度	
対象数	0歳～3歳	4,164	0歳～3歳	4,625	子ども①	11,717	
	4歳～6歳	5,169	4歳～6歳	5,047			
	小学生	11,167	小学生	11,413	子ども②	11,791	
	中学生	6,013	中学生	6,023	子ども③	6,077	
	(小計	26,513)	(小計	27,108)	(小計	29,585)	
	一般	185,859	一般	184,507	一般	180,604	
	計	212,372	計	211,615	計	210,189	
回答者数(%)	0歳～3歳	1,635 (39.3)	0歳～3歳	2,143 (46.3)	子ども①	7,824 (66.8)	
	4歳～6歳	2,033 (39.3)	4歳～6歳	2,231 (44.2)			
	小学生	4,005 (35.9)	小学生	4,703 (41.2)	子ども②	7,509 (63.7)	
	中学生	1,822 (30.3)	中学生	2,126 (35.3)	子ども③	3,412 (56.1)	
	(小計	9,495 (35.8))	(小計	11,203 (41.3))	(小計	18,745 (63.4))	
	一般	46,388 (25.0)	一般	55,076 (29.9)	一般	73,569 (40.7)	
	計	55,883 (26.3)	計	66,279 (31.3)	計	92,314 (43.9)	
有効回答数(%)	0歳～3歳	1,634 (39.2)	0歳～3歳	2,143 (46.3)	子ども①	7,818 (66.7)	
	4歳～6歳	2,032 (39.3)	4歳～6歳	2,230 (44.2)			
	小学生	3,987 (35.7)	小学生	4,683 (41.0)	子ども②	7,464 (63.3)	
	中学生	1,820 (30.3)	中学生	2,118 (35.2)	子ども③	3,411 (56.1)	
	(小計	9,473 (35.7))	(小計	11,174 (41.2))	(小計	18,693 (63.2))	
	一般	46,377 (25.0)	一般	55,064 (29.8)	一般	73,433 (40.7)	
	計	55,850 (26.3)	計	66,238 (31.3)	計	92,126 (43.8)	

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（0 歳～3 歳用）」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査(0 歳～3 歳用)の対象 4,164 人のうち、有効回答は 1,634 人(39.2%)であった。内訳は、男児 824 人(50.4%)、女児 810 人(49.6%)で、平均年齢は 2.0 歳であった。

現住所は、県内 1,191 人(72.9%)、県外 443 人(27.1%)であった。

1. お子様の健康状態について（問 1）

健康状態は、「きわめて良好」が 521 人(32.5%)、「良好」が 681 人(42.5%)、「普通」が 381 人(23.8%)、「悪い」が 18 人(1.1%)、「きわめて悪い」が 0 人(0.0%)であった。

2. お子様の現在の身長と体重について（問 2）

男児の身長・体重の平均は、1 歳(平成 26 年 4 月 1 日時点)78.4cm・10.3kg、2 歳 88.2cm・12.8kg、3 歳 96.0cm・15.0kg であった。女児の身長・体重の平均は、1 歳 77.8cm・10.0kg、2 歳 87.4cm・12.2kg、3 歳 94.6cm・14.2kg であった。

3. 治療中の病気について（問 3）

治療中の病気等は、「ない」が 1,158 人(71.4%)、「ある」が 463 人(28.6%)であった。

「ある」と回答した者の内訳(複数回答)は、表 2 のとおりであった。

表 2 治療中の病気の内訳

病名	人数
風邪	189
アトピー性皮膚炎	76
喘息	62
中耳炎	53
歯科疾患	40
アレルギー性鼻炎	35
喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎以外のアレルギー性疾患	28
インフルエンザ	11
副鼻腔炎・蓄膿症	10
てんかん	2
ADHD	2
その他	71

(複数回答)

4. 入院の経験について（問4）

入院の経験は、「ない」が1,238人(76.0%)、「ある」が391人(24.0%)であった。

「ある」と回答した者の内訳(複数回答)は表3のとおりであった。

入院の経験が「ある」と回答した者のうち、この1年以内に病気により入院しなかった(「いずれもなし」と回答した)者は247人であり、この1年以内に入院した者の内訳(複数回答)は表4のとおりであった。

表3 入院時の病気の内訳

病名	人数
RSウイルス感染症	107
肺炎	69
気管支炎	48
風邪	42
胃腸炎	38
ロタウイルス感染症	33
喘息	32
マイコプラズマ肺炎	30
熱性けいれん	29
川崎病	15
鼠径ヘルニア	13
インフルエンザ	12
その他	114

(複数回答)

表4 この1年以内の入院時の病気の内訳

病名	人数
RSウイルス感染症	30
肺炎	24
気管支炎	18
喘息	14
ロタウイルス感染症	13
熱性けいれん	13
風邪	12
胃腸炎	9
マイコプラズマ肺炎	8
川崎病	7
鼠径ヘルニア	6
インフルエンザ	3
その他	28

(複数回答)

5. 検査の経験について（問5）

1) CT検査の経験は、「ない」が1,516人(93.1%)、「ある」が70人(4.3%)、「わからない」が43人(2.6%)であった。

2) X線を使った検査の経験(CT、レントゲンは除く)は、「ない」が1,486人(92.6%)、「ある」が60人(3.7%)、「わからない」が58人(3.6%)であった。

「ある」と回答した者のうち、「透視検査」が43人、「血管造影検査」が9人、「核医学検査」が2人であった。

6. 病気の治療のための放射線療法の経験について（問6）

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が1,604人(98.5%)、「ある」が4人(0.2%)、「わからない」が20人(1.2%)であった。

7. 睡眠時間と昼寝の有無について（問7）

1) 就寝時刻は、平均で午後9時11分であり、起床時刻は午前7時14分であった。睡眠時間は、平均で9時間59分であった。

2) 昼寝の有無(お子様はお昼寝をしますか)は、「いいえ」が215人(13.3%)、「はい」が1,404人(86.7%)であった。昼寝時間は、平均で1時間53分であった。

8. 普段の運動量について（問8）

運動（普段、運動をどのくらいしていますか（調査票記入時点で2歳以上））は、「ほとんど毎日している」が504人（45.0%）、「週に2～4回している」が355人（31.7%）、「週1回程度している」が144人（12.9%）、「ほとんどしていない」が116人（10.4%）であった。

9. 食生活について（問9）

- 1) 母乳（お子様は母乳を飲んでいますか）は、「はい」が225人（14.4%）、「いいえ」が1,339人（85.6%）であった。
- 2) 食品（飲料）および朝食、外食、調理された食品を食べる（飲む）頻度（調査票記入時点で1歳以上）は、表5（次頁）のとおりであった。

10. 育児について（問10）

育児（育児に自信がもてないことがありますか）は、「はい」が207人（12.7%）、「いいえ」が710人（43.6%）、「何ともいえない」が713人（43.7%）であった。

表5 1歳～3歳児の食品(飲料)および朝食、外食、調理された食品を食べる(飲む)頻度
(上段人数/下段割合)

	食べ ない	週に 1回未満	週に 1-2回	週に 3-4回	週に 5-6回	毎日	計	
朝食	11 (0.7%)	0 (0.0%)	6 (0.4%)	26 (1.7%)	49 (3.2%)	1,463 (94.1%)	1,555	
外食(給食はのぞく)	158 (10.2%)	892 (57.8%)	414 (26.8%)	28 (1.8%)	3 (0.2%)	48 (3.1%)	1,543	
調理された食品	147 (9.5%)	591 (38.3%)	587 (38.0%)	180 (11.7%)	26 (1.7%)	14 (0.9%)	1,545	
ごはん	1 (0.1%)	0 (0.0%)	7 (0.4%)	45 (2.9%)	125 (8.0%)	1,380 (88.6%)	1,558	
パン	30 (1.9%)	214 (13.8%)	532 (34.3%)	359 (23.2%)	164 (10.6%)	251 (16.2%)	1,550	
魚料理	32 (2.1%)	156 (10.0%)	723 (46.6%)	504 (32.5%)	96 (6.2%)	42 (2.7%)	1,553	
肉類	とり肉	50 (3.2%)	290 (18.6%)	849 (54.6%)	318 (20.5%)	36 (2.3%)	12 (0.8%)	1,555
	牛肉、豚肉	76 (4.9%)	197 (12.7%)	670 (43.2%)	511 (32.9%)	75 (4.8%)	22 (1.4%)	1,551
	ハム、ソーセージ	125 (8.1%)	293 (19.0%)	587 (38.1%)	415 (26.9%)	83 (5.4%)	39 (2.5%)	1,542
野菜	緑の葉の野菜	118 (7.6%)	198 (12.8%)	494 (31.8%)	416 (26.8%)	182 (11.7%)	144 (9.3%)	1,552
	赤や黄色の野菜	38 (2.4%)	100 (6.4%)	372 (23.9%)	538 (34.6%)	275 (17.7%)	232 (14.9%)	1,555
	淡色野菜	46 (3.0%)	114 (7.3%)	358 (23.1%)	562 (36.2%)	275 (17.7%)	198 (12.7%)	1,553
	野菜ジュース	525 (33.8%)	399 (25.7%)	290 (18.7%)	167 (10.8%)	67 (4.3%)	105 (6.8%)	1,553
果物	くだもの	54 (3.5%)	134 (8.6%)	330 (21.2%)	382 (24.5%)	265 (17.0%)	392 (25.2%)	1,557
	果物ジュース	281 (18.2%)	363 (23.4%)	349 (22.5%)	265 (17.1%)	138 (8.9%)	152 (9.8%)	1,548
大豆	納豆	209 (13.4%)	259 (16.6%)	489 (31.4%)	358 (23.0%)	164 (10.5%)	78 (5.0%)	1,557
	味噌汁	56 (3.6%)	85 (5.5%)	239 (15.3%)	331 (21.2%)	285 (18.3%)	563 (36.1%)	1,559
	とうふ料理	63 (4.1%)	232 (14.9%)	569 (36.6%)	427 (27.5%)	182 (11.7%)	81 (5.2%)	1,554
	煮豆料理	624 (40.2%)	593 (38.2%)	243 (15.7%)	72 (4.6%)	15 (1.0%)	5 (0.3%)	1,552
牛乳	283 (18.2%)	153 (9.8%)	201 (12.9%)	222 (14.3%)	169 (10.9%)	526 (33.8%)	1,554	
豆乳	1,211 (77.8%)	208 (13.4%)	67 (4.3%)	35 (2.2%)	12 (0.8%)	23 (1.5%)	1,556	
ヨーグルト、乳酸菌飲料	63 (4.0%)	132 (8.5%)	322 (20.6%)	408 (26.2%)	223 (14.3%)	412 (26.4%)	1,560	

※ 各項目に欠損値があるため、合計は一致しない場合がある。

平成25年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（4歳～6歳用）」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査（4歳～6歳用）の対象5,169人のうち、有効回答は2,032人（39.3%）であった。内訳は、男児1,022人（50.3%）、女児1,010人（49.7%）で、平均年齢は4.8歳であった。

現住所は、県内1,409人（69.3%）、県外623人（30.7%）であった。

1. お子様の健康状態について（問1）

健康状態は、「きわめて良好」が534人（26.9%）、「良好」が827人（41.7%）、「普通」が591人（29.8%）、「悪い」が28人（1.4%）、「きわめて悪い」が3人（0.2%）であった。

2. お子様の現在の身長と体重について（問2）

男児の身長・体重の平均は、4歳（平成26年4月1日時点）102.5cm・16.6kg、5歳109.4cm・18.9kg、6歳115.8cm・21.5kgであった。女児の身長・体重の平均は、4歳102.0cm・16.3kg、5歳108.5cm・18.4kg、6歳114.6cm・20.7kgであった。

3. 治療中の病気について（問3）

治療中の病気等は、「ない」が1,278人（63.2%）、「ある」が743人（36.8%）であった。

「ある」と回答した者の内訳は、表6のとおりであった。

表6 治療中の病気の内訳

病名	人数
風邪	202
アレルギー性鼻炎	147
喘息	145
歯科疾患	143
アトピー性皮膚炎	114
中耳炎	69
副鼻腔炎・蓄膿症	46
喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎以外のアレルギー性疾患	36
インフルエンザ	29
てんかん	12
ADHD	5
その他	93

（複数回答）

4. 入院の経験について（問 4）

入院の経験は、「ない」が 1,415 人(69.9%)、「ある」が 610 人(30.1%)であった。

「ある」と回答した者の内訳(複数回答)は表 7 のとおりであった。

入院の経験が「ある」と回答した者のうち、この 1 年以内に病気により入院しなかった(「いずれもなし」と回答した)者は 505 人であり、この 1 年以内に入院した者の内訳(複数回答)は表 8 のとおりであった。

表 7 入院時の病気の内訳

病名	人数
肺炎	173
RS ウイルス感染症	121
マイコプラズマ肺炎	101
気管支炎	77
喘息	74
胃腸炎	67
ロタウイルス感染症	56
熱性けいれん	55
風邪	53
インフルエンザ	35
鼠径ヘルニア	31
川崎病	25
その他	122

(複数回答)

表 8 この 1 年以内の入院時の病気の内訳

病名	人数
肺炎	20
風邪	13
マイコプラズマ肺炎	11
熱性けいれん	11
気管支炎	10
鼠径ヘルニア	10
喘息	7
川崎病	7
胃腸炎	6
ロタウイルス感染症	6
RS ウイルス感染症	5
インフルエンザ	5
その他	26

(複数回答)

5. 検査の経験について（問 5）

1) CT 検査の経験は、「ない」が 1,826 人(90.4%)、「ある」が 129 人(6.4%)、「わからない」が 64 人(3.2%)であった。

2) X 線を使った検査の経験(CT、レントゲンを除く)は、「ない」が 1,828 人(91.4%)、「ある」が 102 人(5.1%)、「わからない」が 70 人(3.5%)であった。

「ある」と回答した者のうち、「透視検査」が 76 人、「血管造影検査」が 14 人、「核医学検査」が 3 人であった。

6. 病気の治療のための放射線療法の経験について（問 6）

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が 1,975 人(98.1%)、「ある」が 2 人(0.1%)、「わからない」が 37 人(1.8%)であった。

7. 睡眠時間と昼寝の有無について（問 7）

1) 就寝時刻は、平均で午後 9 時 11 分であり、起床時刻は午前 6 時 56 分であった。睡眠時間は、平均で 9 時間 44 分であった。

2) 昼寝の有無(お子様はお昼寝をしますか)は、「いいえ」が 1,272 人(63.3%)、「はい」が 737 人(36.7%)であった。昼寝時間は、平均で 1 時間 39 分であった。

8. 普段の運動量について（問8）

運動（普段、運動をどのくらいしていますか）は、「ほとんど毎日している」が791人（41.0%）、「週に2～4回している」が610人（31.6%）、「週1回程度している」が249人（12.9%）、「ほとんどしていない」が279人（14.5%）であった。

9. 食生活について（問9）

食品（飲料）および朝食、外食、調理された食品を食べる（飲む）頻度は、表9（次頁）のとおりであった。

表9 4歳～6歳児の食品(飲料)および朝食、外食、調理された食品を食べる(飲む)頻度
(上段人数/下段割合)

		食べ ない	週に 1回未満	週に 1-2回	週に 3-4回	週に 5-6回	毎日	計
朝食		7 (0.3%)	2 (0.1%)	19 (0.9%)	48 (2.4%)	88 (4.3%)	1,865 (91.9%)	2,029
外食(給食はのぞく)		139 (6.9%)	1,299 (64.4%)	507 (25.1%)	15 (0.7%)	0 (0.0%)	57 (2.8%)	2,017
調理された食品		147 (7.3%)	791 (39.4%)	825 (41.1%)	195 (9.7%)	37 (1.8%)	14 (0.7%)	2,009
ごはん		1 (0.0%)	3 (0.1%)	4 (0.2%)	78 (3.8%)	208 (10.3%)	1,732 (85.5%)	2,026
パン		22 (1.1%)	311 (15.3%)	763 (37.6%)	453 (22.3%)	184 (9.1%)	294 (14.5%)	2,027
魚料理		20 (1.0%)	188 (9.3%)	1,061 (52.6%)	615 (30.5%)	90 (4.5%)	43 (2.1%)	2,017
肉類	とり肉	19 (0.9%)	326 (16.1%)	1,185 (58.7%)	441 (21.8%)	39 (1.9%)	9 (0.4%)	2,019
	牛肉、豚肉	28 (1.4%)	134 (6.6%)	982 (48.5%)	741 (36.6%)	111 (5.5%)	27 (1.3%)	2,023
	ハム、ソーセージ	32 (1.6%)	278 (13.9%)	884 (44.1%)	623 (31.1%)	127 (6.3%)	60 (3.0%)	2,004
野菜	緑の葉の野菜	120 (5.9%)	231 (11.4%)	703 (34.8%)	589 (29.1%)	198 (9.8%)	180 (8.9%)	2,021
	赤や黄色の野菜	43 (2.1%)	149 (7.4%)	625 (30.9%)	710 (35.1%)	270 (13.4%)	223 (11.0%)	2,020
	淡色野菜	52 (2.6%)	142 (7.0%)	542 (26.9%)	721 (35.7%)	329 (16.3%)	232 (11.5%)	2,018
	野菜ジュース	837 (41.4%)	657 (32.5%)	278 (13.7%)	126 (6.2%)	52 (2.6%)	72 (3.6%)	2,022
果物	くだもの	57 (2.8%)	180 (8.9%)	460 (22.7%)	534 (26.4%)	340 (16.8%)	451 (22.3%)	2,022
	果物ジュース	456 (22.6%)	595 (29.5%)	457 (22.6%)	258 (12.8%)	114 (5.6%)	139 (6.9%)	2,019
大豆	納豆	220 (10.9%)	514 (25.4%)	778 (38.5%)	341 (16.9%)	114 (5.6%)	56 (2.8%)	2,023
	味噌汁	43 (2.1%)	111 (5.5%)	288 (14.2%)	406 (20.0%)	394 (19.4%)	784 (38.7%)	2,026
	とうふ料理	91 (4.5%)	383 (18.9%)	835 (41.3%)	464 (22.9%)	174 (8.6%)	77 (3.8%)	2,024
	煮豆料理	816 (40.5%)	852 (42.3%)	269 (13.3%)	58 (2.9%)	14 (0.7%)	6 (0.3%)	2,015
牛乳		112 (5.6%)	127 (6.3%)	224 (11.1%)	285 (14.2%)	329 (16.3%)	937 (46.5%)	2,014
豆乳		1,617 (80.1%)	284 (14.1%)	73 (3.6%)	24 (1.2%)	10 (0.5%)	11 (0.5%)	2,019
ヨーグルト、乳酸菌飲料		51 (2.5%)	206 (10.2%)	499 (24.6%)	486 (24.0%)	292 (14.4%)	493 (24.3%)	2,027

※ 各項目に欠損値があるため、合計は一致しない場合がある。

10. 子どもの情緒と行動について（問 10）

- 1) 子どもの情緒と行動(子どもの情緒と行動に関するアンケート(SDQ 日本語版))は、有効回答 2,027 人のうち、16 点^{※1}以上が 288 人(14.2%)、20 点^{※2}以上が 110 人(5.4%)であった(図 1)。平均総合得点は 9.7 点であった。
男児では有効回答 1,020 人のうち、16 点以上が 170 人(16.7%)、20 点以上が 69 人(6.8%)であり、女児では有効回答 1,007 人のうち、16 点以上が 118 人(11.7%)、20 点以上が 41 人(4.1%)であった(図 2)。平均総合得点は男児では 10.4 点、女児では 9.0 点であった。
- 2) 子どもが情緒、集中力、行動、他人との付き合いのいずれか 1 つ以上の領域において困難を抱えているかについて、「いいえ」が 1,504 人(74.5%)、「はい(ささいな困難)」が 427 人(21.1%)、「はい(明らかな困難)」が 76 人(3.8%)、「はい(深刻な困難)」が 12 人(0.6%)であった。
- 3) 2)で「はい」と回答した者のうち、子どもがその困難によって動揺したり、悩んだりしているかについて、「まったくない」が 197 人(39.6%)、「すこしだけ」が 270 人(54.3%)、「かなり」が 24 人(4.8%)、「大いに」が 6 人(1.2%)であった。

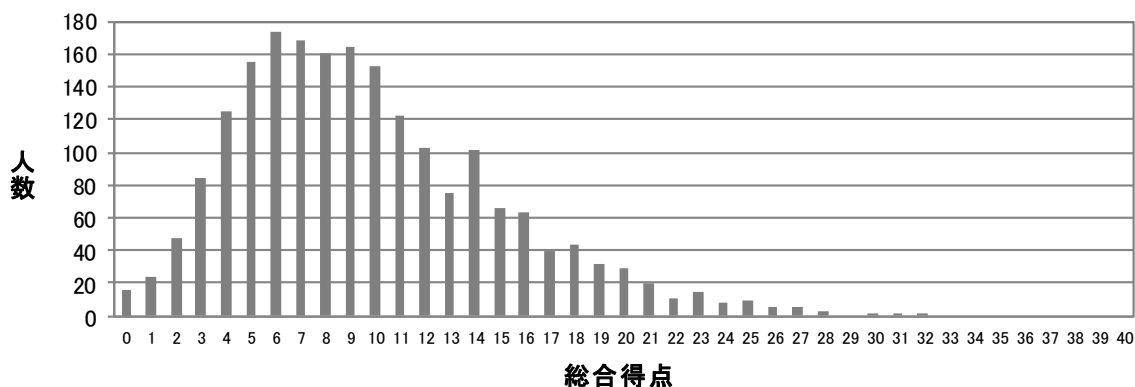


図 1 4歳～6歳の子どもの情緒と行動(SDQ): 全体

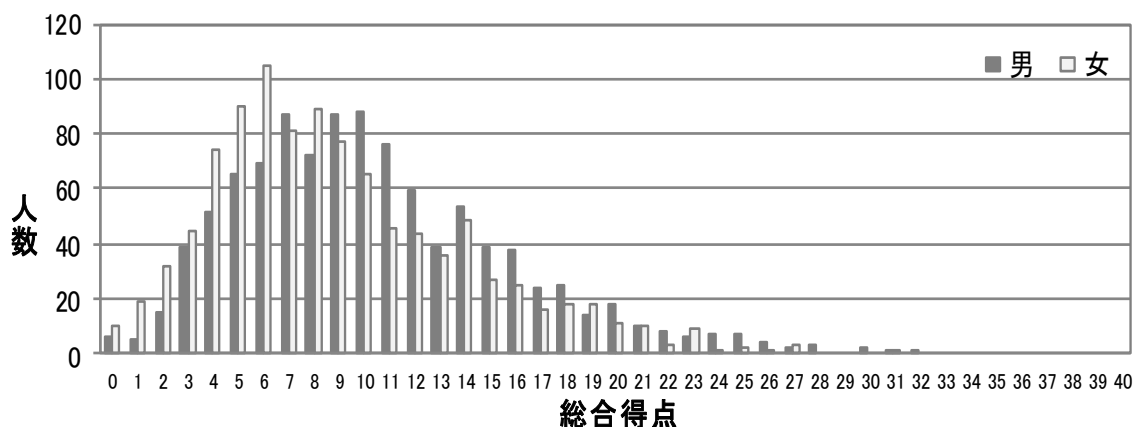


図 2 4歳～6歳の子どもの情緒と行動(SDQ): 男女別

※1 16 点: 先行研究で示されている基準

※2 20 点: 福島県立医科大学の医師等が支援を行うために設けた基準

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（小学生用）」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査（小学生用）の対象 11,167 人のうち、有効回答は 3,987 人（35.7%）であった。内訳は、男児 2,054 人（51.5%）、女児 1,933 人（48.5%）で、平均年齢は 9.4 歳であった。

現住所は、県内 2,932 人（73.5%）、県外 1,055 人（26.5%）であった。

1. お子様の健康状態について（問 1）

健康状態は、「きわめて良好」が 882 人（23.0%）、「良好」が 1,680 人（43.9%）、「普通」が 1,208 人（31.6%）、「悪い」が 50 人（1.3%）、「きわめて悪い」が 8 人（0.2%）であった。

2. お子様の現在の身長と体重について（問 2）

男児の身長・体重の平均は、1 年生 121.8cm・24.0kg、2 年生 127.6cm・27.5kg、3 年生 132.8cm・30.4kg、4 年生 138.4cm・35.4kg、5 年生 144.1cm・40.2kg、6 年生 152.5cm・45.0kg であった。女児の身長・体重の平均は、1 年生 121.1cm・23.5kg、2 年生 125.9cm・26.6kg、3 年生 132.0cm・29.4kg、4 年生 139.3cm・34.9kg、5 年生 145.4cm・38.8kg、6 年生 150.8cm・44.0kg であった。

3. 治療中の病気について（問 3）

治療中の病気等は、「ない」が 2,492 人（63.2%）、「ある」が 1,450 人（36.8%）であった。

「ある」と回答した者の内訳は、表 10 のとおりであった。

表 10 治療中の病気の内訳

病名	人数
アレルギー性鼻炎	538
歯科疾患	331
アトピー性皮膚炎	230
喘息	195
風邪	160
副鼻腔炎・蓄膿症	93
喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎以外のアレルギー性疾患	86
ADHD	60
インフルエンザ	59
中耳炎	45
てんかん	26
その他	189

（複数回答）

4. 入院の経験について（問 4）

入院の経験は、「ない」が 2,528 人(63.9%)、「ある」が 1,427 人(36.1%)であった。

「ある」と回答した者の内訳(複数回答)は表 11 のとおりであった。

入院の経験が「ある」と回答した者のうち、この 1 年以内に病気により入院しなかった(「いずれもなし」と回答した)者は 1,340 人であり、この 1 年以内に入院した者の内訳(複数回答)は表 12 のとおりであった。

表 11 入院時の病気の内訳

病名	人数
肺炎	406
喘息	190
気管支炎	182
マイコプラズマ肺炎	178
胃腸炎	169
RS ウイルス感染症	168
熱性けいれん	135
インフルエンザ	120
ロタウイルス感染症	115
風邪	101
鼠径ヘルニア	85
川崎病	39
その他	326

(複数回答)

表 12 この 1 年以内の入院時の病気の内訳

病名	人数
マイコプラズマ肺炎	12
風邪	10
胃腸炎	9
肺炎	8
インフルエンザ	6
喘息	5
気管支炎	3
熱性けいれん	3
鼠径ヘルニア	3
RS ウイルス感染症	1
ロタウイルス感染症	1
川崎病	1
その他	35

(複数回答)

5. 検査の経験について（問 5）

1) CT 検査の経験は、「ない」が 3,284 人(83.2%)、「ある」が 479 人(12.1%)、「わからない」が 184 人(4.7%)であった。

2) X 線を使った検査(CT、レントゲンは除く)の経験は、「ない」が 3,466 人(88.9%)、「ある」が 220 人(5.6%)、「わからない」が 211 人(5.4%)であった。

「ある」と回答した者のうち、「透視検査」が 147 人、「血管造影検査」が 36 人、「核医学検査」が 14 人であった。

6. 病気の治療のための放射線療法の経験について（問 6）

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が 3,824 人(97.3%)、「ある」が 6 人(0.2%)、「わからない」が 102 人(2.6%)であった。

7. 睡眠時間について（問 7）

就寝時刻は、平均で午後 9 時 31 分であり、起床時刻は午前 6 時 27 分であった。睡眠時間は、平均で 8 時間 54 分であった。

8. 普段の運動量について（問8）

運動（普段、体育の授業以外に運動をどのくらいしていますか）は、「ほとんど毎日している」が294人（7.9%）、「週に2～4回している」が1,033人（27.7%）、「週1回程度している」が940人（25.2%）、「ほとんどしていない」が1,467人（39.3%）であった。

9. 食生活について（問9）

食品（飲料）および朝食、外食、調理された食品を食べる（飲む）頻度は、表13（次頁）のとおりであった。

表 13 小学生の食品(飲料)および朝食、外食、調理された食品を食べる(飲む)頻度
(上段人数/下段割合)

	食べ ない	週に 1回未満	週に 1-2回	週に 3-4回	週に 5-6回	毎日	計	
朝食	25 (0.6%)	10 (0.3%)	35 (0.9%)	72 (1.8%)	146 (3.7%)	3,683 (92.7%)	3,971	
外食(給食はのぞく)	324 (8.2%)	2,581 (65.4%)	857 (21.7%)	27 (0.7%)	3 (0.1%)	153 (3.9%)	3,945	
調理された食品	244 (6.2%)	1,704 (43.3%)	1,548 (39.3%)	383 (9.7%)	38 (1.0%)	20 (0.5%)	3,937	
ごはん	2 (0.1%)	5 (0.1%)	24 (0.6%)	137 (3.4%)	441 (11.1%)	3,366 (84.7%)	3,975	
パン	58 (1.5%)	707 (17.9%)	1,531 (38.8%)	809 (20.5%)	341 (8.6%)	504 (12.8%)	3,950	
魚料理	43 (1.1%)	457 (11.6%)	2,102 (53.2%)	1,155 (29.3%)	130 (3.3%)	61 (1.5%)	3,948	
肉類	とり肉	26 (0.7%)	627 (15.8%)	2,324 (58.7%)	878 (22.2%)	77 (1.9%)	24 (0.6%)	3,956
	牛肉、豚肉	20 (0.5%)	226 (5.7%)	1,756 (44.3%)	1,650 (41.7%)	252 (6.4%)	57 (1.4%)	3,961
	ハム、ソーセージ	56 (1.4%)	800 (20.4%)	1,792 (45.6%)	1,011 (25.7%)	197 (5.0%)	74 (1.9%)	3,930
野菜	緑の葉の野菜	107 (2.7%)	431 (10.9%)	1,460 (36.8%)	1,186 (29.9%)	423 (10.7%)	356 (9.0%)	3,963
	赤や黄色の野菜	65 (1.6%)	391 (9.9%)	1,300 (32.8%)	1,353 (34.1%)	473 (11.9%)	383 (9.7%)	3,965
	淡色野菜	56 (1.4%)	239 (6.0%)	983 (24.9%)	1,549 (39.2%)	643 (16.3%)	482 (12.2%)	3,952
	野菜ジュース	1,793 (45.3%)	1,163 (29.4%)	517 (13.1%)	263 (6.6%)	90 (2.3%)	132 (3.3%)	3,958
果物	くだもの	100 (2.5%)	631 (15.9%)	1,158 (29.2%)	1,025 (25.9%)	465 (11.7%)	583 (14.7%)	3,962
	果物ジュース	1,068 (27.1%)	1,308 (33.1%)	846 (21.4%)	405 (10.3%)	156 (4.0%)	163 (4.1%)	3,946
大豆	納豆	406 (10.2%)	1,121 (28.3%)	1,533 (38.6%)	620 (15.6%)	182 (4.6%)	105 (2.6%)	3,967
	味噌汁	60 (1.5%)	192 (4.8%)	516 (13.0%)	846 (21.3%)	775 (19.5%)	1,577 (39.8%)	3,966
	とうふ料理	136 (3.4%)	780 (19.7%)	1,657 (41.8%)	953 (24.0%)	286 (7.2%)	154 (3.9%)	3,966
	煮豆料理	1,600 (40.4%)	1,712 (43.3%)	496 (12.5%)	110 (2.8%)	25 (0.6%)	13 (0.3%)	3,956
牛乳	135 (3.4%)	144 (3.6%)	226 (5.7%)	310 (7.9%)	787 (19.9%)	2,347 (59.4%)	3,949	
豆乳	3,220 (81.5%)	533 (13.5%)	116 (2.9%)	42 (1.1%)	19 (0.5%)	21 (0.5%)	3,951	
ヨーグルト、乳酸菌飲料	126 (3.2%)	486 (12.3%)	1,065 (26.8%)	954 (24.0%)	487 (12.3%)	849 (21.4%)	3,967	

※ 各項目に欠損値があるため、合計は一致しない場合がある。

10. 子どもの情緒と行動について（問 10）

- 1) 子どもの情緒と行動(子どもの情緒と行動に関するアンケート(SDQ 日本語版))は、有効回答 3,974 人のうち、16 点^{※1}以上が 583 人(14.7%)、20 点^{※2}以上が 226 人(5.7%)であった(図 3)。平均総合得点は 9.4 点であった。
 男児では有効回答 2,044 人のうち、16 点以上が 346 人(16.9%)、20 点以上が 146 人(7.1%)であり、女児では有効回答 1,930 人のうち、16 点以上が 237 人(12.3%)、20 点以上が 80 人(4.1%)であった(図 4)。平均総合得点は男児では 10.0 点、女児では 8.8 点であった。
- 2) 子どもが情緒、集中力、行動、他人との付き合いのいずれか 1 つ以上の領域において困難を抱えているかについて、「いいえ」が 2,750 人(69.3%)、「はい(ささいな困難)」が 988 人(24.9%)、「はい(明らかな困難)」が 183 人(4.6%)、「はい(深刻な困難)」が 45 人(1.1%)であった。
- 3) 2)で「はい」と回答した者のうち、子どもがその困難によって動揺したり、悩んだりしているかについて、「まったくない」が 277 人(23.7%)、「すこしだけ」が 785 人(67.1%)、「かなり」が 87 人(7.4%)、「大いに」が 21 人(1.8%)であった。

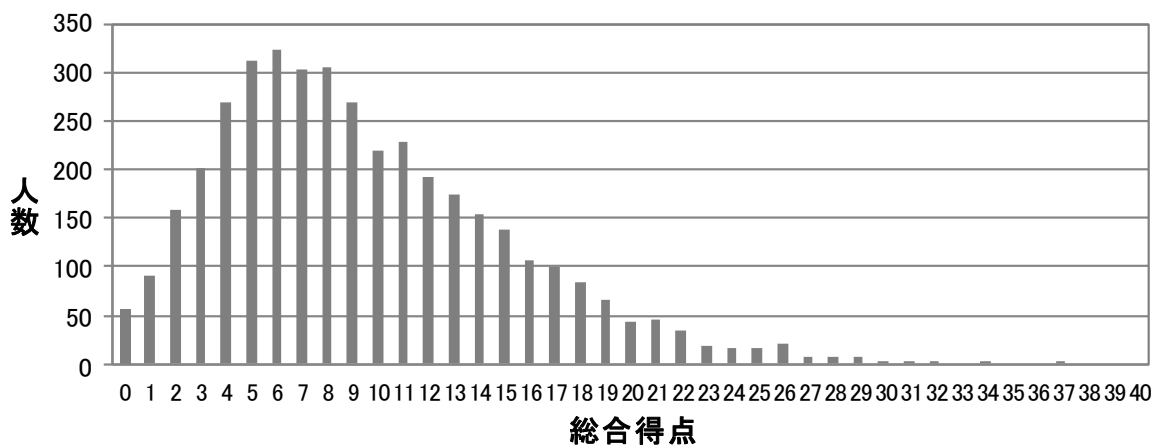


図 3 小学生の子ども情緒と行動(SDQ) : 全体

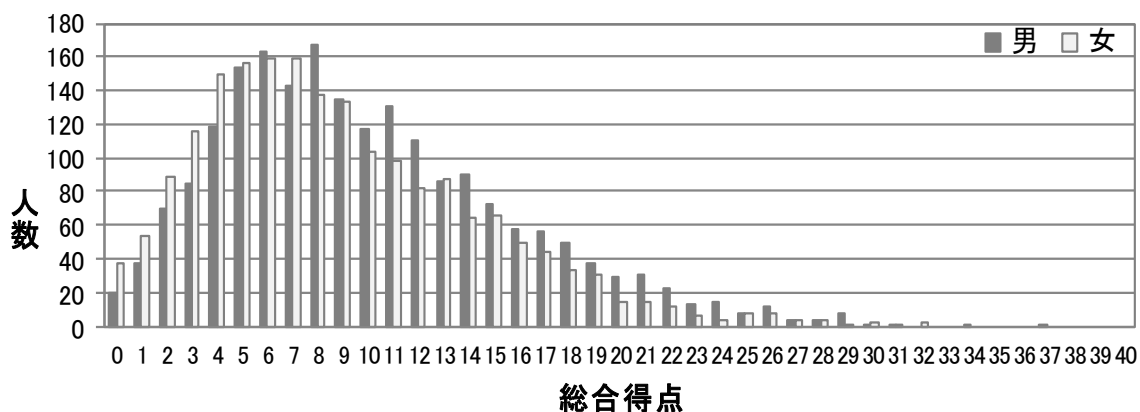


図 4 小学生の子ども情緒と行動(SDQ) : 男女別

※1 16 点: 先行研究で示されている基準

※2 20点:福島県立医科大学の医師等が支援を行うために設けた基準

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（中学生用）」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査（中学生用）の対象 6,013 人のうち、有効回答は 1,820 人（30.3%）であった。内訳は、男子 890 人（48.9%）、女子 930 人（51.1%）で、平均年齢は 13.9 歳であった。

現住所は、県内 1,425 人（78.3%）、県外 395 人（21.7%）であった。

1. 健康状態について（問 1）

健康状態は、「きわめて良好」が 341 人（30.3%）、「良好」が 344 人（30.6%）、「普通」が 406 人（36.1%）、「悪い」が 30 人（2.7%）、「きわめて悪い」が 3 人（0.3%）であった。

2. 現在の身長と体重について（問 2）

男子の身長・体重の平均は、1 年生 159.4cm・50.7kg、2 年生 165.0cm・56.0kg、3 年生 167.3cm・60.3kg であった。女子の身長・体重の平均は、1 年生 154.1cm・46.3kg、2 年生 155.9cm・49.7kg、3 年生 156.9cm・50.4kg であった。

3. 睡眠について（問 3）

- 1) 睡眠時間は、平均で 7 時間 8 分であった。
- 2) 睡眠満足度は、「十分だと思う」が 504 人（44.2%）、「やや足りない」が 520 人（45.7%）、「足りない」が 115 人（10.1%）であった。

4. 普段の運動量について（問 4）

運動（普段、体育の授業以外に運動をどのくらいしていますか）は、「ほとんど毎日している」が 538 人（47.1%）、「週に 2～4 回している」が 159 人（13.9%）、「週 1 回程度している」が 91 人（8.0%）、「ほとんどしていない」が 354 人（31.0%）であった。

5. 食生活について（問 5）

食品（飲料）および朝食、外食、調理された食品を食べる（飲む）頻度は、表 14（次頁）のとおりであった。

表 14 中学生の食品(飲料)および朝食、外食、調理された食品を食べる(飲む)頻度
(上段人数/下段割合)

	食べ ない	週に 1回未満	週に 1-2回	週に 3-4回	週に 5-6回	毎日	計	
朝食	26 (2.3%)	12 (1.1%)	20 (1.8%)	24 (2.1%)	62 (5.4%)	994 (87.3%)	1,138	
外食(給食はのぞく)	183 (16.2%)	737 (65.2%)	172 (15.2%)	4 (0.4%)	0 (0.0%)	34 (3.0%)	1,130	
調理された食品	69 (6.1%)	445 (39.6%)	459 (40.8%)	108 (9.6%)	26 (2.3%)	18 (1.6%)	1,125	
ごはん	1 (0.1%)	3 (0.3%)	7 (0.6%)	44 (3.9%)	163 (14.3%)	920 (80.8%)	1,138	
パン	32 (2.8%)	243 (21.5%)	427 (37.8%)	194 (17.2%)	85 (7.5%)	150 (13.3%)	1,131	
魚料理	20 (1.8%)	151 (13.4%)	572 (50.7%)	321 (28.4%)	47 (4.2%)	18 (1.6%)	1,129	
肉類	とり肉	13 (1.1%)	180 (15.8%)	623 (54.8%)	271 (23.9%)	40 (3.5%)	9 (0.8%)	1,136
	牛肉、豚肉	11 (1.0%)	72 (6.3%)	463 (40.8%)	466 (41.1%)	92 (8.1%)	30 (2.6%)	1,134
	ハム、ソーセージ	36 (3.2%)	251 (22.2%)	475 (42.0%)	273 (24.2%)	70 (6.2%)	25 (2.2%)	1,130
野菜	緑の葉の野菜	35 (3.1%)	107 (9.4%)	345 (30.4%)	334 (29.4%)	140 (12.3%)	174 (15.3%)	1,135
	赤や黄色の野菜	24 (2.1%)	113 (10.0%)	329 (29.0%)	347 (30.6%)	167 (14.7%)	155 (13.7%)	1,135
	淡色野菜	22 (1.9%)	63 (5.6%)	247 (21.8%)	400 (35.3%)	186 (16.4%)	216 (19.0%)	1,134
	野菜ジュース	499 (44.0%)	332 (29.3%)	141 (12.4%)	76 (6.7%)	34 (3.0%)	53 (4.7%)	1,135
果物	くだもの	47 (4.1%)	230 (20.3%)	309 (27.2%)	262 (23.1%)	135 (11.9%)	151 (13.3%)	1,134
	果物ジュース	303 (26.8%)	346 (30.6%)	221 (19.6%)	127 (11.2%)	72 (6.4%)	61 (5.4%)	1,130
大豆	納豆	208 (18.4%)	377 (33.3%)	320 (28.3%)	141 (12.5%)	53 (4.7%)	33 (2.9%)	1,132
	味噌汁	27 (2.4%)	80 (7.0%)	128 (11.2%)	205 (18.0%)	213 (18.7%)	485 (42.6%)	1,138
	とうふ料理	50 (4.4%)	241 (21.2%)	402 (35.4%)	256 (22.6%)	106 (9.3%)	80 (7.0%)	1,135
	煮豆料理	468 (41.4%)	449 (39.7%)	151 (13.4%)	50 (4.4%)	7 (0.6%)	5 (0.4%)	1,130
牛乳	72 (6.4%)	50 (4.4%)	64 (5.6%)	87 (7.7%)	250 (22.1%)	610 (53.8%)	1,133	
豆乳	878 (77.6%)	158 (14.0%)	36 (3.2%)	33 (2.9%)	12 (1.1%)	15 (1.3%)	1,132	
ヨーグルト、乳酸菌飲料	67 (5.9%)	169 (14.9%)	299 (26.3%)	242 (21.3%)	115 (10.1%)	244 (21.5%)	1,136	

※ 各項目に欠損値があるため、合計は一致しない場合がある。

6. 震災で経験したことについて ※ 複数回答（問6）

震災にて経験したことは、「地震」が1,076人、「津波」が155人、「原子力発電所事故」が1,027人、「いずれもなし」が2人であった。

7. 治療中の病気について（問7）

治療中の病気等は、「ない」が1,258人(70.8%)、「ある」が519人(29.2%)であった。

「ある」と回答した者の内訳は、表15のとおりであった。

表15 治療中の病気の内訳

病名	人数
アレルギー性鼻炎	176
歯科疾患	123
アトピー性皮膚炎	75
喘息	50
喘息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎以外のアレルギー性疾患	32
副鼻腔炎・蓄膿症	26
ADHD	23
風邪	20
インフルエンザ	16
てんかん	12
中耳炎	9
その他	132

（複数回答）

8. 入院の経験について（問 8）

入院の経験は、「ない」が 1,140 人(64.2%)、「ある」が 637 人(35.8%)であった。

「ある」と回答した者の内訳(複数回答)は表 16 のとおりであった。

入院の経験が「ある」と回答した者のうち、この 1 年以内に病気により入院しなかった(「いずれもなし」と回答した)者は 604 人であり、この 1 年以内に入院した者の内訳(複数回答)は表 17 のとおりであった。

表 16 入院時の病気の内訳

病名	人数
肺炎	187
喘息	113
インフルエンザ	83
マイコプラズマ肺炎	79
気管支炎	79
胃腸炎	78
風邪	56
熱性けいれん	51
ロタウイルス感染症	31
鼠径ヘルニア	31
川崎病	21
RS ウイルス感染症	20
その他	149

(複数回答)

表 17 この 1 年以内の入院時の病気の内訳

病名	人数
肺炎	6
風邪	5
マイコプラズマ肺炎	3
インフルエンザ	3
喘息	2
胃腸炎	2
気管支炎	1
ロタウイルス感染症	1
熱性けいれん	1
RS ウイルス感染症	0
川崎病	0
鼠径ヘルニア	0
その他	14

(複数回答)

9. 検査の経験について（問 9）

1) CT 検査の経験は、「ない」が 1,420 人(80.3%)、「ある」が 282 人(15.9%)、「わからない」が 67 人(3.8%)であった。

2) X 線を使った検査の経験(CT、レントゲンを除く)は、「ない」が 1,556 人(88.9%)、「ある」が 113 人(6.5%)、「わからない」が 81 人(4.6%)であった。

「ある」と回答した者のうち、「透視検査」が 80 人、「血管造影検査」が 25 人、「核医学検査」が 3 人であった。

10. 病気の治療のための放射線療法の経験について（問 10）

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が 1,723 人(97.7%)、「ある」が 5 人(0.3%)、「わからない」が 36 人(2.0%)であった。

11. 子どもの情緒と行動について（問 11）

- 1) 子どもの情緒と行動(子どもの情緒と行動に関するアンケート(SDQ 日本語版))は、有効回答 1,776 人のうち、16 点^{※1}以上が 234 人(13.2%)、20 点^{※2}以上が 112 人(6.3%)であった(図 5)。平均総合得点は 8.7 点であった。
男子では有効回答 873 人のうち、16 点以上が 139 人(15.9%)、20 点以上が 62 人(7.1%)であり、女子では有効回答 903 人のうち、16 点以上が 95 人(10.5%)、20 点以上が 50 人(5.5%)であった(図 6)。平均総合得点は男子では 9.3 点、女子では 8.2 点であった。
- 2) 子どもが情緒、集中力、行動、他人との付き合いのいずれか 1 つ以上の領域において困難を抱えているかについて、「いいえ」が 1,231 人(69.5%)、「はい(ささいな困難)」が 384 人(21.7%)、「はい(明らかな困難)」が 100 人(5.6%)、「はい(深刻な困難)」が 55 人(3.1%)であった。
- 3) 2)で「はい」と回答した者のうち、子どもがその困難によって動揺したり、悩んだりしているかについて、「まったくない」が 81 人(15.6%)、「すこしだけ」が 347 人(66.7%)、「かなり」が 66 人(12.7%)、「大いに」が 26 人(5.0%)であった。

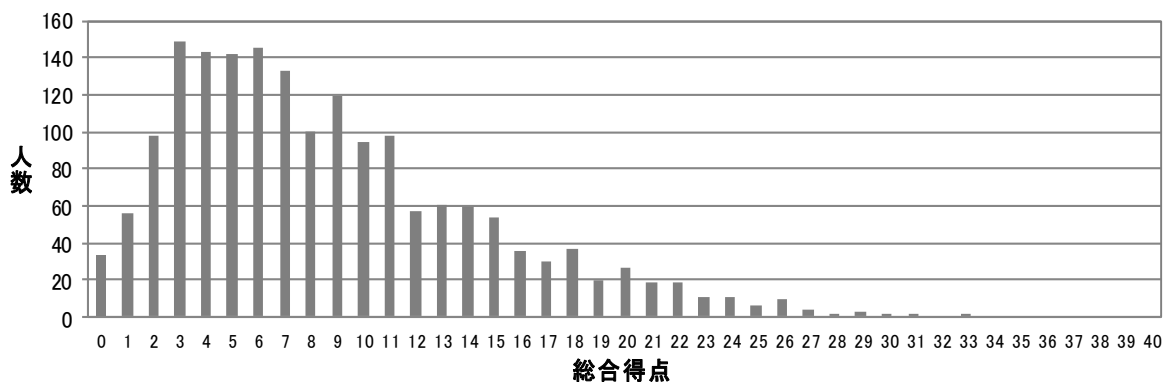


図 5 中学生の子どもの情緒と行動(SDQ):全体

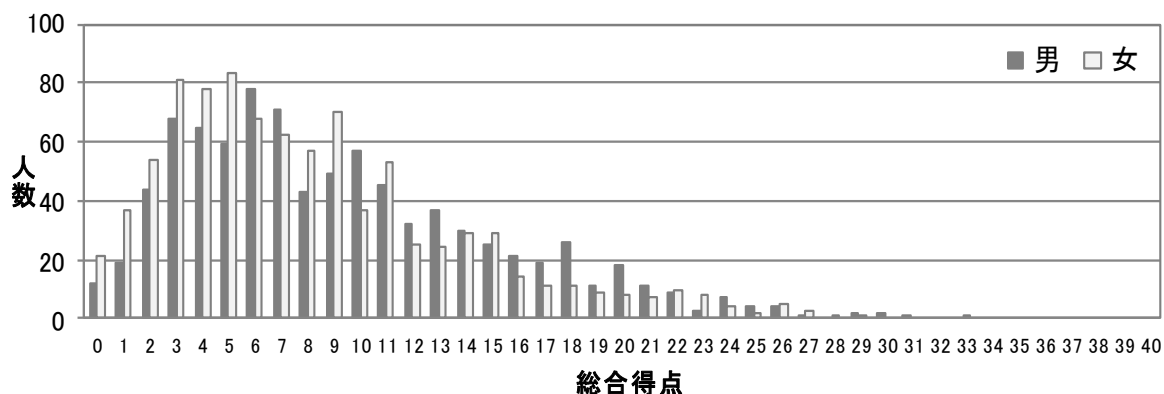


図 6 中学生の子どもの情緒と行動(SDQ):男女別

※1 16 点:先行研究で示されている基準

※2 20 点:福島県立医科大学の医師等が支援を行うために設けた基準

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（一般用）」結果

こころの健康度・生活習慣に関する調査（一般用）の対象 185,859 人のうち、有効回答は 46,377 人（25.0%）であった。内訳は、男性 20,401 人（44.0%）、女性 25,976 人（56.0%）で、平均年齢は 59.2 歳であった。

現住所は、県内 38,612 人（83.3%）、県外 7,765 人（16.7%）であった。

1. 健康状態について（問 1）

健康状態は、「きわめて良好」が 1,501 人（3.8%）、「良好」が 6,408 人（16.1%）、「普通」が 24,437 人（61.6%）、「悪い」が 6,714 人（16.9%）、「きわめて悪い」が 633 人（1.6%）であった。

2. 身長と体重について（問 2）

1) 男性の身長・体重の平均は、166.0cm・66.4kg であり、BMI の平均は、24.1 kg/m²であった。男性の BMI 18.5 kg/m²未満は 734 人（3.9%）、18.5 kg/m²以上 25.0 kg/m²未満は 11,524 人（60.7%）、25.0 kg/m²以上 27.5 kg/m²未満は 3,983 人（21.0%）、27.5 kg/m²以上 30.0 kg/m²未満は 1,732 人（9.1%）、30.0 kg/m²以上は 1,001 人（5.3%）であった。

女性の身長・体重の平均は、153.4cm・54.3kg であり、BMI の平均は、23.1 kg/m²であった。女性の BMI 18.5 kg/m²未満は 1,916 人（8.1%）、18.5 kg/m²以上 25.0 kg/m²未満は 15,499 人（65.7%）、25.0 kg/m²以上 27.5 kg/m²未満は 3,378 人（14.3%）、27.5 kg/m²以上 30.0 kg/m²未満は 1,625 人（6.9%）、30.0 kg/m²以上は 1,188 人（5.0%）であった。

2) 体重変化（1 年前と比べて体重に変化はありましたか）は、「3kg 以上増えた」が 7,751 人（17.6%）、「ほぼ変わらない（±3kg 以内）」が 32,024 人（72.7%）、「3kg 以上減った」が 4,274 人（9.7%）であった。

男性の体重変化は、「3kg 以上増えた」が 3,223 人（16.6%）、「ほぼ変わらない（±3kg 以内）」が 14,321 人（73.6%）、「3kg 以上減った」が 1,908 人（9.8%）であった。

女性の体重変化は、「3kg 以上増えた」が 4,528 人（18.4%）、「ほぼ変わらない（±3kg 以内）」が 17,703 人（72.0%）、「3kg 以上減った」が 2,366 人（9.6%）であった。

3. 既往歴について（問3）

既往歴（今まで、次のような病気にかかっていると医師に診断されたことがありますか）は、表 18 のとおりであった。

この 1 年以内に医師に診断されたものの内訳（複数回答）は表 19（次頁）のとおりであり、「いずれもなし」と回答した者は 6,172 人であった。

表 18 一般の傷病別の診断経験および通院状況（上段人数／下段割合）

傷病名	有効 回答数	診断された経験		現在の通院状況	
		ない	ある	はい	いいえ
高血圧 （または、血圧が高い）	45,078	25,684 (57.0%)	19,394 (43.0%)	17,066 (90.2%)	1,859 (9.8%)
糖尿病 （または、血糖が高い）	43,960	37,762 (85.9%)	6,198 (14.1%)	5,152 (86.7%)	788 (13.3%)
高脂血症 （または、コレステロールや中性脂肪が高い）	44,207	28,941 (65.5%)	15,266 (34.5%)	10,152 (69.2%)	4,524 (30.8%)
精神疾患	44,223	39,099 (88.4%)	5,124 (11.6%)	3,669 (75.6%)	1,187(※) (24.4%)
がん （白血病やリンパ腫を含む）	44,453	41,598 (93.6%)	2,855 (6.4%)		
脳卒中	44,612	42,376 (95.0%)	2,236 (5.0%)		
（脳卒中の種類）複数回答					
脳こうそく			1,514		
脳出血			260		
くも膜下出血			216		
その他			25		
わからない			195		
心臓病	45,023	38,912 (86.4%)	6,111 (13.6%)		
（心臓病の種類）複数回答					
心筋梗塞			696		
狭心症			1,637		
不整脈			3,078		
その他			882		
わからない			450		
慢性肝炎	44,637	43,700 (97.9%)	937 (2.1%)		
（慢性肝炎の種類）複数回答					
B 型肝炎			280		
C 型肝炎			279		
その他			218		
肺炎 （この 10 年くらいの間で）	44,702	43,138 (96.5%)	1,564 (3.5%)		

(※)うち、589 人は、「現在は改善しているため、通院はしていない」

表 18(続き) 一般の傷病別の診断経験および通院状況(上段人数/下段割合)

傷病名	有効 回答数	診断された経験	
		ない	ある
50歳以後の骨折 (調査票記入時点で50歳以上の回答を集計)	31,693	27,907 (88.1%)	3,786 (11.9%)
甲状腺疾患	44,501	42,817 (96.2%)	1,684 (3.8%)
(甲状腺疾患種類)複数回答			
甲状腺機能亢進症(バセドウ病)			412
甲状腺機能低下症			580
その他			544

表 19 この1年以内に医師に診断された病気

病名	人数
高血圧	12,985
糖尿病	4,054
高脂血症	5,875
精神疾患	2,246
がん	1,322
脳卒中	609
心臓病	3,085
慢性肝炎	467
肺炎	657
骨折(※)	1,532
甲状腺疾患	907

(複数回答)

(※)調査票記入時点で50歳以上の回答を集計

4. 検査の経験について(問4)

- 1) CT検査の経験は、「ない」が22,935人(51.1%)、「ある」が20,291人(45.2%)、「わからない」が1,686人(3.8%)であった。
- 2) 透視検査の経験は、「ない」が18,818人(42.4%)、「ある」が24,647人(55.5%)、「わからない」が958人(2.2%)であった。
- 3) 血管造影検査、核医学検査、PET検査のいずれかの経験は、「ない」が36,372人(81.9%)、「ある」が5,936人(13.4%)、「わからない」が2,126人(4.8%)であった。
「ある」と回答した者のうち、「血管造影検査」が4,009人、「核医学検査」が484人、「PET検査」が1,458人であった。

5. 病気の治療のための放射線療法の経験について(問5)

病気の治療のための放射線療法の経験は、「ない」が42,740人(95.3%)、「ある」が1,109人(2.5%)、「わからない」が1,020人(2.3%)であった。

6. 日常生活機能について（問6）

- 1) 日常生活機能(それぞれの行為について、ひとりでできるかどうかをお答えください)は、表 20 のとおりであった。

表 20 一般の日常生活機能(人数(割合))

日常生活での行為	ひとりでできる	ひとりではできない	有効回答数
1. 介助なしに食事をする(食事のしたくは含まない)	44,992 (98.8%)	558 (1.2%)	45,550
2. 介助なしに衣服の着替えをする	44,543 (98.1%)	871 (1.9%)	45,414
3. 介助なしにトイレで用をたす	44,721 (98.5%)	682 (1.5%)	45,403
4. 日用品の買い物をする	42,780 (94.2%)	2,610 (5.8%)	45,390

- 2) レクリエーション活動(レクリエーション活動(カラオケやゲートボール等)や地域の仕事(お祭り等)へ参加することがありますか)は、「ない、めったにない」が 27,586 人(61.1%)、「ときどき参加する」が 13,359 人(29.6%)、「よく参加する」が 4,206 人(9.3%)であった。

7. 睡眠について（問7）

- 1) 睡眠時間は、平均で 7 時間 5 分であった。
- 2) 睡眠満足度は、「満足している」が 15,371 人(39.7%)、「少し不満」が 17,427 人(45.0%)、「かなり不満」が 4,945 人(12.8%)、「非常に不満か、全く眠れなかった」が 1,020 人(2.6%)であった。
- 3) 睡眠に関する経験(以下の経験が少なくとも週 3 回以上ありましたか)は、表 21 のとおりであった。

表 21 一般の睡眠に関する経験(人数(割合))

	ある	ない	有効回答数
1. 夜、床に入ってから寝つくまでの時間がかかる	16,660 (42.0%)	22,970 (58.0%)	39,630
2. 夜間、睡眠途中で目が覚める	25,689 (64.5%)	14,163 (35.5%)	39,852
3. 希望する起床時刻より早く目覚め、それ以上眠れない	15,778 (40.3%)	23,345 (59.7%)	39,123
4. 総睡眠時間が不足する	13,766 (35.8%)	24,681 (64.2%)	38,447
5. 日中の気分がめいる	10,606 (27.8%)	27,519 (72.2%)	38,125
6. 日中の身体的および精神的な活動が低下する	11,640 (30.2%)	26,923 (69.8%)	38,563
7. 日中の眠気	18,956 (48.5%)	20,094 (51.5%)	39,050

8. 運動について（問8）

運動は、「ほとんど毎日している」が 7,062 人(15.5%)、「週に 2~4 回している」が 10,211 人(22.3%)、「週 1 回程度している」が 7069 人(15.5%)、「ほとんどしていない」が 21,347 人(46.7%)であった。

9. 笑う機会について（問9）

笑う機会（普段の生活で、声を出して笑う機会はどのくらいありますか）は、「ほぼ毎日」が 12,452 人(27.3%)、「週に 1～5 回程度」が 18,648 人(40.8%)、「月に 1～3 回程度」が 8,792 人(19.3%)、「ほとんどない」が 5,772 人(12.6%)であった。

10. 喫煙について（問10）

- 1) 受動喫煙（この 10 年ほどの間に、家庭や職場などで人が吸ったタバコの煙を吸わされることがありましたか）は、「毎日」が 9,293 人(21.2%)、「週 4～5 日程度」が 2,772 人(6.3%)、「ときどき」が 12,564 人(28.7%)、「めったにない」が 19,175 人(43.8%)であった。
- 2) 震災以前の喫煙（平成 23 年 3 月 11 日の震災以前に、タバコを吸っていましたか？）は、「吸っていなかった」が 30,139 人(70.9%)、「吸っていた」が 12,391 人(29.1%)であった。
- 3) 喫煙（タバコ（紙巻きタバコ）を吸いますか。葉巻やパイプは除きます。）は、「吸ったことがない」が 22,920 人(57.4%)、「やめた」が 9,623 人(24.1%)、「吸っている」が 7,402 人(18.5%)であった。
「吸っている」と回答した人のうち、平均 1 日本数は 16.7 本、平均喫煙年数は 28.6 年であった。

11. 飲酒について（問11）

- 1) 震災以前の飲酒は、「飲んでいなかった、またはほとんど飲んでいなかった（月に 1 回未満）」が 22,845 人(53.3%)、「飲んでいて（月に 1 回以上）」が 20,049 人(46.7%)であった。
- 2) 飲酒（現在、お酒（アルコール飲料）を飲みますか）は、「飲まない、または、ほとんど飲まない（月に 1 回未満）」が 22,248 人(52.6%)、「やめた」が 1,393 人(3.3%)、「飲む（月に 1 回以上）」が 18,684 人(44.1%)であった。
- 3) 「飲む（月に 1 回以上）」と回答した人のうち、お酒を飲む頻度は、週に 0 回が 1 人(0.0%)、1 回が 3,146 人(17.5%)、2 回が 1,766 人(9.8%)、3 回が 1,901 人(10.6%)、4 回が 1,072 人(6.0%)、5 回が 1,994 人(11.1%)、6 回が 2,141 人(11.9%)、7 回以上が 5,936 人(33.1%)であった。
- 4) 1 日あたりの平均飲酒量は、日本酒換算で約 1.0 合であった。飲酒（問 11 の 2）の有効回答者 42,325 人のうち 3,366 人(8.0%)が多量飲酒者（日本酒 2 合以上）であった。
- 5) 飲酒に関する経験（過去 30 日間を振り返って、次のことについてお尋ねします（CAGE: アルコール依存症に関する尺度））の各項目への回答状況は、表 22（次頁）のとおりであった。「はい」という回答を 1 点とし、4 項目の合計点を算出した。
年代別の結果は、表 23（次頁）のとおりで、全体では 0 点が 10,295 人(60.5%)、1 点が 3,932 人(23.1%)、2 点が 1,651 人(9.7%)、3 点が 835 人(4.9%)、4 点が 298 人(1.8%)であった。
男性では、0 点が 6,030 人(54.0%)、1 点が 2,944 人(26.4%)、2 点が 1,277 人(11.4%)、3 点が 678 人(6.1%)、4 点が 240 人(2.1%)であり、女性では、0 点が 4,265 人(73.0%)、1 点が 988 人(16.9%)、2 点が 374 人(6.4%)、3 点が 157 人(2.7%)、4 点が 58 人(1.0%)であった。

表 22 飲酒に関する経験(上段人数/下段割合)

		いいえ	はい	有効 回答数
1	飲酒量を減らさなければならぬと感じたことがありますか？	11,695 (68.1%)	5,470 (31.9%)	17,165
2	他人があなたの飲酒を批難するので気にさわったことがありますか？	15,345 (89.9%)	1,720 (10.1%)	17,065
3	自分の飲酒について悪いとか申し訳ないと感じたことがありますか？	14,810 (86.6%)	2,293 (13.4%)	17,103
4	神経を落ち着かせたり、二日酔いを治すために、「迎え酒」をしたことがありますか？	15,517 (90.7%)	1,586 (9.3%)	17,103

※回答数が異なるため、合計が一致しない場合がある。

表 23 年代別の飲酒に関する経験(上段人数/下段割合)

	0点	1点	2点	3点	4点	有効 回答数
20代	623 (74.7%)	122 (14.6%)	57 (6.8%)	27 (3.2%)	5 (0.6%)	834
30代	1,310 (65.0%)	389 (19.3%)	178 (8.8%)	96 (4.8%)	41 (2.0%)	2,014
40代	1,374 (61.9%)	485 (21.8%)	221 (10.0%)	95 (4.3%)	45 (2.0%)	2,220
50代	1,778 (58.0%)	778 (25.4%)	293 (9.6%)	158 (5.1%)	61 (2.0%)	3,068
60代	2,827 (57.6%)	1,188 (24.2%)	527 (10.7%)	276 (5.6%)	94 (1.9%)	4,912
70代以上	2,383 (60.1%)	970 (24.5%)	375 (9.5%)	183 (4.6%)	52 (1.3%)	3,963
全体	10,295 (60.5%)	3,932 (23.1%)	1,651 (9.7%)	835 (4.9%)	298 (1.8%)	17,011

12. 食生活について (問 12)

食品(飲料)および朝食、外食、調理された食品を食べる(飲む)頻度は、表 24(次頁)のとおりであった。

表 24 一般の食品(飲料)および朝食、外食、調理された食品を食べる(飲む)頻度
(上段人数/下段割合)

	食べ ない	週に 1回未満	週に 1-2回	週に 3-4回	週に 5-6回	毎日	計	
朝食	2,001 (4.4%)	506 (1.1%)	1,116 (2.5%)	1,453 (3.2%)	1,752 (3.9%)	38,175 (84.8%)	45,003	
外食	12,363 (29.6%)	18,319 (43.8%)	6,787 (16.2%)	1,502 (3.6%)	558 (1.3%)	2,270 (5.4%)	41,799	
調理された食品	6,079 (14.3%)	13,599 (31.9%)	12,721 (29.8%)	6,064 (14.2%)	1,888 (4.4%)	2,274 (5.3%)	42,625	
ごはん	386 (0.9%)	302 (0.7%)	811 (1.8%)	2,379 (5.3%)	3,964 (8.8%)	37,248 (82.6%)	45,090	
パン	4,728 (11.3%)	12,697 (30.3%)	10,708 (25.6%)	5,086 (12.1%)	2,105 (5.0%)	6,541 (15.6%)	41,865	
魚料理	723 (1.6%)	4,804 (10.9%)	14,389 (32.7%)	14,580 (33.1%)	4,137 (9.4%)	5,371 (12.2%)	44,004	
肉類	とり肉	2,770 (6.5%)	12,025 (28.0%)	18,391 (42.9%)	7,779 (18.1%)	1,143 (2.7%)	794 (1.9%)	42,902
	牛肉、豚肉	1,613 (3.7%)	7,813 (17.8%)	18,661 (42.5%)	12,597 (28.7%)	2,117 (4.8%)	1,121 (2.6%)	43,922
	ハム、ソーセージ	4,577 (10.7%)	15,078 (35.2%)	14,513 (33.8%)	6,115 (14.3%)	1,381 (3.2%)	1,232 (2.9%)	42,896
野菜	緑の葉の野菜	776 (1.7%)	4,118 (9.2%)	10,425 (23.3%)	12,188 (27.2%)	6,490 (14.5%)	10,760 (24.0%)	44,757
	赤や黄色の野菜	781 (1.8%)	5,095 (11.4%)	11,825 (26.5%)	12,625 (28.3%)	6,381 (14.3%)	7,868 (17.7%)	44,575
	淡色野菜	507 (1.1%)	2,688 (6.0%)	8,715 (19.6%)	13,568 (30.5%)	8,286 (18.6%)	10,759 (24.2%)	44,523
	野菜ジュース	18,701 (43.2%)	11,445 (26.5%)	5,595 (12.9%)	3,023 (7.0%)	1,340 (3.1%)	3,142 (7.3%)	43,246
果物	くだもの	2,989 (6.7%)	8,239 (18.5%)	9,427 (21.1%)	8,063 (18.1%)	4,591 (10.3%)	11,281 (25.3%)	44,590
	果物ジュース	17,493 (41.1%)	13,064 (30.7%)	6,375 (15.0%)	2,836 (6.7%)	1,078 (2.5%)	1,714 (4.0%)	42,560
大豆	納豆	4,331 (9.7%)	8,280 (18.5%)	11,617 (26.0%)	8,829 (19.8%)	4,201 (9.4%)	7,397 (16.6%)	44,655
	味噌汁	1,388 (3.1%)	2,923 (6.5%)	4,988 (11.1%)	6,920 (15.4%)	6,003 (13.4%)	22,707 (50.5%)	44,929
	とうふ料理	1,400 (3.1%)	7,327 (16.4%)	13,633 (30.6%)	11,832 (26.5%)	5,334 (12.0%)	5,050 (11.3%)	44,576
	煮豆料理	11,757 (27.1%)	17,279 (39.8%)	8,360 (19.2%)	3,464 (8.0%)	1,227 (2.8%)	1,344 (3.1%)	43,431
牛乳	11,826 (27.3%)	7,339 (16.9%)	5,830 (13.4%)	4,729 (10.9%)	2,858 (6.6%)	10,770 (24.8%)	43,352	
豆乳	30,240 (71.1%)	6,500 (15.3%)	2,199 (5.2%)	1,314 (3.1%)	688 (1.6%)	1,574 (3.7%)	42,515	
ヨーグルト、乳酸菌飲料	6,211 (13.9%)	7,667 (17.1%)	7,699 (17.2%)	6,346 (14.2%)	3,994 (8.9%)	12,925 (28.8%)	44,842	

※ 各項目に欠損値があるため、合計は一致しない場合がある。

13. 全般的な精神健康状態について（問 13）

1) 全般的な精神健康状態 (K6) は、有効回答 38,065 人のうち、13 点^{※1} 以上が 3,701 人 (9.7%) であった (図 7)。平均点は 5.2 点であった。

男性では有効回答 16,874 人のうち、13 点以上が 1,413 人 (8.4%) であり、女性では有効回答 21,191 人のうち、13 点以上が 2,288 人 (10.8%) であった (図 8)。男性の平均点は 4.7 点、女性の平均点は 5.6 点であった。

年齢階級別は、表 25 (次頁) のとおりである。

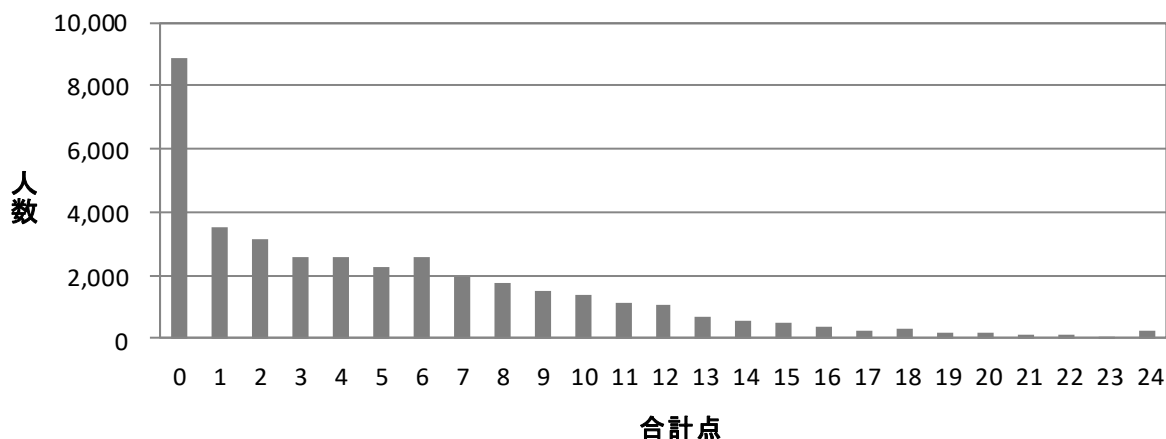


図 7 全般的な精神健康状態 (K6) : 全体

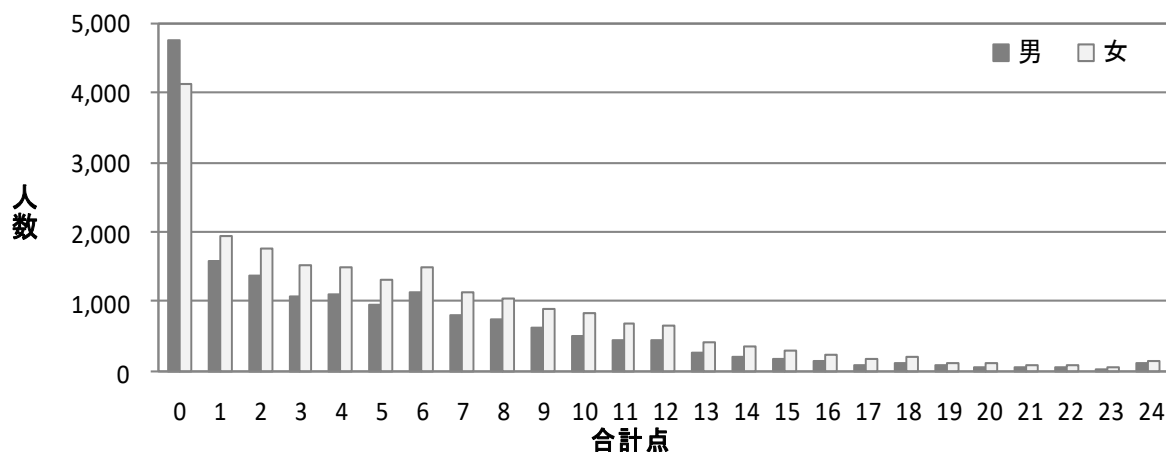


図 8 全般的な精神健康状態 (K6) : 男女別

表 25 全般的な精神健康状態(K6):年齢階級別 (人数(割合))

	13 点以上	有効回答数
10 代	47 (5.2%)	899
20 代	186 (9.2%)	2,030
30 代	408 (9.4%)	4,326
40 代	433 (10.1%)	4,308
50 代	582 (10.0%)	5,797
60 代	892 (9.0%)	9,963
70 代以上	1,153 (10.7%)	10,742

※1 13 点:先行研究で示されている基準

- 2) こうした経験・不調が原因で、日常生活に支障があったかどうかは、「全くない」が 23,481 人 (59.3%)、「少しだけ」が 9,556 人 (24.1%)、「ときどき」が 4,314 人 (10.9%)、「たいてい」が 1,032 人 (2.6%)、「いつも」が 1,188 人 (3.0%)であった。

14. 震災で経験したことについて (問 14)

- 1) 震災にて経験したこと(複数回答)は、「地震」が 41,827 人、「津波」が 8,352 人、「原子力発電所事故」が 40,795 人、「いずれもなし」が 374 人であった。
- 2) 震災にて経験したことが命を脅かすような経験であったかどうかについては、「はい」が 25,102 人 (59.4%)、「いいえ」が 17,184 人 (40.6%)であった。

15. トラウマ反応について (問 15)

- 1) トラウマ反応(PCL)は、有効回答 37,885 人のうち、44 点^{※2}以上が 5,999 人 (15.8%)であった(図 9(次頁))。平均点は 30.4 点であった。
- 男性では有効回答 16,749 人のうち、44 点以上が 2,423 人 (14.5%)であり、女性では有効回答 21,136 人のうち、44 点以上が 3,576 人 (16.9%)であった(図 10(次頁))。男性の平均点は 29.6 点、女性の平均点は 31.0 点であった。
- 年齢階級別は、表 26(次頁)のとおりである。
- 2) こうした経験・不調が原因で、日常生活に支障があったかどうかは、「はい」が 9,074 人 (23.4%)、「いいえ」が 29,678 人 (76.6%)であった。

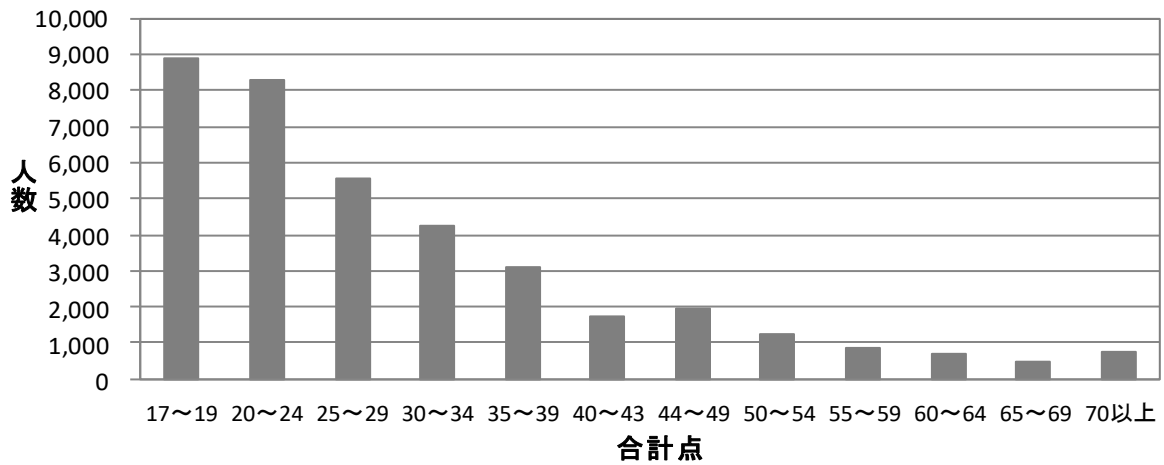


図9 一般のトラウマ反応(PCL): 全体

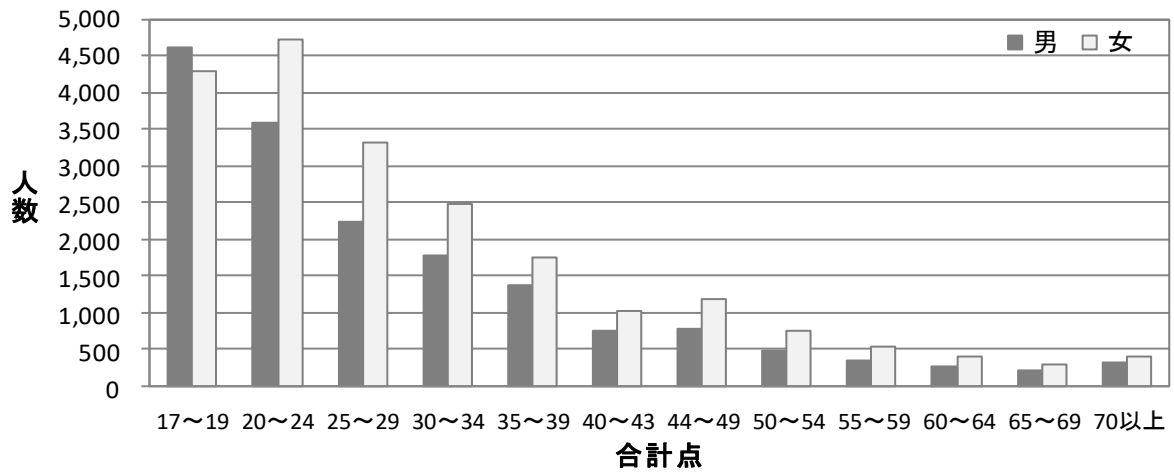


図10 一般のトラウマ反応(PCL): 男女別

表26 一般のトラウマ反応(PCL): 年齢階級別 (人数(割合))

	44点以上	有効回答数
10代	34 (3.8%)	897
20代	181 (9.0%)	2,006
30代	462 (10.7%)	4,310
40代	558 (13.0%)	4,297
50代	772 (13.4%)	5,778
60代	1,522 (15.3%)	9,974
70代以上	2,470 (23.3%)	10,623

※2 44点: 先行研究で示されている基準

16. 日常生活への支障について（問 16）

- 1) この1ヶ月間、日常生活に支障をきたした頻度は、「しばしばあった」が1,732人(19.6%)、「時々あった」が4,229人(47.8%)、「まれにあった」が2,284人(25.8%)、「1度もなかった」が604人(6.8%)であった。
※2)、3)、4)の回答は、問15の2)で「はい」と回答し、問16の1)で「しばしばあった」、「時々あった」、「まれにあった」と回答した者のみとする。
- 2) 仕事、学業、家事などへの支障は、「全く支障なし」が276人(3.7%)、「軽度」が3,375人(45.2%)、「中等度」が2,563人(34.4%)、「重度」が715人(9.6%)、「極めて支障あり」が531人(7.1%)であった。
- 3) 人付き合いや余暇の過ごし方への支障は、「全く支障なし」が377人(5.0%)、「軽度」が3,147人(41.3%)、「中等度」が2,720人(35.7%)、「重度」が863人(11.3%)、「極めて支障あり」が508人(6.7%)であった。
- 4) 家族内のコミュニケーションや役割への支障は、「全く支障なし」が629人(8.3%)、「軽度」が3,016人(39.8%)、「中等度」が2,547人(33.6%)、「重度」が857人(11.3%)、「極めて支障あり」が530人(7.0%)であった。

17. 現在の生活状況について（問 17）

- 1) 震災のため、もともと同居していた家族と、離れて生活しているかどうかについては、「はい」が16,154人(36.1%)、「いいえ」が28,644人(63.9%)であった。
- 2) 同居の人数(自分を含めて)は、震災前が、「1人(ひとり暮らし)」が3,025人(7.1%)、「2人」が9,504人(22.3%)、「3人」が8,294人(19.5%)、「4人」が7,387人(17.3%)、「5人」が5,434人(12.8%)、「6人」が4,465人(10.5%)、「7人」が2,804人(6.6%)、「8人」が1,105人(2.6%)、「9人」が368人(0.9%)、「10人以上」が212人(0.5%)であった。現在は、「1人(ひとり暮らし)」が5,993人(13.7%)、「2人」が15,278人(34.9%)、「3人」が9,027人(20.6%)、「4人」が6,358人(14.5%)、「5人」が3,517人(8.0%)、「6人」が2,050人(4.7%)、「7人」が1,057人(2.4%)、「8人」が330人(0.8%)、「9人」が144人(0.3%)、「10人以上」が70人(0.2%)であった。
- 3) 現在の住まい(複数回答)は、「借上住宅」が12,199人、「仮設住宅」が6,713人、「復興公営住宅」が333人、「借家・アパート」が6,008人、「親戚宅」が1,146人、「持家」が18,542人、「その他」が671人であった。
- 4) 震災から現在までの転居回数は、0回が5,110人(12.1%)、1回が5,136人(12.2%)、2回が5,750人(13.6%)、3回が7,050人(16.7%)、4回が6,274人(14.9%)、5回が5,379人(12.8%)、6回以上が7,454人(17.7%)であった。
- 5) 勤務形態は、「常勤・自営」が12,381人(28.6%)、「パート」が3,636人(8.4%)、「無職(学生、専業主婦を含む)」が27,322人(63.0%)であった。
- 6) 仕事の状況(震災や原発事故によってお仕事の状況は変わりましたか)は、「変わった」が18,567人(47.6%)、「変わらない」が20,435人(52.4%)であった。

- 7) 「変わった」と回答した者のうち、どのように変わったか(複数回答)については、「新しく仕事を始めた」が2,352人、「失業した」が8,874人、「転職した」が2,575人、「同じ会社・組織内での配置換え」が2,726人、「その他」が4,070人であった。
- 8) 現在の暮らし向きを経済的にみてどう感じているかについては、「苦しい」が5,892人(14.1%)、「やや苦しい」が10,969人(26.2%)、「普通」が23,066人(55.1%)、「ややゆとりがある」が1,438人(3.4%)、「ゆとりがある」が498人(1.2%)であった。

18. 人とのつながりについて (問 18)

現在の生活における人とのつながり(LSNS-6)については、有効回答 39,833 人のうち、12 点^{※3}未満が 15,812 人(39.7%)であった(図 11)。平均点は 13.1 点であった。

男性では有効回答 17,392 人のうち、12 点未満が 7,359 人(42.3%)であり、女性では有効回答 22,441 人のうち、12 点未満が 8,453 人(37.7%)であった(図 12)。男性の平均点は 12.8 点、女性の平均点は 13.3 点であった。

年齢階級別は、表 27(次頁)のとおりである。

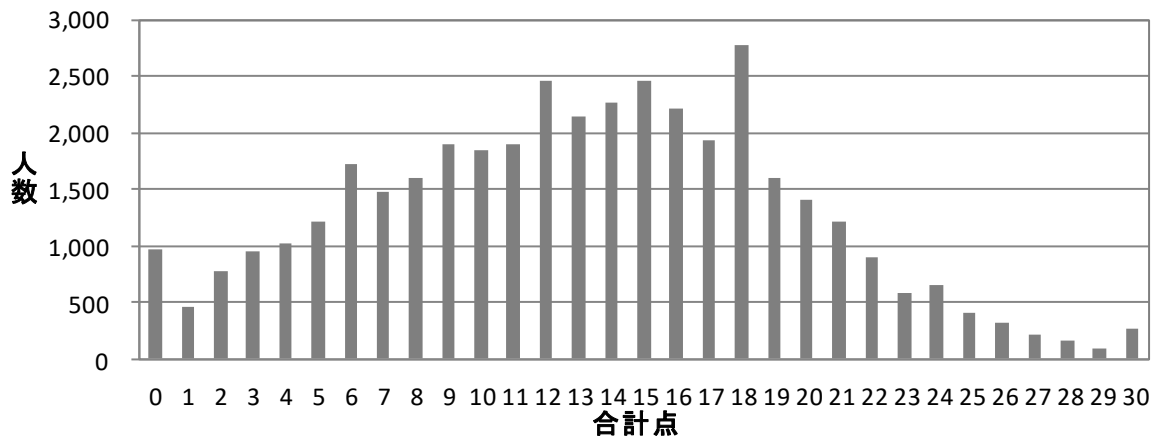


図 11 人とのつながり(LSNS-6): 全体

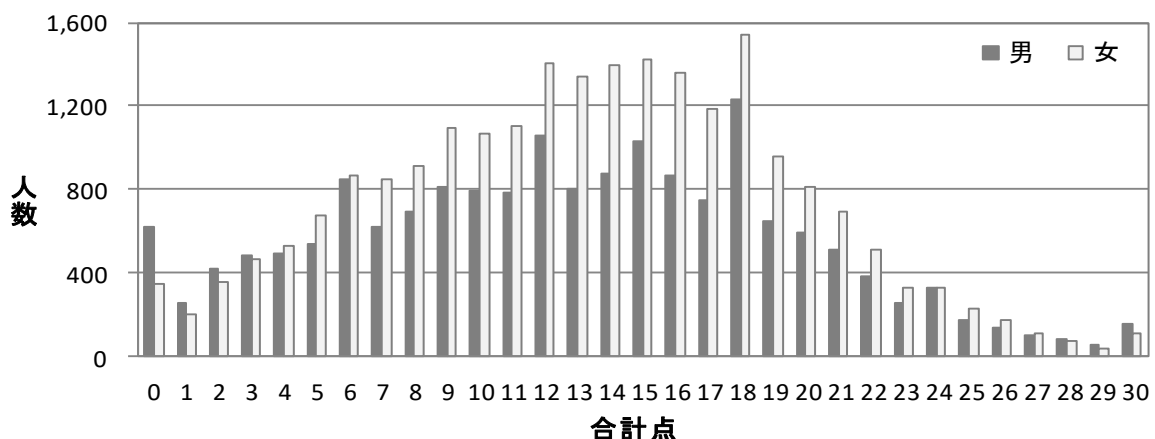


図 12 人とのつながり(LSNS-6): 男女別

一般用

表 27 人とのつながり(LSNS-6) : 年齢階級別 (人数(割合))

	12 点未満	12 点以上	有効回答数
10 代	246 (26.9%)	670 (73.1%)	916
20 代	813 (39.5%)	1,246 (60.5%)	2,059
30 代	2,096 (47.9%)	2,278 (52.1%)	4,374
40 代	2,441 (56.0%)	1,917 (44.0%)	4,358
50 代	3,011 (50.8%)	2,922 (49.2%)	5,933
60 代	3,981 (38.2%)	6,452 (61.8%)	10,433
70 代以上	3,224 (27.4%)	8,536 (72.6%)	11,760

※3 12 点: 先行研究で示されている基準

19. 現在住んでいる地域について (問 19)

現在住んでいる地域(あなたが現在お住まいの地域について、お尋ねします)については、表 28 のとおりであった。

表 28 現在住んでいる地域について

		強くそう 思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらか といえば そう思わ ない	全くそう 思わない	有効 回答数
1	この地域の人々はお互いに 助け合っている	4,483 (10.1%)	16,914 (38.2%)	14,844 (33.5%)	4,166 (9.4%)	3,877 (8.8%)	44,284
2	この地域の人々は信頼できる	3,872 (8.8%)	15,924 (36.1%)	17,533 (39.7%)	3,670 (8.3%)	3,149 (7.1%)	44,148
3	この地域の人々はお互いに あいさつをしている	8,355 (18.8%)	22,780 (51.3%)	8,984 (20.2%)	2,610 (5.9%)	1,690 (3.8%)	44,419
4	この地域で問題が生じた 場合、人々は力を合わせて 解決しようとする	4,672 (10.6%)	16,614 (37.7%)	16,080 (36.5%)	3,451 (7.8%)	3,260 (7.4%)	44,077

20. 放射線の健康影響についての認識について（問 20）

放射線の健康影響についての認識は、表 29 のとおりであった。

表 29 放射線の健康影響についての認識(上段人数/下段割合)

		可能性は 極めて 低い	←	→	可能性は 非常に 高い	有効 回答数
1	現在の放射線被ばくで、後年に生じる健康障害(例えば、がんの発症など)がどのくらい起こると思いますか。	10,809 (27.9%)	12,557 (32.4%)	8,365 (21.6%)	6,979 (18.0%)	38,710
2	現在の放射線被ばくで、次世代以降の人(将来生まれてくる自分の子や孫など)への健康影響がどれくらい起こると思いますか。	8,218 (21.4%)	11,705 (30.5%)	9,951 (25.9%)	8,508 (22.2%)	38,382

平成 25 年度 県民健康調査

「こころの健康度・生活習慣に関する調査」

資 料

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（0 歳～3 歳用）」資料

		人数	割合	
性別	(有効回答 1,634人)	・男児 824	50.4%	
(平均年齢 2.0歳)		・女児 810	49.6%	
住所別	(有効回答 1,634人)	・県内 1,191	72.9%	
		・県外 443	27.1%	
問1 健康状態	(有効回答 1,601人)	・きわめて良好 521	32.5%	
		・良好 681	42.5%	
		・普通 381	23.8%	
		・悪い 18	1.1%	
		・きわめて悪い 0	0.0%	
問2 身長と体重		(性別年齢階級別 ※本文中に掲載)	—	
問3 治療中の病気	(有効回答 1,621人)	・ない 1,158	71.4%	
		・ある 463	28.6%	
		(内訳 ※本文中に掲載)		
問4 入院の経験	(有効回答 1,629人)	・ない 1,238	76.0%	
		・ある 391	24.0%	
		(内訳 ※本文中に掲載)		
問5 検査の経験				
1) CT検査	(有効回答 1,629人)	・ない 1,516	93.1%	
		・ある 70	4.3%	
		・わからない 43	2.6%	
2) X線を使った検査	(有効回答 1,604人)	・ない 1,486	92.6%	
		・ある(※ある場合の検査内容)	60	3.7%
		(透視検査)	(43)	—
		(血管造影検査)	(9)	—
		(核医学検査)	(2)	—
		・わからない 58	3.6%	
問6 放射線療法の経験	(有効回答 1,628人)	・ない 1,604	98.5%	
		・ある 4	0.2%	
		・わからない 20	1.2%	
問7 睡眠時間と昼寝の有無				
1) 睡眠時間	(有効回答 1,624人)	・平均睡眠時間 9時間 59分		
	(有効回答 1,632人)	・平均就寝時刻 午後 9時 11分		
	(有効回答 1,631人)	・平均起床時刻 午前 7時 14分		
2) 昼寝の有無	(有効回答 1,619人)	・いいえ 215	13.3%	
	(有効回答 1,382人)	・はい 1,404	86.7%	
		(平均昼寝時間 1時間53分)		
問8 普段の運動量	(有効回答 1,119人)	・ほとんど毎日している 504	45.0%	
		・週に2～4回している 355	31.7%	
		・週1回程度している 144	12.9%	
		・ほとんどしていない 116	10.4%	
問9 食生活				
1) 母乳による授乳	(有効回答 1,564人)	・はい 225	14.4%	
		・いいえ 1,339	85.6%	
2) 食品等を食べる頻度	—	・本文中に掲載	—	
問10 育児	(有効回答 1,630人)	・はい 207	12.7%	
		・いいえ 710	43.6%	
		・何ともいえない 713	43.7%	

※()は内数

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（4 歳～6 歳用）」資料

		人数	割合	
性別 (平均年齢 4.8歳)	(有効回答 2,032人)	・男児 1,022	50.3%	
		・女児 1,010	49.7%	
住所別	(有効回答 2,032人)	・県内 1,409	69.3%	
		・県外 623	30.7%	
問1 健康状態	(有効回答 1,983人)	・きわめて良好 534	26.9%	
		・良好 827	41.7%	
		・普通 591	29.8%	
		・悪い 28	1.4%	
		・きわめて悪い 3	0.2%	
問2 身長と体重		(性別年齢階級別 ※本文中に掲載) —		
問3 治療中の病気	(有効回答 2,021人)	・ない 1,278	63.2%	
		・ある 743	36.8%	
(内訳 ※本文中に掲載)				
問4 入院の経験	(有効回答 2,025人)	・ない 1,415	69.9%	
		・ある 610	30.1%	
(内訳 ※本文中に掲載)				
問5 検査の経験	1) CT検査 (有効回答 2,019人)	・ない 1,826	90.4%	
		・ある 129	6.4%	
		・わからない 64	3.2%	
2) X線を使った検査 (有効回答 2,000人)	(有効回答 2,000人)	・ない 1,828	91.4%	
		・ある(※ある場合の検査内容)	102	5.1%
		(透視検査) (76)	—	
		(血管造影検査) (14)	—	
		(核医学検査) (3)	—	
・わからない 70	3.5%			
問6 放射線療法の経験	(有効回答 2,014人)	・ない 1,975	98.1%	
		・ある 2	0.1%	
		・わからない 37	1.8%	
問7 睡眠時間と昼寝の有無	1) 睡眠時間 (有効回答 2,028人)	・平均睡眠時間 9時間44分		
		(有効回答 2,031人)	・平均就寝時刻 午後9時11分	
		(有効回答 2,031人)	・平均起床時刻 午前6時56分	
2) 昼寝の有無 (有効回答 2,009人)	(有効回答 2,009人)	・いいえ 1,272	63.3%	
		・はい 737	36.7%	
(平均昼寝時間 1時間39分)				
問8 普段の運動量 (有効回答 1,929人)	(有効回答 1,929人)	・ほとんど毎日している 791	41.0%	
		・週に2～4回している 610	31.6%	
		・週1回程度している 249	12.9%	
		・ほとんどしていない 279	14.5%	
問9 食生活		—		
食品等を食べる頻度		・本文中に掲載 —		
問10 SDQ (有効回答 2,027人)	1) SDQ (有効回答 1,020人)	・平均総合得点 9.7点		
		(有効回答 1,007人)	・平均総合得点 男 10.4点 ・平均総合得点 女 9.0点	
2) 16点以上 (有効回答 288人)	(有効回答 288人)	・16点以上 288	14.2%	
		(男) (170)	—	
		(女) (118)	—	
		・20点以上 110	5.4%	
		(男) (69)	—	
		(女) (41)	—	
2) 困難の有無および程度 (有効回答 2,019人)	(有効回答 2,019人)	・いいえ 1,504	74.5%	
		・はい(ささいな困難) 427	21.1%	
		・はい(明らかな困難) 76	3.8%	
		・はい(深刻な困難) 12	0.6%	
3) 困難による動揺の程度 (有効回答 497人)	(有効回答 497人)	・まったくない 197	39.6%	
		・すこしだけ 270	54.3%	
		・かなり 24	4.8%	
		・大いに 6	1.2%	

※()は内数

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（小学生用）」資料

		人数	割合
性別 (平均年齢 9.4歳)	(有効回答 3,987人)	・男児	2,054 51.5%
		・女児	1,933 48.5%
住所別	(有効回答 3,987人)	・県内	2,932 73.5%
		・県外	1,055 26.5%
問1 健康状態	(有効回答 3,828人)	・きわめて良好	882 23.0%
		・良好	1,680 43.9%
		・普通	1,208 31.6%
		・悪い	50 1.3%
		・きわめて悪い	8 0.2%
問2 身長と体重		(性別年齢階級別 ※本文中に掲載) —	
問3 治療中の病気	(有効回答 3,942人)	・ない	2,492 63.2%
		・ある	1,450 36.8%
		(内訳 ※本文中に掲載)	
問4 入院の経験	(有効回答 3,955人)	・ない	2,528 63.9%
		・ある	1,427 36.1%
		(内訳 ※本文中に掲載)	
問5 検査の経験			
		1) CT検査 (有効回答 3,947人)	
		・ない	3,284 83.2%
		・ある	479 12.1%
		・わからない	184 4.7%
2) X線を使った検査 (有効回答 3,897人)		・ない	3,466 88.9%
		・ある(※ある場合の検査内容)	220 5.6%
		(透視検査)	(147) —
		(血管造影検査)	(36) —
		(核医学検査)	(14) —
		・わからない	211 5.4%
問6 放射線療法の経験	(有効回答 3,932人)	・ない	3,824 97.3%
		・ある	6 0.2%
		・わからない	102 2.6%
問7 睡眠時間と昼寝の有無			
1) 睡眠時間	(有効回答 3,959人)	・平均睡眠時間	8時間54分
	(有効回答 3,966人)	・平均就寝時刻	午後9時31分
	(有効回答 3,966人)	・平均起床時刻	午前6時27分
問8 普段の運動量	(有効回答 3,734人)	・ほとんど毎日している	294 7.9%
		・週に2~4回している	1,033 27.7%
		・週1回程度している	940 25.2%
		・ほとんどしていない	1,467 39.3%
問9 食生活			
食品等を食べる頻度	—	・本文中に掲載 —	
問10 SDQ (有効回答 3,974人)		・平均総合得点	9.4点
1) SDQ (有効回答 2,044人)	(有効回答 1,930人)	・平均総合得点 男	10.0点
		・平均総合得点 女	8.8点
		・16点以上	583 14.7%
		(男)	(346) —
		(女)	(237) —
		・20点以上	226 5.7%
		(男)	(146) —
		(女)	(80) —
2) 困難の有無および程度 (有効回答 3,966人)		・いいえ	2,750 69.3%
		・はい(ささいな困難)	988 24.9%
		・はい(明らかな困難)	183 4.6%
		・はい(深刻な困難)	45 1.1%
3) 困難による動揺の程度 (有効回答 1,170人)		・まったくない	277 23.7%
		・すこしだけ	785 67.1%
		・かなり	87 7.4%
		・大いに	21 1.8%

※()は内数

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（中学生用）」資料

		人数	割合
性別 (平均年齢 13.9歳)	(有効回答 1,820人)	・男子	890 48.9%
		・女子	930 51.1%
住所別	(有効回答 1,820人)	・県内	1,425 78.3%
		・県外	395 21.7%
問1 健康状態	(有効回答 1,124人)	・きわめて良好	341 30.3%
		・良好	344 30.6%
		・普通	406 36.1%
		・悪い	30 2.7%
		・きわめて悪い	3 0.3%
問2 身長と体重		(性別年齢階級別 ※本文中に掲載)	—
問3 睡眠			
1) 睡眠時間	(有効回答 1,137人)	・平均睡眠時間 7時間 8分	
2) 睡眠(最近)1カ月間	(有効回答 1,139人)	・十分だと思う	504 44.2%
		・やや足りない	520 45.7%
		・足りない	115 10.1%
問4 運動	(有効回答 1,142人)	・ほとんど毎日している	538 47.1%
		・週に2~4回している	159 13.9%
		・週1回程度している	91 8.0%
		・ほとんどしていない	354 31.0%
問5 食生活	—	・本文中に掲載	—
問6 震災での経験	※複数回答	・地震	1,076 —
		・津波	155 —
		・原子力発電所事故	1,027 —
		・いずれもなし	2 —
問7 治療中の病気	(有効回答 1,777人)	・ない	1,258 70.8%
		・ある	519 29.2%
		(内訳 ※本文中に掲載)	
問8 入院の経験	(有効回答 1,777人)	・ない	1,140 64.2%
		・ある	637 35.8%
		(内訳 ※本文中に掲載)	
問9 検査の経験			
1) CT検査	(有効回答 1,769人)	・ない	1,420 80.3%
		・ある	282 15.9%
		・わからない	67 3.8%
2) X線を使った検査	(有効回答 1,750人)	・ない	1,556 88.9%
		・ある(※ある場合の検査内容)	113 6.5%
		(透視検査)	(80) —
		(血管造影検査)	(25) —
		(核医学検査)	(3) —
・わからない	81 4.6%		
問10 放射線療法の経験	(有効回答 1,764人)	・ない	1,723 97.7%
		・ある	5 0.3%
		・わからない	36 2.0%
問11 SDQ	(有効回答 1,776人)	・平均総合得点 8.7点	
1) SDQ	(有効回答 873人)	・平均総合得点 男 9.3点	
	(有効回答 903人)	・平均総合得点 女 8.2点	
2) 困難の有無の程度	(有効回答 1,770人)	・16点以上	234 13.2%
		(男)	(139) —
		(女)	(95) —
		・20点以上	112 6.3%
		(男)	(62) —
		(女)	(50) —
・いいえ	1,231 69.5%		
・はい(ささいな困難)	384 21.7%		
・はい(明らかな困難)	100 5.6%		
・はい(深刻な困難)	55 3.1%		
3) 困難による動揺の程度	(有効回答 520人)	・まったくない	81 15.6%
		・すこしだけ	347 66.7%
		・かなり	66 12.7%
		・大いに	26 5.0%

※()は内数

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査（一般用）」資料

			人数	割合
性別	(有効回答 46,377人)	・男性	20,401	44.0%
(平均年齢 59.2歳)		・女性	25,976	56.0%
住所別	(有効回答 46,377人)	・県内	38,612	83.3%
		・県外	7,765	16.7%
問1 健康状態	(有効回答 39,693人)	・きわめて良好	1,501	3.8%
		・良好	6,408	16.1%
		・普通	24,437	61.6%
		・悪い	6,714	16.9%
		・きわめて悪い	633	1.6%
問2 身長と体重	—	・本文中に掲載		—
問3 既往歴	—	・本文中に掲載		—
問4 検査の経験				
1)CT検査	(有効回答 44,912人)	・ない	22,935	51.1%
		・ある	20,291	45.2%
		・わからない	1,686	3.8%
2)透視検査	(有効回答 44,423人)	・ない	18,818	42.4%
		・ある	24,647	55.5%
		・わからない	958	2.2%
3)その他検査	(有効回答 44,434人)	・ない	36,372	81.9%
		・ある(※ある場合の検査内容)	5,936	13.4%
		(血管造影検査)	(4,009)	—
		(核医学検査)	(484)	—
		(PET検査)	(1,458)	—
		・わからない	2,126	4.8%
問5 放射線療法の経験	(有効回答 44,869人)	・ない	42,740	95.3%
		・ある	1,109	2.5%
		・わからない	1,020	2.3%
問6 日常生活機能				
1)日常生活機能	—	・本文中に掲載		—
2)レクリエーション参加	(有効回答 45,151人)	・ない、めったにない	27,586	61.1%
		・ときどき参加する	13,359	29.6%
		・よく参加する	4,206	9.3%
問7 睡眠				
1)睡眠時間	(有効回答 44,744人)	・平均睡眠時間 7時間 5分		
2)睡眠(最近)1カ月間	(有効回答 38,763人)	・満足している	15,371	39.7%
		・少し不満	17,427	45.0%
		・かなり不満	4,945	12.8%
		・非常に不満か、全く眠れなかった	1,020	2.6%
3)睡眠に関する経験	—	・本文中に掲載		—
問8 運動	(有効回答 45,689人)	・ほとんど毎日している	7,062	15.5%
		・週に2~4回している	10,211	22.3%
		・週1回程度している	7,069	15.5%
		・ほとんどしていない	21,347	46.7%
問9 笑う機会	(有効回答 45,664人)	・ほぼ毎日	12,452	27.3%
		・週に1~5回程度	18,648	40.8%
		・月に1~3回程度	8,792	19.3%
		・ほとんどない	5,772	12.6%

※()は内数

		人数	割合
問10 喫煙			
1) 受動喫煙	(有効回答 43,804人)	・毎日 ・週4-5日程度 ・ときどき ・めったにない	9,293 21.2% 2,772 6.3% 12,564 28.7% 19,175 43.8%
2) 喫煙(震災以前)	(有効回答 42,530人)	・吸っていなかった ・吸っていた	30,139 70.9% 12,391 29.1%
3) 喫煙	(有効回答 39,945人)	・吸ったことがない ・やめた ・吸っている (平均1日本数 16.7本) (平均喫煙年数 28.6年)	22,920 57.4% 9,623 24.1% 7,402 18.5% — —
問11 お酒			
1) アルコール飲料の飲酒 (震災以前)	(有効回答 42,894人)	・飲んでいなかった、または、ほとんど飲んでいなかった ・飲んでいた(月1回以上)	22,845 53.3% 20,049 46.7%
2) アルコール飲料の飲酒	(有効回答 42,325人)	・飲まない、または、ほとんど飲まない ・やめた ・飲む(月1回以上) (飲む酒類と頻度 ※本文中に掲載)	22,248 52.6% 1,393 3.3% 18,684 44.1% —
3) 飲酒の頻度	(有効回答 17,957人)	・本文中に掲載	—
4) 1日あたりの飲酒量	(有効回答 16,995人)	・平均1.0合	—
5) 飲酒に関する経験	(有効回答 17,011人)	・本文中に掲載	—
問12 食生活 ※複数回答			
・本文中に掲載			
問13 精神健康状態(K6)			
1) 精神健康状態(K6)	(有効回答 38,065人)	・平均点 5.2点	
	(有効回答 16,874人)	・平均点 男 4.7点	
	(有効回答 21,191人)	・平均点 女 5.6点	
		・13点以上	3,701 9.7%
		(男)	(1,413) —
		(女)	(2,288) —
		(年齢階級別 ※本文中に掲載)	—
2) 日常生活での支障の程度	(有効回答 39,571人)	・全くない ・少しだけ ・ときどき ・たいてい ・いつも	23,481 59.3% 9,556 24.1% 4,314 10.9% 1,032 2.6% 1,188 3.0%
問14 東日本大震災について			
1) 震災での経験	※複数回答	・地震 ・津波 ・原子力発電所事故 ・いずれもなし	41,827 — 8,352 — 40,795 — 374 —
2) 命を脅かすような経験	(有効回答 42,286人)	・はい ・いいえ	25,102 59.4% 17,184 40.6%
問15 ト라우マ反応(PCL)			
1) ト라우マ反応(PCL)	(有効回答 37,885人)	・平均点 30.4点	
	(有効回答 16,749人)	・平均点 男 29.6点	
	(有効回答 21,136人)	・平均点 女 31.0点	
		・44点以上	5,999 15.8%
		(男)	(2,423) —
		(女)	(3,576) —
		(年齢階級別 ※本文中に掲載)	—
2) 日常生活での支障の有無	(有効回答 38,752人)	・はい ・いいえ	9,074 23.4% 29,678 76.6%
問16 日常生活への支障(PCL)			
1) 日常生活での支障の頻度	(有効回答 8,849人)	・しばしばあった ・時々あった ・まれにあった ・1度もなかった	1,732 19.6% 4,229 47.8% 2,284 25.8% 604 6.8%

※()は内数

		人数	割合
問16 日常生活への支障(PCL)			
2) 仕事/学業での支障の程度	(有効回答 7,460人)	・全く支障なし	276 3.7%
		・軽度	3,375 45.2%
		・中等度	2,563 34.4%
		・重度	715 9.6%
		・極めて支障あり	531 7.1%
3) 社会生活での支障の程度	(有効回答 7,615人)	・全く支障なし	377 5.0%
		・軽度	3,147 41.3%
		・中等度	2,720 35.7%
		・重度	863 11.3%
		・極めて支障あり	508 6.7%
4) 家族内のコミュニケーションや役割での支障の程度	(有効回答 7,579人)	・全く支障なし	629 8.3%
		・軽度	3,016 39.8%
		・中等度	2,547 33.6%
		・重度	857 11.3%
		・極めて支障あり	530 7.0%
問17 現在の生活状況について			
1) 家族との生活状況	(有効回答 44,798人)	・はい	16,154 36.1%
		・いいえ	28,644 63.9%
2) 同居人数	(有効回答 42,598人)	・1人(ひとり暮らし)	3,025 7.1%
震災前		・2人	9,504 22.3%
		・3人以上	30,069 70.6%
		※詳細は本文中に掲載	
現在	(有効回答 43,824人)	・1人(ひとり暮らし)	5,993 13.7%
		・2人	15,278 34.9%
		・3人以上	22,553 51.5%
		※詳細は本文中に掲載	
3) 現在の住まい	※複数回答	・借上住宅	12,199 —
		・仮設住宅	6,713 —
		・復興公営住宅	333 —
		・借家・アパート	6,008 —
		・親戚宅	1,146 —
		・持家	18,542 —
		・その他	671 —
4) 震災からの転居回数	(有効回答 42,153人)	・0回	5,110 12.1%
		・1回	5,136 12.2%
		・2回	5,750 13.6%
		・3回	7,050 16.7%
		・4回	6,274 14.9%
		・5回	5,379 12.8%
		・6回以上	7,454 17.7%
5) 勤務形態	(有効回答 43,339人)	・常勤・自営	12,381 28.6%
		・パート	3,636 8.4%
		・無職(学生、専業主婦を含む)	27,322 63.0%
6) 仕事の状況	(有効回答 39,002人)	・変わった	18,567 47.6%
		・変わらない	20,435 52.4%
7) 仕事の変化	※複数回答	・新しく仕事を始めた	2,352 —
		・失業した	8,874 —
		・転職した	2,575 —
		・配置換えがあった	2,726 —
		・その他	4,070 —
8) 現在のくらし向き	(有効回答 41,863人)	・苦しい	5,892 14.1%
		・やや苦しい	10,969 26.2%
		・普通	23,066 55.1%
		・ややゆとりがある	1,438 3.4%
		・ゆとりがある	498 1.2%
問18 人とのつながり(LSNS-6)			
	(有効回答 39,833人)	・平均点	13.1点
	(有効回答 17,392人)	・平均点 男	12.8点
	(有効回答 22,441人)	・平均点 女	13.3点
		・12点未満	15,812 39.7%
		(男)	(7,359) —
		(女)	(8,453) —
		(年齢階級別 ※本文中に掲載)	—
問19 現在住んでいる地域について	—	・本文中に掲載	—
問20 放射線の健康影響	—	・本文中に掲載	—
問21～24	—	・省略	—

平成 25 年度 県民健康調査
「こころの健康度・生活習慣に関する調査」
支援実施報告

1. 目的

平成 23 年 3 月 11 日発生 of 東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所爆発事故以降、放射線への不安、避難生活、財産の喪失及び恐怖体験等により、精神的苦痛や心的外傷(トラウマ)を負った県民のこころの健康度や生活習慣を把握し、適切なケアを提供するため、平成 23 年度から県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」を実施し、支援を行っている。

こころのケアについては、中・長期の対策が必要であり、そのためには「こころ」や「からだ」の健康状態について、継続した見守り・支援を行っていることを対象者へ伝えるとともに、「こころ」や「からだ」の変化やその要因を把握し、状況に応じた適切な支援を実施する必要があることから、今年度も引き続き質問紙による調査を行った。

調査後、回答内容を福島県立医科大学の医師等が評価・分析し、こころの健康度及び生活習慣上、相談・支援の必要があると判断された方々に、状況改善及び保健・医療機関につなげることを目的として、臨床心理士、保健師、看護師等による「こころの健康支援チーム」が電話相談等を実施した。

2. 方法

1) 支援対象

国が指定した避難区域等の住民及び生年月日が平成 25 年 4 月 1 日以前の者を対象とした、平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の回答者の中から、「こころの健康支援チーム」が質問紙調査への回答内容について、下記の基準により判断し、支援対象を選定した。なお、調査票は以下の区分に分けられる。

0歳～3歳用 : 平成 22 年 4 月 2 日から平成 25 年 4 月 1 日までに生まれた者

4歳～6歳用 : 平成 19 年 4 月 2 日から平成 22 年 4 月 1 日までに生まれた者

小学生用 : 平成 13 年 4 月 2 日から平成 19 年 4 月 1 日までに生まれた者

中学生用 : 平成 10 年 4 月 2 日から平成 13 年 4 月 1 日までに生まれた者

一般用 : 平成 10 年 4 月 1 日以前に生まれた者

2) 選定基準

支援は、緊急性の高さや状態の重症度に応じ、電話または文書による支援を行った。

以下、「子ども」は中学生以下の調査票対象者、「一般」は一般調査票対象者を指す。

選定基準は、a)尺度の得点、b)尺度以外の項目によって定めた。

ア) 電話による支援(以下、電話支援)

a) 尺度の得点による支援基準

子ども:SDQ(子どもの情緒と行動に関する尺度)が 20 点以上に該当する者。

- 一 般:K6(気分の落ち込みや不安など、全般的な精神健康状態に関する尺度)が 13 点以上かつ PCL(トラウマ反応に関する尺度)が 50 点以上に該当する者。及び PCL の点数に関わらず K6 が 17 点以上に該当する者。

b) 尺度以外の項目による支援基準

- 子ども:自由記載及び欄外記載の内容から、支援が必要であると判断された者のうち、緊急性の高い者。
- 一 般:高血圧または糖尿病の既往歴があり、通院をしていないと回答した者の中で、Body Mass Index (BMI:調査票内の身長及び体重から算出)が 27.5kg/m^2 以上かつ震災後の体重増加が 3kg 以上の者、あるいは飲酒量が一日平均 3 合以上の者。
精神疾患の既往歴があり、通院をしていないと回答した者。
自由記載及び欄外記載の内容から、支援が必要であると判断された者のうち、緊急性の高い者。

イ) 文書による支援(以下、文書支援)

a) 尺度の得点による支援基準

- 子ども:SDQ が 16 点以上(先行研究における基準値)で、前述の電話による支援の基準に該当しない者。
- 一 般:K6 が 13 点以上または PCL が 44 点以上(先行研究における基準値)で、前述の電話による支援の基準に該当しない者。

b) 尺度以外の項目による支援基準

- 子ども:自由記載及び欄外記載の内容から、支援が必要であると判断された者のうち、緊急性の低い者。
- 一 般:必要な医療受診をしていない者、及び睡眠の質に満足しておらず日中に気分が滅入ったり活動量が低下したりする者のうち、前述の支援基準に該当しない者。
CAGE(アルコール依存症に関する尺度)が 4 点満点中 2 点以上の者。
自由記載及び欄外記載の内容から、支援が必要であると判断された者のうち、緊急性の低い者。

文書支援対象者には、相談窓口として「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の専用ダイヤルを案内する文書とともに、電話支援希望の有無を確認する返信用ハガキを同封して送付した。返信されたハガキに電話支援希望の記載がある者、もしくは「こころの健康支援チーム」が返信内容から支援が必要と判断した者に電話支援を行った。

3) 支援結果の分類と支援後の対応

電話支援を行った結果については、「経過観察1」「経過観察2」「経過観察3」「支援希望なし」の4つに分類した。支援後の対応では、継続した支援が必要であると判断される場合には、電話支援の継続や市町村・ふくしま心のケアセンターと情報を共有して連携を図った。医療機関の情報提供が必要と判断される場合は、登録医師を紹介する等の対応を行うとともに、必要に応じて支援対象者のかかりつけ医へ情報提供書の送付を行った。また、支援対象者が必要とする医療機関や相談窓口を電話支援時等に情報提供した。支援結果の分類と支援後の対応の詳細については下記のとおりである。

支援結果の分類

経過観察1	体調や環境面で状態の改善が確認できた場合や、サポート資源利用の有無が確認できた場合など、ご自身で対処がなされていると判断できるもの。
経過観察2	体調不良や災害後遺症が強い者、社会・学校不適應や孤立されている者など、やや心配が残ると判断されるもの。
経過観察3	何らかの理由で状況確認が困難だったもの。
支援希望なし	支援は必要ないと、対象者から申し出があったもの。

支援後の対応

要フォロー	電話での継続支援が必要と判断されたもの。
市町村連絡	対象者の状況から、市町村との情報共有による連携が必要と判断されたもの。
紹介状	こころのケア登録医師を受診するための紹介状を送付したもの。
県内登録医師一覧	こころのケア登録医師についての情報が記載された一覧表を送付したもの。
県外医療機関資料	県外での相談機関情報について(精神保健福祉センター等)情報提供を行ったもの。
情報提供書	かかりつけの医師に、支援対象者の状態について情報提供を行ったもの。
電話での情報提供	電話による支援中、もしくは電話による支援後に改めて架電し、対象者が必要とする医療機関及び相談機関の情報を提供したもの。
他部門の対応	基本調査に関する質問や甲状腺検査についてなど、放射線医学県民健康管理センターの他の部門から回答することが望ましいと判断されたもの。

3. 結果

1) 支援対象者数及び支援実施件数

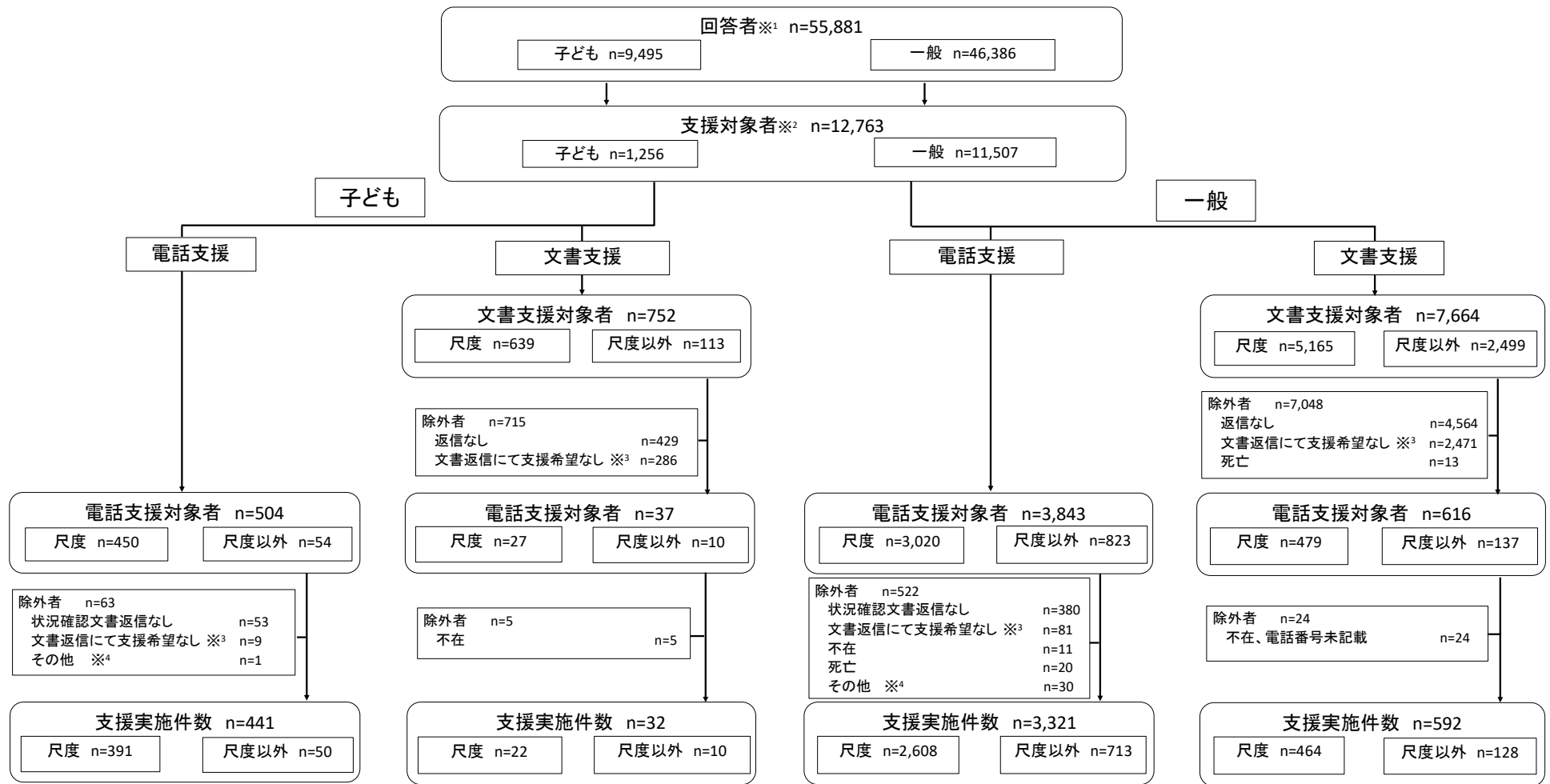
子どもの支援対象者は 1,256 人であり、その内訳は、電話支援対象者 504 人、文書支援対象者 752 人であった。文書支援対象者からの返信内容により、電話支援が必要と判断された者は 37 人であった。

一般の支援対象者は 11,507 人であり、その内訳は、電話支援対象者 3,843 人、文書支援対象者 7,664 人で、文書支援の結果、電話支援が必要と判断された者は 616 人であった。それに加え、文書支援の CAGE の基準のみに該当とした者は 2,010 人であった。

死亡が確認された場合を除き、不在等で電話支援が実施できなかった者、及び CAGE の基準のみに該当した者については、当センターが作成した「こころの健康度と生活習慣サポートブック」を送付して情報提供を行った。

図 1 に、支援対象者数及び支援実施件数の詳細を示す。なお、CAGE の基準のみに該当した者は図に含まない。

また、結果の表中の割合(%)は、端数処理を行っているため、合計が 100%にならない場合がある。



※¹ 平成26年10月31日までに回答した者を集計対象とした。
 ※² 平成26年12月31日までに支援対象となった者を集計対象とした。
 ※³ 文書返信にて支援希望なし：はがき返信時に支援希望なしに丸を付けた者は除外者とした。
 ※⁴ 電話支援の提供時間内で対応が困難だった者等

図 1 支援対象者数及び支援実施件数(尺度は尺度による支援、尺度以外は尺度以外の項目による支援を指す)

2) 子ども

SDQの適用年齢は4歳以上のため、0歳～3歳についてはSDQを用いず、自由記載欄の記載内容により支援を行った。また、文書支援対象者のうち電話支援を実施した対象者は0歳～3歳が2人、4歳～6歳が8人、小学生が17人、中学生が5人と少数であったため、以下の支援結果については電話支援対象者と、文書支援対象者のうち電話支援の対象となった者のみを、合わせて集計した。

(1) 支援対象者の基本属性

子どもの支援対象者のうち、電話支援対象者が504人、文書支援対象者のうち電話支援の対象となった者が37人の計541人であった。そのうち、男児・男子が321人(59.3%)、女児・女子が220人(40.7%)であった。支援対象者のうち、電話支援を実施できた者は473人(87.4%)であった。電話支援を実施できた者の居住地は、県内が330人(69.8%)、県外が143人(30.2%)であった(表1)。

表1 子ども基本属性(性別・居住地)

	全体	0歳～3歳	4歳～6歳	小学生	中学生
支援対象者	541	10	124	265	142
男児・男子	321 (59.3%)	3 (30.0%)	79 (63.7%)	165 (62.3%)	74 (52.1%)
女児・女子	220 (40.7%)	7 (70.0%)	45 (36.3%)	100 (37.7%)	68 (47.9%)
支援実施件数	473	9	110	232	122
県内	330 (69.8%)	6 (66.7%)	76 (69.1%)	158 (68.1%)	90 (73.8%)
県外	143 (30.2%)	3 (33.3%)	34 (30.9%)	74 (31.9%)	32 (26.2%)

居住地(県内外)区分は電話支援を実施できた者のみ

(2) 支援対象者の状況

支援対象者が直面している状況を、より包括的に把握することを目的に、児童精神医学を専門とする医師の助言を受け、新たに質問項目を作成した。電話支援時に支援対象者(あるいは養育者)から聞き取った質問項目の頻度と割合を、表2に示す。

表2 電話支援を実施できた対象者の状況

支援実施件数	全体 473	0歳～3歳 9	4歳～6歳 110	小学生 232	中学生 122
睡眠の問題					
あり	53 (12.9%)	0 (0.0%)	8 (7.8%)	28 (14.0%)	17 (16.7%)
なし	358 (87.1%)	7 (100.0%)	94 (92.2%)	172 (86.0%)	85 (83.3%)
不明	62 -	2 -	8 -	32 -	20 -
食欲があるか					
あり	367 (91.3%)	6 (85.7%)	93 (93.9%)	180 (91.4%)	88 (88.9%)
なし	35 (8.7%)	1 (14.3%)	6 (6.1%)	17 (8.6%)	11 (11.1%)
不明	71 -	2 -	11 -	35 -	23 -
友人関係の問題					
あり	124 (32.6%)	1 (25.0%)	19 (22.1%)	67 (34.9%)	37 (37.8%)
なし	256 (67.4%)	3 (75.0%)	67 (77.9%)	125 (65.1%)	61 (62.2%)
不明	93 -	5 -	24 -	40 -	24 -
元気があるか					
あり	367 (93.1%)	5 (83.3%)	93 (100.0%)	183 (93.8%)	86 (86.0%)
なし	27 (6.9%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	12 (6.2%)	14 (14.0%)
不明	79 -	3 -	17 -	37 -	22 -
身体(化)症状					
あり	46 (12.4%)	1 (16.7%)	10 (11.2%)	21 (11.5%)	14 (14.9%)
なし	326 (87.6%)	5 (83.3%)	79 (88.8%)	162 (88.5%)	80 (85.1%)
不明	101 -	3 -	21 -	49 -	28 -
反抗					
あり	104 (31.4%)	1 (33.3%)	24 (29.6%)	49 (30.1%)	30 (35.7%)
なし	227 (68.6%)	2 (66.7%)	57 (70.4%)	114 (69.9%)	54 (64.3%)
不明	142 -	6 -	29 -	69 -	38 -
イライラ					
あり	116 (34.4%)	0 (0.0%)	27 (32.5%)	56 (33.3%)	33 (39.8%)
なし	221 (65.6%)	3 (100.0%)	56 (67.5%)	112 (66.7%)	50 (60.2%)
不明	136 -	6 -	27 -	64 -	39 -
甘え					
あり	109 (38.0%)	2 (100.0%)	22 (29.7%)	62 (42.8%)	23 (34.8%)
なし	178 (62.0%)	0 (0.0%)	52 (70.3%)	83 (57.2%)	43 (65.2%)
不明	186 -	7 -	36 -	87 -	56 -
退屈					
あり	3 (1.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.7%)	1 (1.7%)
なし	245 (98.8%)	3 (100.0%)	66 (100.0%)	119 (98.3%)	57 (98.3%)
不明	225 -	6 -	44 -	111 -	64 -

「不明」は、電話支援時に確認できなかったもの割合は、「不明」を除外した合計に対して算出

表 2(続き) 電話支援を実施できた対象者の状況

支援実施件数	全体 473	0歳～3歳 9	4歳～6歳 110	小学生 232	中学生 122
発達の問題					
あり	64 (20.8%)	1 (16.7%)	15 (75.0%)	30 (16.3%)	18 (18.6%)
なし	243 (79.2%)	5 (83.3%)	5 (25.0%)	154 (83.7%)	79 (81.4%)
不明	166 -	3 -	90 -	48 -	25 -
情緒・行動の問題					
あり	92 (24.4%)	0 (0.0%)	12 (13.3%)	55 (29.6%)	25 (26.0%)
なし	285 (75.6%)	5 (100.0%)	78 (86.7%)	131 (70.4%)	71 (74.0%)
不明	96 -	4 -	20 -	46 -	26 -
精神疾患					
あり	12 (3.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (3.8%)	5 (5.1%)
なし	363 (96.8%)	5 (100.0%)	88 (100.0%)	177 (96.2%)	93 (94.9%)
不明	98 -	4 -	22 -	48 -	24 -
トラウマ反応					
あり	45 (12.7%)	0 (0.0%)	7 (8.3%)	29 (16.5%)	9 (9.9%)
なし	309 (87.3%)	3 (100.0%)	77 (91.7%)	147 (83.5%)	82 (90.1%)
不明	119 -	6 -	26 -	56 -	31 -
学校(園)への適応状況					
適応	369 (90.7%)	1 (100.0%)	88 (96.7%)	190 (91.8%)	90 (83.3%)
不適応	38 (9.3%)	0 (0.0%)	3 (3.3%)	17 (8.2%)	18 (16.7%)
不明	66 -	8 -	19 -	25 -	14 -
家庭・環境の問題					
あり	38 (10.1%)	0 (0.0%)	3 (3.4%)	23 (12.4%)	12 (12.2%)
なし	340 (89.9%)	5 (100.0%)	86 (96.6%)	163 (87.6%)	86 (87.8%)
不明	95 -	4 -	21 -	46 -	24 -
養育者の子育て不安					
あり	125 (30.3%)	4 (57.1%)	20 (20.8%)	67 (32.5%)	34 (32.7%)
なし	288 (69.7%)	3 (42.9%)	76 (79.2%)	139 (67.5%)	70 (67.3%)
不明	60 -	2 -	14 -	26 -	18 -
養育者の身体的健康					
あり	43 (10.3%)	0 (0.0%)	10 (10.4%)	20 (9.7%)	13 (12.1%)
なし	373 (89.7%)	7 (100.0%)	86 (89.6%)	186 (90.3%)	94 (87.9%)
不明	57 -	2 -	14 -	26 -	15 -
養育者の精神的健康					
あり	71 (17.2%)	0 (0.0%)	13 (13.1%)	39 (19.0%)	19 (18.4%)
なし	342 (82.8%)	6 (100.0%)	86 (86.9%)	166 (81.0%)	84 (81.6%)
不明	60 -	3 -	11 -	27 -	19 -
通院している病院の有無					
精神科／心療内科等	37 (10.2%)	1 (12.5%)	5 (5.7%)	16 (9.1%)	15 (16.1%)
精神科以外	41 (11.3%)	2 (25.0%)	11 (12.6%)	20 (11.4%)	8 (8.6%)
なし	286 (78.6%)	5 (62.5%)	71 (81.6%)	140 (79.5%)	70 (75.3%)
不明	109 -	1 -	23 -	56 -	29 -
利用している相談機関					
あり	57 (17.8%)	4 (50.0%)	10 (12.7%)	27 (17.1%)	16 (21.3%)
なし	263 (82.2%)	4 (50.0%)	69 (87.3%)	131 (82.9%)	59 (78.7%)
不明	153 -	1 -	31 -	74 -	47 -

「不明」は、電話支援時に確認できなかったもの割合は、「不明」を除外した合計に対して算出

電話支援を実施できた対象者の状況について、子ども全体で多く挙げた項目は「友人関係の問題」が 124 人(32.6%)、「反抗」が 104 人(31.4%)、「イライラ」が 116 人(34.4%)、「甘え」が 109 人(38.0%)、「養育者の子育て不安」が 125 人(30.3%)であった。また、「通院している病院の有無」は、精神科や心療内科等へ通院している者が 37 人(10.2%)、精神科や心療内科等以外の診療科へ通院している者が 41 人(11.3%)、通院をしていない者が 286 人(78.6%)であった。

(3) 支援結果の分類と支援後の対応

電話支援を行った結果について、平成 25 年度も過年度と同様、「経過観察1」「経過観察2」「経過観察3」「支援希望なし」に分類した。表 3 に、その結果を示す。さらに、「経過観察2」と判断した理由をより明確化するため、判断理由について、子ども自身の問題と養育者が抱える問題に分けて分類した(表 4)。判断理由の件数は延べ数であり、割合は「経過観察2」の件数に対するものである。

電話支援の結果、「経過観察1」は 355 人(75.1%)、「経過観察2」は 102 人(21.6%)、「経過観察3」は 9 人(1.9%)、「支援希望なし」は 7 人(1.5%)であった(表 3)。「経過観察2」と判断した理由は、子ども自身は「学校不適応」が 34 人(33.3%)と最も多かった。また、子ども、養育者双方とも「体調不良(精神)」が多く、子どもは 28 人(27.5%)、養育者は 39 人(38.2%)であった(表 4)。

表 3 子ども支援結果分類の内訳

	全体	0歳～3歳	4歳～6歳	小学生	中学生
支援実施件数	473	9	110	232	122
経過観察1	355 (75.1%)	8 (88.9%)	86 (78.2%)	173 (74.6%)	88 (72.1%)
経過観察2	102 (21.6%)	1 (11.1%)	19 (17.3%)	51 (22.0%)	31 (25.4%)
経過観察3	9 (1.9%)	0 (0.0%)	3 (2.7%)	5 (2.2%)	1 (0.8%)
支援希望なし	7 (1.5%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	3 (1.3%)	2 (1.6%)

表 4 「経過観察2」の判断理由内訳

	全体	0歳～3歳	4歳～6歳	小学生	中学生
「経過観察2」の件数	102	1	19	51	31
<子ども>					
体調不良(身体)	9 (8.8%)	0 (0.0%)	2 (10.5%)	3 (5.9%)	4 (12.9%)
体調不良(精神)	28 (27.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	15 (29.4%)	13 (41.9%)
災害後遺症	14 (13.7%)	0 (0.0%)	6 (31.6%)	6 (11.8%)	2 (6.5%)
学校不適応	34 (33.3%)	0 (0.0%)	13 (68.4%)	8 (15.7%)	13 (41.9%)
その他	20 (19.6%)	1 (100.0%)	5 (26.3%)	8 (15.7%)	6 (19.4%)
<養育者>					
体調不良(身体)	14 (13.7%)	0 (0.0%)	2 (10.5%)	7 (13.7%)	5 (16.1%)
体調不良(精神)	39 (38.2%)	0 (0.0%)	9 (47.4%)	20 (39.2%)	10 (32.3%)
養育上の問題	18 (17.6%)	0 (0.0%)	4 (21.1%)	7 (13.7%)	7 (22.6%)
孤立	5 (4.9%)	0 (0.0%)	1 (5.3%)	2 (3.9%)	2 (6.5%)
その他	8 (7.8%)	1 (100.0%)	1 (5.3%)	6 (11.8%)	0 (0.0%)

内訳は延べ数

支援後の対応は、「要フォロー」が 28 人、「市町村連絡」が 4 人、「県内登録医師一覧」が 5 人、「情報提供書」が 1 人、「電話での情報提供」が 9 人、「他部門の対応」が 1 人であった(表 5)。

表 5 子ども支援後の対応

支援実施件数	全体 473	0歳～3歳 9	4歳～6歳 110	小学生 232	中学生 122
要フォロー	28 (5.9%)	1 (11.1%)	5 (4.5%)	11 (4.7%)	11 (9.0%)
市町村連絡	4 (0.8%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	1 (0.4%)	1 (0.8%)
紹介状	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
県内登録医師一覧	5 (1.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (1.7%)	1 (0.8%)
県外医療機関資料	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
情報提供書	1 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (0.4%)	0 (0.0%)
電話での情報提供	9 (1.9%)	0 (0.0%)	2 (1.8%)	4 (1.7%)	3 (2.5%)
他部門の対応	1 (0.2%)	0 (0.0%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

(4) 対象者を取り巻く問題（子ども）

福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターにおける、平成 23 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」での支援より、電話支援記録から帰納法的分析手法を用いて相談中に聞かれた問題のカテゴリー分類を行った。その結果、『子どもの反応』『保護者・家庭の問題』『学校・近隣等の関係』『環境』の 4 つの大カテゴリーに分類され、『子どもの反応』『保護者・家庭の問題』の 2 カテゴリーに関しては、さらに小カテゴリーに分類された。それらを「対象者を取り巻く問題」として概念図化したものを図 2 に示す。

平成 25 年度調査も平成 24 年度と同様に、平成 23 年度支援の結果作成された、対象者を取り巻く問題のカテゴリーに沿って、支援の中で語られる内容を分類した。

その結果、平成 25 年度では主に、『子どもの反応』において、「学校生活への影響」「イライラ・暴力」、『保護者・家庭の問題』において、「保護者自身」が語られた。

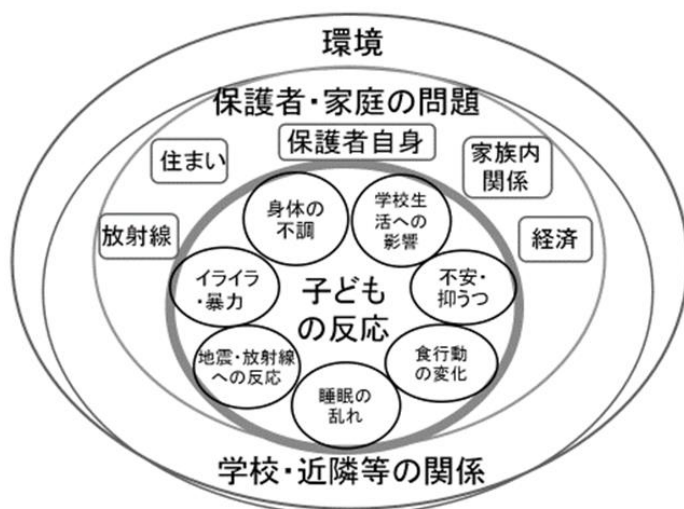


図 2 対象者を取り巻く問題の概念図(子ども)

3) 一般

(1) 支援対象者の基本属性

ア) 電話支援対象者

電話支援対象者は、尺度による支援の対象者 3,020 人と尺度以外の項目による支援の対象者 823 人の計 3,843 人であった。尺度による支援の対象者のうち、男性が 1,150 人 (38.1%)、女性が 1,870 人 (61.9%) であった。尺度以外の項目による支援の対象者のうち、男性が 392 人 (47.6%)、女性が 431 人 (52.4%) であった(表 6)。支援対象者のうち、電話支援を実施できた者は 3,321 人 (86.4%) であった。電話支援を実施できた者の居住地は、県内が 2,622 人 (79.0%)、県外が 699 人 (21.0%) であった(表 7)。

表 6 電話支援対象者の性別及び年齢の分布

年代	尺度による支援				尺度以外の項目による支援			
	全体	男性	女性		全体	男性	女性	
10代	55	21 (38.2%)	34 (61.8%)		13	5 (38.5%)	8 (61.5%)	
20代	124	40 (32.3%)	84 (67.7%)		45	16 (35.6%)	29 (64.4%)	
30代	295	116 (39.3%)	179 (60.7%)		90	35 (38.9%)	55 (61.1%)	
40代	303	132 (43.6%)	171 (56.4%)		114	63 (55.3%)	51 (44.7%)	
50代	416	170 (40.9%)	246 (59.1%)		161	101 (62.7%)	60 (37.3%)	
60代	657	274 (41.7%)	383 (58.3%)		217	98 (45.2%)	119 (54.8%)	
70代	691	254 (36.8%)	437 (63.2%)		123	55 (44.7%)	68 (55.3%)	
80代以上	479	143 (29.9%)	336 (70.1%)		60	19 (31.7%)	41 (68.3%)	
合計	3,020	1,150 (38.1%)	1,870 (61.9%)		823	392 (47.6%)	431 (52.4%)	

平成25年4月1日時点年齢

10代は15歳から19歳

表 7 電話支援対象者の居住地状況(県内外)

居住地	支援実施件数		尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	3,321		2,608		713	
県内	2,622 (79.0%)		2,049 (78.6%)		573 (80.4%)	
県外	699 (21.0%)		559 (21.4%)		140 (19.6%)	

居住地(県内外)区分は電話支援を実施できた者のみ

イ) 文書支援対象者

文書支援対象者のうち、電話支援の対象となった者は、尺度による支援の対象者 479人と尺度以外の項目による支援の対象者 137人の計 616人であった。尺度による支援の対象者のうち、男性が 210人(43.8%)、女性が 269人(56.2%)であった。尺度以外の項目による支援の対象者のうち、男性が 76人(55.5%)、女性が 61人(44.5%)であった(表 8)。支援対象者のうち、電話支援を実施できた者は 592人(96.1%)であった。電話支援を実施できた者の居住地は、県内が 483人(81.6%)、県外が 109人(18.4%)であった(表 9)。

表 8 電話支援対象者の性別及び年齢の分布(文書支援対象者中)

年代	尺度による支援			尺度以外の項目による支援		
	全体	男性	女性	全体	男性	女性
10代	1	0 (0.0%)	1 (100.0%)	2	2 (100.0%)	0 (0.0%)
20代	6	2 (33.3%)	4 (66.7%)	3	1 (33.3%)	2 (66.7%)
30代	16	6 (37.5%)	10 (62.5%)	4	3 (75.0%)	1 (25.0%)
40代	19	8 (42.1%)	11 (57.9%)	12	3 (25.0%)	9 (75.0%)
50代	45	17 (37.8%)	28 (62.2%)	15	10 (66.7%)	5 (33.3%)
60代	79	39 (49.4%)	40 (50.6%)	49	28 (57.1%)	21 (42.9%)
70代	195	82 (42.1%)	113 (57.9%)	28	15 (53.6%)	13 (46.4%)
80代以上	118	56 (47.5%)	62 (52.5%)	24	14 (58.3%)	10 (41.7%)
合計	479	210 (43.8%)	269 (56.2%)	137	76 (55.5%)	61 (44.5%)

平成25年4月1日時点年齢
10代は15歳から19歳

表 9 電話支援対象者の居住地状況(県内外)(文書支援対象者中)

居住地	支援実施件数		尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	592		464		128	
県内	483	(81.6%)	380	(81.9%)	103	(80.5%)
県外	109	(18.4%)	84	(18.1%)	25	(19.5%)

居住地(県内外)区分は電話支援を実施できた者のみ

(2) 支援対象者の状況

ア) 電話支援対象者

電話支援時に支援対象者から聞き取った「体調の変化」「睡眠状況」「通院先状況」等の頻度と割合を表 10 に示す。

表 10 電話支援を実施できた対象者の状況

支援実施件数	全体 3,321		尺度による支援 2,608		尺度以外の項目による支援 713	
体調の変化						
改善	417	(13.4%)	280	(11.5%)	137	(20.1%)
変化なし	2,080	(66.6%)	1,642	(67.3%)	438	(64.2%)
悪化	502	(16.1%)	450	(18.4%)	52	(7.6%)
以前から問題なし	123	(3.9%)	68	(2.8%)	55	(8.1%)
不明	199	—	168	—	31	—
睡眠状況						
改善	339	(11.2%)	245	(10.4%)	94	(13.9%)
変化なし	2,279	(75.0%)	1,791	(75.8%)	488	(72.3%)
悪化	243	(8.0%)	217	(9.2%)	26	(3.9%)
以前から問題なし	178	(5.9%)	111	(4.7%)	67	(9.9%)
不明	282	—	244	—	38	—
通院先状況						
精神科／心療内科等	468	(15.4%)	426	(17.9%)	42	(6.3%)
精神科以外	1,959	(64.3%)	1,587	(66.8%)	372	(55.4%)
なし	621	(20.4%)	364	(15.3%)	257	(38.3%)
不明	273	—	231	—	42	—
相談機関の有無						
あり	459	(28.6%)	296	(25.7%)	163	(36.0%)
なし	1,145	(71.4%)	855	(74.3%)	290	(64.0%)
不明	1,717	—	1,457	—	260	—
気持ちの落ち込み						
あり	1,245	(44.2%)	1,104	(50.3%)	141	(22.7%)
なし	1,570	(55.8%)	1,091	(49.7%)	479	(77.3%)
不明	506	—	413	—	93	—
地震への反応						
強い	147	(7.0%)	140	(7.8%)	7	(2.2%)
弱い	277	(13.2%)	248	(13.8%)	29	(9.3%)
なし	1,679	(79.8%)	1,403	(78.3%)	276	(88.5%)
不明	1,218	—	817	—	401	—

「不明」は、電話支援時に確認できなかったもの
割合は、「不明」を除外した合計に対して算出

1年前と比較した「体調の変化」は、改善した者が417人(13.4%)、変化がなかった者が2,080人(66.6%)、悪化した者が502人(16.1%)、以前から問題がなかった者が123人(3.9%)であった。

1年前と比較した「睡眠状況」は、改善した者が339人(11.2%)、変化がなかった者が2,279人(75.0%)、悪化した者が243人(8.0%)、以前から問題がなかった者が178人(5.9%)であった。

「通院先状況」は、精神科や心療内科等へ通院している者が468人(15.4%)、精神科や心療内科等以外の診療科へ通院している者が1,959人(64.3%)、通院をしていない者が621人(20.4%)であった。

イ) 文書支援対象者

返信されたハガキで電話支援希望の有無を確認し、支援希望の記載がある者、もしくは「こころの健康支援チーム」が返信内容から支援が必要と判断した者に対して、電話支援を行った。電話支援時に支援対象者から聞き取った「体調の変化」「睡眠状況」「通院先状況」等の頻度と割合を表 11 に示す。

表 11 電話支援を実施できた対象者の状況(文書支援対象者中)

支援実施件数	全体		尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	592		464		128	
体調の変化						
改善	47	(8.7%)	35	(8.3%)	12	(9.9%)
変化なし	368	(67.8%)	295	(69.9%)	73	(60.3%)
悪化	97	(17.9%)	80	(19.0%)	17	(14.0%)
以前から問題なし	31	(5.7%)	12	(2.8%)	19	(15.7%)
不明	49	—	42	—	7	—
睡眠状況						
改善	27	(5.2%)	18	(4.4%)	9	(7.8%)
変化なし	400	(76.8%)	326	(80.3%)	74	(64.3%)
悪化	25	(4.8%)	19	(4.7%)	6	(5.2%)
以前から問題なし	69	(13.2%)	43	(10.6%)	26	(22.6%)
不明	71	—	58	—	13	—
通院先状況						
精神科／心療内科等	42	(7.5%)	39	(8.9%)	3	(2.4%)
精神科以外	438	(78.1%)	365	(83.3%)	73	(60.3%)
なし	81	(14.4%)	34	(7.8%)	47	(38.2%)
不明	31	—	26	—	5	—
相談機関の有無						
あり	89	(41.4%)	50	(33.3%)	39	(60.0%)
なし	126	(58.6%)	100	(66.7%)	26	(40.0%)
不明	377	—	314	—	63	—
気持ちの落ち込み						
あり	139	(28.8%)	117	(31.3%)	22	(20.4%)
なし	343	(71.2%)	257	(68.7%)	86	(79.6%)
不明	110	—	90	—	20	—
地震への反応						
強い	12	(3.6%)	12	(3.8%)	0	(0.0%)
弱い	21	(6.3%)	17	(5.4%)	4	(25.0%)
なし	300	(90.1%)	288	(90.9%)	12	(75.0%)
不明	259	—	147	—	112	—

「不明」は、電話支援時に確認できなかったもの割合は、「不明」を除外した合計に対して算出

1年前と比較した「体調の変化」は、改善した者が47人(8.7%)、変化がなかった者が368人(67.8%)、悪化した者が97人(17.9%)、以前から問題がなかった者が31人(5.7%)であった。

1年前と比較した「睡眠状況」は、改善した者が27人(5.2%)、変化がなかった者が400人(76.8%)、悪化した者が25人(4.8%)、以前から問題がなかった者が69人(13.2%)であった。

「通院先状況」は、精神科や心療内科等へ通院している者が42人(7.5%)、精神科や心療内科等以外の診療科へ通院している者が438人(78.1%)、通院をしていない者が81人(14.4%)であった。

(3) 支援結果の分類と支援後の対応

電話支援を行った結果について、平成 25 年度も過年度と同様、「経過観察1」「経過観察2」「経過観察3」「支援希望なし」に分類した。表 12 に、その結果を示す。さらに、「経過観察2」と判断した理由をより明確化するため、判断理由も分類した。判断理由の件数は延べ数であり、割合は「経過観察2」の件数に対するものである。

ア) 電話支援対象者

電話支援の結果、「経過観察1」は 2,573 人(77.5%)であり、「経過観察2」は 599 人(18.0%)であり、「経過観察3」は 114 人(3.4%)であり、「支援希望なし」は 35 人(1.1%)であった(表 12)。「経過観察2」と判断した理由は「体調不良(身体)」が 308 人(51.4%)、「体調不良(精神)」が 412 人(68.8%)、「災害後遺症」が 64 人(10.7%)、「社会不適応」が 63 人(10.5%)、「孤立」が 69 人(11.5%)であった(表 13)。

表 12 電話支援結果分類の内訳

	全体	尺度による支援	尺度以外の項目による支援
支援実施件数	3,321	2,608	713
経過観察1	2,573 (77.5%)	1,982 (76.0%)	591 (82.9%)
経過観察2	599 (18.0%)	501 (19.2%)	98 (13.7%)
経過観察3	114 (3.4%)	94 (3.6%)	20 (2.8%)
支援希望なし	35 (1.1%)	31 (1.2%)	4 (0.6%)

表 13 「経過観察2」の判断理由内訳

	全体	尺度による支援	尺度以外の項目による支援
「経過観察2」の件数	599	501	98
体調不良(身体)	308 (51.4%)	261 (52.1%)	47 (48.0%)
体調不良(精神)	412 (68.8%)	347 (69.3%)	65 (66.3%)
災害後遺症	64 (10.7%)	57 (11.4%)	7 (7.1%)
社会不適応	63 (10.5%)	59 (11.8%)	4 (4.1%)
孤立	69 (11.5%)	62 (12.4%)	7 (7.1%)

内訳は延べ数

支援後の対応は、「要フォロー」が 214 人、「市町村連絡」が 65 人、「紹介状」が 8 人、「県内登録医師一覧」が 34 人、「県外医療機関資料」が 5 人、「情報提供書」が 4 人、「電話での情報提供」が 34 人、「他部門の対応」が 6 人であった(表 14)。

表 14 支援後の対応

支援実施件数	全体		尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	3,321		2,608		713	
要フォロー	214	(6.4%)	121	(4.6%)	93	(13.0%)
市町村連絡	65	(2.0%)	56	(2.1%)	9	(1.3%)
紹介状	8	(0.2%)	7	(0.3%)	1	(0.1%)
県内登録医師一覧	34	(1.0%)	29	(1.1%)	5	(0.7%)
県外医療機関資料	5	(0.2%)	2	(0.1%)	3	(0.4%)
情報提供書	4	(0.1%)	3	(0.1%)	1	(0.1%)
電話での情報提供	34	(1.0%)	28	(1.1%)	6	(0.8%)
他部門の対応	6	(0.2%)	5	(0.2%)	1	(0.1%)

イ) 文書支援対象者

電話支援の結果、「経過観察1」は506人(85.5%)であり、「経過観察2」は78人(13.2%)であり、「経過観察3」は6人(1.0%)であり、「支援希望なし」は2人(0.3%)であった(表15)。「経過観察2」と判断した理由は「体調不良(身体)」が48人(61.5%)、「体調不良(精神)」が42人(53.8%)、「災害後遺症」が4人(5.1%)、「社会不適應」が4人(5.1%)、「孤立」が3人(3.8%)であった(表16)。

表 15 電話支援結果分類(文書支援対象者中)

支援実施件数	全体		尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	592		464		128	
経過観察1	506	(85.5%)	395	(85.1%)	111	(86.7%)
経過観察2	78	(13.2%)	62	(13.4%)	16	(12.5%)
経過観察3	6	(1.0%)	6	(1.3%)	0	(0.0%)
支援希望なし	2	(0.3%)	1	(0.2%)	1	(0.8%)

表 16 「経過観察2」の判断理由内訳

「経過観察2」の件数	全体		尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	78		62		16	
体調不良(身体)	48	(61.5%)	36	(58.1%)	12	(75.0%)
体調不良(精神)	42	(53.8%)	36	(58.1%)	6	(37.5%)
災害後遺症	4	(5.1%)	4	(6.5%)	0	(0.0%)
社会不適應	4	(5.1%)	3	(4.8%)	1	(6.3%)
孤立	3	(3.8%)	3	(4.8%)	0	(0.0%)

内訳は延べ数

支援後の対応は、「要フォロー」が25人、「市町村連絡」が4人、「県内登録医師一覧」が8人、「電話での情報提供」が4人、「他部門の対応」が4人であった(表17)。

表 17 支援後の対応

支援実施件数	全体		尺度による支援		尺度以外の項目による支援	
	592		464		128	
要フォロー	25	(4.2%)	16	(3.4%)	9	(7.0%)
市町村連絡	4	(0.7%)	2	(0.4%)	2	(1.6%)
紹介状	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
県内登録医師一覧	8	(1.4%)	7	(1.5%)	1	(0.8%)
県外医療機関資料	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
情報提供書	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
電話での情報提供	4	(0.7%)	4	(0.9%)	0	(0.0%)
他部門の対応	4	(0.7%)	3	(0.6%)	1	(0.8%)

(4) 対象者を取り巻く問題（一般）

福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターにおける、平成 23 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」での支援より、電話支援記録から帰納法的分析手法を用いて相談中に聞かれた訴えのカテゴリー分類を行った。その結果、『自身の反応』『家庭内の問題』『社会生活における問題』『風土・文化的背景に関すること』の 4 つの大カテゴリーに分類され、『自身の反応』『家庭内の問題』『社会生活における問題』の 3 カテゴリーに関しては、さらに小カテゴリーに分類された。それらを「対象者を取り巻く問題」として概念図化したものを図 3 に示す。

平成 25 年度も平成 24 年度と同様に、平成 23 年度支援の結果作成された、対象者を取り巻く問題のカテゴリーに沿って、支援の中で語られる内容を分類した。

その結果、平成 25 年度は主に、『自身の反応』について、「身体の不調」「睡眠の乱れ」「抑うつ」「将来の不安」、『家庭内の問題』について、「住環境の変化」「家族内関係」「日常生活習慣の変更」、『社会生活における問題』について、「行政政策への不満・補償問題」「保健医療福祉」が語られた。

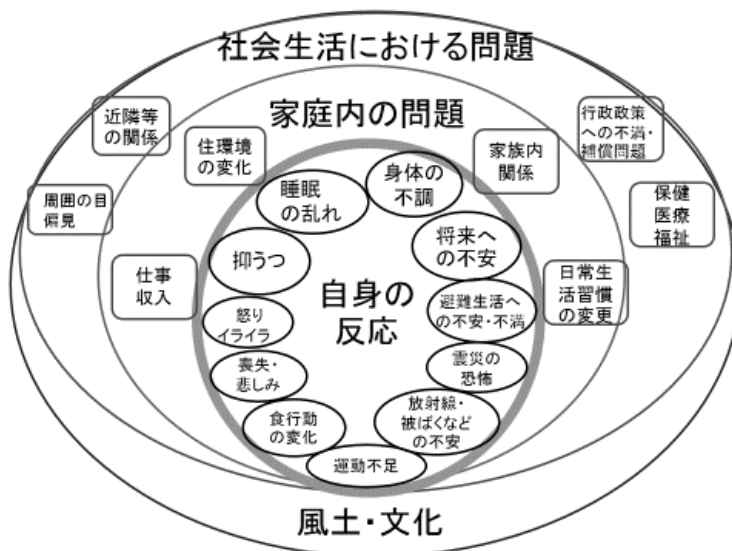


図 3 対象者を取り巻く問題の概念図（一般）

4. まとめ

平成 25 年度「こころの健康度・生活習慣に関する調査」の回答者のうち、子どもの支援対象者は 1,256 人、一般の支援対象者は 11,507 人であった。CAGE(アルコール依存尺度)の基準のみに該当した支援対象者は 2,010 人であった。子どもの支援対象者の内訳は、電話支援の対象者 504 人、文書支援の対象者 752 人であり、そのうち返信内容から電話支援が必要と判断された者は 37 人であった。一般の支援対象者の内訳は、電話支援の対象者 3,843 人、文書支援の対象者 7,664 人であり、そのうち返信内容から電話支援が必要と判断された者は 616 人であった。死亡が確認された場合を除き、不在等で電話支援が実施できなかった者には、当センターが作成した「こころの健康度と生活習慣サポートブック」を送付し、情報提供を行った。また、CAGE の基準のみに該当した支援対象者に対しても同様にパンフレットを送付した。

子どもへの電話支援では、355 人(75.1%)が「経過観察1^{※1}」に分類され、102 人(21.6%)が「経過観察2^{※2}」に分類された。また、「対象者を取り巻く問題」の категорияに沿って支援の中で語られた内容を分類すると、『子どもの反応』は、「学校生活への影響」「イライラ・暴力」、『保護者・家庭の問題』は、「保護者自身」が主に語られた。

一般への電話支援では、電話支援対象者については、2,573 人(77.5%)が「経過観察1」に分類され、599 人(18.0%)が「経過観察2」に分類された。文書支援対象者については、506 人(85.5%)が「経過観察1」に分類され、78 人(13.2%)が「経過観察2」に分類された。「対象者を取り巻く問題」の categoriaに沿って支援の中で語られた内容を分類すると、『自身の反応』は、「身体の不調」「睡眠の乱れ」「抑うつ」「将来の不安」、『家庭内の問題』は、「住環境の変化」「家族内関係」「日常生活・習慣の変更」、『社会生活における問題』は、「行政政策への不満・補償問題」が主に語られた。

- ※1 経過観察1:体調や環境の面で状態の改善が確認できた場合や、サポート資源利用の有無が確認できた場合などご自身で対処がなされていると判断できるもの。
- ※2 経過観察2:体調不良や災害後遺症が強い者、社会・学校不適應や孤立されている者など、やや心配が残ると判断されるもの。

県民健康調査「妊産婦に関する調査」実施状況について

I. 目的

妊産婦の皆様のからだやこころの健康度を把握し、不安の軽減や必要なケアを提供するとともに、現状や意見・要望等を的確に把握し、今後の福島県内の産科・周産期医療の充実へつなげていくことを目的に実施する。

II. 平成 26 年度調査実施状況

1. 対象者

- 平成 25 年 8 月 1 日から平成 26 年 7 月 31 日までに、福島県内の市町村から母子健康手帳を交付された方
- 上記期間内に福島県外で母子健康手帳を交付された方で、福島県内で里帰り出産された方

2. 実施状況

(1) 回答状況

回答の返送は、新生児の 1 か月児健診の結果を記入した後をお願いしているため、平成 26 年度は回答可能な時期に合わせて、平成 26 年 11 月 20 日、平成 27 年 1 月 23 日、平成 27 年 3 月 20 日の 3 回に分けて発送した。平成 25 年度調査の同時期に比べると回答率は上回っている。

調査年度	発送数	回答数 (回答率%)
平成 26 年度*	15,091	5,179 (34.3)
平成 25 年度	15,218	7,260 (47.7) **
平成 24 年度	14,516	7,181 (49.5)
平成 23 年度	16,001	9,316 (58.2)

*平成 27 年 3 月 31 日現在

**平成 26 年 3 月 31 日現在回答率 33.3%

(2) 支援状況

回答内容から支援が必要と思われる方に対し、健康状態や育児状況等の不安に関して助産師・保健師等による電話支援を行っている。また、メールによる支援体制を整え相談に応じている。

① 電話支援

調査年度	回答数	要支援者数 (要支援率%)	支援内訳	
			うつ項目	自由記載
平成 26 年度*	5,179	589 (11.4)	439 (74.5)	150 (25.5)
平成 25 年度	7,260	1,101 (15.2)	744 (67.6)	357 (32.4)
平成 24 年度	7,181	1,104 (15.4)	751 (68.0)	353 (32.0)
平成 23 年度	9,316	1,401 (15.0)	1,224 (87.4)	177 (12.6)

*平成 27 年 3 月 31 日現在

② メール支援

調査年度	相談件数
平成 26 年度*	5
平成 25 年度	3
平成 24 年度	6
平成 23 年度	13

*平成 27 年 3 月 31 日現在

③ その他

調査票の送付時に調査に基づく結果内容や支援状況を説明したリーフレットを同封した。

3. 調査の主な項目（次回妊娠について）

集計対象：

- （H26年度調査）平成26年11月25日～平成27年3月31日までのデータ精査前の概数5,122件
- （H25年度調査）平成25年12月24日～平成26年12月26日までの有効回答7,214件
- （H24年度調査）平成24年12月14日～平成25年11月30日までの有効回答7,139件

次回の妊娠・出産をお考えですか？

回答	平成26年度	平成25年度	平成24年度
はい	2,900 (56.6)	3,811 (52.8)	3,775 (52.9)
いいえ	2,127 (41.5)	3,292 (45.6)	3,239 (45.4)
無・無効回答	95 (1.9)	111 (1.5)	125 (1.8)

「はい」の方（次回の妊娠を希望する方）が、あったらよいと思うサービス（重複回答あり）

回答	平成26年度	平成25年度	平成24年度
保育所・延長保育・病児保育などの充実	2,042 (72.9)	2,577 (70.5)	2,435 (66.2)
育児や小児医療に関するサービス	1,936 (69.1)	2,436 (66.6)	2,613 (71.0)
産休・育児休暇などの充実	1,582 (56.4)	2,086 (57.1)	1,893 (51.4)
放射線と健康リスクに関する情報	1,059 (37.8)	1,508 (41.2)	2,220 (60.3)
その他	349 (12.5)	259 (7.1)	247 (6.7)

※分母は有効回答数（平成26年度：2,803名、平成25年度：3,656名、平成24年度：3,681名）

「いいえ」の方（次回の妊娠を希望しない方）の理由（重複回答あり）

回答	平成26年度	平成25年度	平成24年度
希望していない	1,264 (60.1)	1,774 (54.4)	1,690 (52.6)
年齢や健康上の理由	613 (29.2)	1,173 (35.9)	1,012 (31.5)
今いる子どもに手がかかる	577 (27.5)	1,195 (36.6)	1,153 (35.9)
収入が不安定なため	330 (15.7)	772 (23.7)	828 (25.8)
家事・育児協力者がいない	196 (9.3)	343 (10.5)	310 (9.7)
保育所などの預け先がない	135 (6.4)	219 (6.7)	222 (6.9)
放射線の影響が心配	80 (3.8)	183 (5.6)	475 (14.8)
家族と離れて生活しているため	42 (2.0)	59 (1.8)	78 (2.4)
避難生活をしているため	15 (0.7)	32 (1.0)	78 (2.4)
その他	311 (14.8)	81 (2.5)	81 (2.5)

※分母は有効回答数（平成26年度：2,102名、平成25年度：3,263名、平成24年度：3,212名）

4. 調査の評価等について

回答率については、平成23年度58.2%、平成24年度49.5%と10ポイント程度減少し、平成25年度調査においても前年度同時期に比べ減少傾向にあったが、7月に調査票を再送付したところ、前年度と同程度となった。そのため、平成26年度は、回答しやすいように調査票の簡素化を図るとともに、回答可能な時期（1か月児健診後）に合わせて複数回に分けて調査票を発送した。さらに、回答の機会を逃し調査票を紛失した方に回答の機会を改めてつくるため、再送付を行う予定である。

5. 支援結果報告と市町村へのアンケートの実施

電話支援の結果報告会を行い（平成26年11月11日福島市にて開催）、今後の育児支援技術の向上と情報交換を図るため、研修会の実施についてアンケートを実施した。担当する保健師、助産師のメンタルサポートについて研修会の要望があり支援研修会を開催した（平成27年2月4日福島市にて開催）。

III. 平成 27 年度実施計画（案）

1. 平成 27 年度「妊産婦に関する調査」及び「回答状況調査」等について

(1) 平成 27 年度「妊産婦に関する調査」

対 象 者：○平成 26 年 8 月 1 日から平成 27 年 7 月 31 日までに、福島県内の市町村から母子健康手帳を交付された方

○上記期間内に福島県外で母子健康手帳を交付された方で、福島県で里帰り出産された方

実施時期：平成 27 年 11 月下旬の実施を予定（母子健康手帳の交付時期により発送時期を 3 回に分け、記入時期に見合った送付を行う）。

実施方法：対象者に対して、調査票（自記式）を郵送する。

(2) 回答状況調査

実施目的：「妊産婦に関する調査」に対する回答、未回答の理由を明らかにし、回答率の更なる向上を図るとともに、調査や支援のあり方の検討に資する。

対 象 者：平成 26 年度「妊産婦に関する調査」の対象者（平成 25 年 8 月 1 日～平成 26 年 7 月 31 日までに福島県内各市町村の母子健康手帳の交付を受けた方）。

実施時期：平成 27 年 5 月～6 月

実施方法：市町村が行う 3～4 か月児健診会場（医療機関実施を除く）においてアンケート用紙を配布し、その場で回収する。

(3) 追加調査

実施目的：平成 23 年度「妊産婦に関する調査」回答者に産後うつ傾向が高かったため、震災 4 年後の心身の健康や育児状況を把握し、適切な支援を行う。

対 象 者：平成 23 年度「妊産婦に関する調査」回答者のうち出産し、調査票送付時に生存確認ができた方（約 8,000 件）。

実施時期：平成 27 年 6 月末の予定

実施方法：対象者の情報を市町村へ照会し、子どもの生存が確認された方のみにはがきによるアンケート調査を行う。

2. 関係機関と連携した妊産婦支援の向上について

関係機関と連携をより密にし、各地域の意見を反映させつつ、回答率の向上および得られた回答に基づく妊産婦支援の向上に努める。

(1) 調査結果報告会並びに支援研修会の開催

市町村等関係機関との連携を図るため、市町村保健師等母子保健に関わる方を対象とした平成 25 年度調査結果報告会を以下のとおり開催する。併せて、面接技術向上のための研修等も行う。

地区	日時	場所
県北	平成 27 年 7 月 7 日（火）	福島テルサ
県中・県南	平成 27 年 5 月 15 日（金）	福島県農業総合センター
会津・南会津	平成 27 年 6 月 23 日（火）	福島県ハイテクプラザ 会津若松技術支援センター
相双	平成 27 年 6 月 30 日（火）	南相馬市原町区福祉会館
いわき	平成 27 年 5 月 22 日（金）	いわき市労働福祉会館

(2) リーフレットの作成・配布

調査票送付時に、調査に基づく結果内容や支援状況を説明したリーフレットを同封する。また、県内の協力医療機関や関係機関に配布し、調査についての周知への協力を依頼する。

県民健康調査における論点整理（座長取りまとめ）

1 総論

- ◇ 30年継続するという事で始められた健康調査ではあるが、適宜評価と見直しが必要であり、今後早急にかつ精力的に取り組むべきである。
- ◇ 見直しに当たっては、調査への信頼を高めるという意味からも、調査開始前後の経緯やその後の対応について一定の振り返りが求められる。
- ◇ 調査の進め方に関する具体的なプランについては、今後、中長期的に示す必要があり、これも定期的な見直しをすべきである。
- ◇ 県民の意見を反映させ、またその理解が得られるよう、趣旨や必要性などを改めて議論し明文化することに加え、委員会の構成や運営を見直す必要があるのではないか。

(1)調査の目的について

- ・ 低線量被ばくの影響が否定できない現状を踏まえ、県民健康調査の枠組みで県民の健康状態を様々な角度から観察を続け、長期にわたる県民の健康管理（いわば放射線被ばくによる直接的な健康影響）を確認する必要がある。
- ・ 同時に、避難や心理的ストレスに由来する（いわば間接的な）健康影響を最小限にするために対策に資するよう、健康の見守りや健康づくりに積極的に活用することを明確にするべきである。

(2)調査方法・調査期間について

- ・ 調査目的を踏まえ、調査方法ごとの調査期間については見直しが必要ではないか。
- ・ また、適宜調査方法・項目の見直しに加え、目的に応じた調査そのものを追加する必要があるのではないか。

(3)調査範囲について

- ・ 放射線の影響を明らかにすることは重要であるが、過剰診断・過剰診療の問題も指摘されていることもあることから、調査対象者の安易な拡大には慎重であるべきである。

(4)調査の正当性について

- ・ 回答率の大幅な改善が見込まれないとすれば、現在までの回答を元に集団としての評価をすべきではないか。
- ・ 調査に対する県民意識の低下を避けるよう、新たな対策が必要ではないか。

(5)調査結果の管理について

- ・ データは世界に広く活用されるようその管理にも配慮が必要である。
- ・ 活用促進の方向に適するよう、データの管理の方法や場所、活用のルールについての見直しが必要である。

(6)調査結果の活用について

- ・ 調査結果の公表の方法や時期については、当面現在の方法を続けるべきである。
- ・ 個人情報保護も重要であるが、データの市町村における活用についても検討が必要であり、市町村保健事業等個人の健康管理の取り組みとの連携に活用すべきである。
- ・ 本人へのフィードバックは、現在の方法だけでよいか。

(7)県民健康調査の各調査間、あるいは他の調査等との連携について

- ・ 基本調査の外部被ばくと内部被ばくとの関係を明らかにする取り組みを加速させる必要がある。
- ・ 基本調査の外部被ばく線量と他の調査や健診等のデータとの関係が明らかにできるような仕組みの導入が必要ではないか。
- ・ 特段に配慮が必要とされる量以上の外部被ばくが推定される県民がないことから、現時点では追加的な対応を必要とする対象はないものと考えてよいのではないか。

(8)委員会等について

- ・ 今後、目的や調査方法の見直しの方向にあわせ、委員会の構成や、運営、部会の在り方などを見直す必要がある。
- ・ その際、県民の意見が反映できるような仕組みを考える必要があるのではないか。
- ・ 特に放射線影響の疫学的評価や、健康の見守り健康増進に関する専門家の招致が必要ではないか。

(9)情報公開について

- ・ 本調査のこれまでの経緯を踏まえ、議事については引き続き公開を原則として運営すべきである。
- ・ 国際的にも正しく評価されるようにすべきであり、適宜英語などのリリースを出すべきではないか。

(10)その他

- ・ がん登録の精緻化を加速させ、心配される白血病以外のがんの発症率についても検討する必要がある。
- ・ 放射線影響を総合的長期的に扱う機関の設置については、関係する諸機関の役割なども踏まえ慎重に検討すべきではないか。

2 基本調査

- ・ 放射線量が高いと考えられる地域については、概ね50%を超えていることから、影響を検証することは可能であると考えてよいのではないか。
- ・ 今後は全体の目標値ではなく、知りたいという県民への窓口を確保するという方向にシフトすべきではないか。

3 甲状腺検査（部会の中間取りまとめを元に議論）

4 健康診査

- ・ 今後の方向を見定める上で、この調査を中心に避難生活を続ける県民の心の問題についての総括が必要だと考えられる。
- ・ その上で、検査体制、検査対象、検査項目、既存検診との関係を整理する必要がある。
- ・ また、特に乳幼児の採血など侵襲を伴うものについては、検討が必要ではないか。
- ・ また、個人の健康づくりにもっと活用できるようにすべきではないか。

5 こころの健康度・生活習慣に関する調査

- ・ 今後の方向を見定める上で、この調査を中心に避難生活を続ける県民の心の問題についての総括が必要だと考えられる。
- ・ その上で、調査体制、調査対象、調査方法、県民への支援体制についての見直しをすべきではないか。

6 妊産婦に関する調査

- ・ 対象者は毎年度異なる全数調査であり、回答率の低下がみられ、何らかの見直しが必要ではないか。
- ・ 要支援の妊産婦への対応を今後どうするのか検討が必要ではないか。
- ・ 先天異常（奇形）発生率については、一定の見解を取りまとめて公表すべきではないか。
- ・ 安心して産み育てられる環境の整備にどう役立てていくべきか。

甲状腺検査に関する中間取りまとめ

平成 27 年 3 月 福島県県民健康調査検討委員会甲状腺検査評価部会

福島県県民健康調査検討委員会甲状腺検査評価部会は、平成 25 年 8 月 20 日に開催された第 12 回県民健康管理調査検討委員会において、検査の方法や結果等について改めて検証、評価を行い、県民への情報発信に資するため、検討委員会の中に、甲状腺検査に特化した部会を設置することとされ、平成 25 年 11 月 27 日、第 1 回の会議が開催された。

国際的にも極めて注目される調査であるという観点から、検査結果とその解析、行政対応、追跡調査、住民へのメンタルケアなどについての科学的、医学的、倫理的根拠の妥当性をこれまで審議してきたが、以下に今まで議論を重ねてきた本評価部会としてのまとめを示す。

1 先行検査で得られた検査結果、対応、治療についての評価

平成 23 年 10 月に開始した先行検査（一巡目の検査）においては、震災時福島県にお住まいで概ね 18 歳以下であった全県民を対象に実施し約 30 万人が受診、これまでに 112 人が甲状腺がんの「悪性ないし悪性疑い」と判定、このうち、99 人が手術を受け、乳頭がん 95 人、低分化がん 3 人、良性結節 1 人という確定診断が得られている。[平成 27 年 3 月 31 日現在]

こうした検査結果に関しては、わが国の地域がん登録で把握されている甲状腺がんの罹患統計などから推定される有病数に比べて数十倍のオーダーが多い。この解釈については、被ばくによる過剰発生か過剰診断（生命予後を脅かしたり症状をもたらしたりしないようながんの診断）のいずれかが考えられ、これまでの科学的知見からは、前者の可能性を完全に否定するものではないが、後者の可能性が高いとの意見があった。

一方で、過剰診断が起きている場合であっても、多くは数年以内のみならずそれ以降に生命予後を脅かしたり症状をもたらしたりするがんを早期発見・早期治療している可能性を指摘する意見もあった。

なお、乳頭がんであればその生物学的特性から定期的な経過観察という選択肢もあり得る。スクリーニングに由来する乳頭がんの診断と治療のリスク評価に関しては手術適応も含めて専門家に委ねたい。

※現在、日本甲状腺外科学会の診療ガイドラインに従って診断・治療が行われているが、無症状の者に対するスクリーニングの結果であること、小児甲状腺乳頭がんの予後は成人より更に良いことから、今回の福島状況に対応した診療ガイドラインまたは小児甲状腺がんの診療ガイドラインが別に必要ではないかとの意見があった。

※甲状腺がん罹患の把握のため、がん登録の精度向上についても並行して取り組むべきであるとの意見もあった。

2 放射線の影響評価

現時点で、検査にて発見された甲状腺がんが被ばくによるものかどうかを結論づけることはできない。先行検査を終えて、これまでに発見された甲状腺がんについては、被ばく線量がチェルノブイリ事故と比べてはるかに少ないこと、事故当時 5 歳以下からの発見はないことなどから、放射線の影響とは考えにくいと評価する。しかし、放射線被ばくの影響評価には、長期にわたる継続した調査が必須である。

また、事故初期の放射性ヨウ素による内部被ばく線量の情報は、今回の事故の影響を判断する際に極めて重要なものであり、こうした線量評価研究との連携を常に視野に入れて調査を進めていくべきである。

今後、仮に被ばくの影響で甲状腺がんが発生するとして、どういうデータ（分析）によって、どの程度の大きさの影響を確認できるのか、その点の「考え方」を現時点で予め示しておく必要がある。

3 医療費の公費負担

個々の甲状腺がんの原因の特定は困難であるものの、集団として考えた場合、二次検査を受ける患者の多くは、今回の甲状腺検査がなければ、少なくとも当面は（多くはおそらく一生涯）、発生し得なかった診療行為を受けることになると考えられる。そのため、甲状腺検査を契機として保険診療に移行した場合、現時点では、二次検査以降の医療費については公費負担が望ましい。

4 対象者の追跡

甲状腺検査の対象者、特に、事故当時の乳幼児については、甲状腺がんの発生状況と生命予後についての追跡調査が重要である。

また、県外への転出等が増加する年代に対する追跡の仕方を検討、徹底されたい。疫学的追跡調査として重要なポイントである。

5. 検査結果の開示

検査結果の透明性、匿名化の下で、多くの研究者を含めたメンバーでの再評価ができるシステムの構築を推進していくことを提案する。ただし同時に、個人情報保護の観点からの慎重な検討も必要である。

6. 今後の甲状腺検査

今回の原子力発電所事故は、福島県民に、「不要な被ばく」に加え、「不要だったかもしれない甲状腺がんの診断・治療」のリスク負担をもたらしている。しかし、甲状腺検査については、事故による被ばくにより、将来、甲状腺がんが発生する可能性が否定できないこと、不安の解消などから検査を受けたいという多数県民の意向もあること、さらには、事故の影響による甲状腺がんの増加の有無を疫学的に検証し、県民ならびに国内外に示す必要があることなどを考慮する必要があると考える。

従って、甲状腺検査においては、県民の同意を得て実施していくという方針の下で、利益のみならず不利益も発生しうること、甲状腺がん（乳頭がん）は、発見時点での病態が必ずしも生命に影響を与えるものではない（生命予後の良い）がんであることを県民にわかりやすく説明したうえで、被ばくによる甲状腺がん増加の有無を検証可能な調査の枠組みの中で、現行の検査を継続していくべきと考える。

以上